30th Anniversary

30年のあゆみ

Yamanouchi Foundation for Research on Metabolic Disorders

財団法人 病態代謝研究会



30th Anniversary

30年のあゆみ

Yamanouchi Foundation for Research on Metabolic Disorders

財団法人 病態代謝研究会

はじめに

設立発起人・前理事長　早石　修

山之内製薬株式会社からの寄附を基金として、財団法人 病態代謝研究会が発足したのは、昭和44年(1969年)でした。病態代謝ということばは、それまでには、あまり耳慣れたことばではありませんでした。この研究会が生まれた背景には、第二次世界大戦の前後から医学は次第に記述的、形態的、現象論的な学問から脱皮して、酵素化学を基盤とするいわゆる動的生化学、代謝学、次いで免疫学や分子生物学を主軸とする近代医学へと発展してきました。その目覚しい成果は人体の機構や生理機能の解明に大きく貢献し、さらに病態それ自身の生化学的解析にも飛躍的な進歩をもたらし、延いては疾病の診断や治療も単なる経験よりは理論的なアプローチが主役を演じるようになったのであります。本財団はこのような時代の要請にこたえて、病態に関する代謝学の一層の進歩発展に貢献することを目的として、設立されたのであります。

毎年の公募により、ひろく国内の優れた研究者からの申請をつのり、厳正な審査により、とくに優秀な内容の研究に対して、研究助成金のほか、比較的若い研究者に授与される研究奨励金及び海外留学補助金を交付して、その研究の遂行続行の一助となるよう務めて参りました。以来ここに30年の歳月が流れましたが、山之内製薬株式会社の援助の下に研究費も毎年増額され、本財団はきわめて順調に発展を遂げたことは、まことに慶賀の至りであります。

これらの研究費によって支えられた多くの優れた業績は、病態代謝の医学的解明に大きく役立ってきました。

日本における基礎及び臨床医学の研究者にとって、本研究会の一層の発展を願ってやみません。

財団法人 病態代謝研究会
30年のあゆみ

目　次

はじめに　前理事長　早石　修 …… 1

発起人・理事長・理事・監事・評議員 …… 4

設立30周年を迎えて　前理事　森岡 茂夫 …… 6

病態代謝研究会への回想　前理事　山川 民夫 …… 7

設立趣意書 …… 8

＜行　事＞

・10周年、20周年、30周年　各記念講演 …… 9

・設立30周年記念講演『眠りの秘密』
　大阪バイオサイエンス研究所名誉所長　早石　修 …… 10

＜沿　革＞

年　譜 …… 18

＜研究助成事業＞

・年度別公募数・交付者数・交付金額 …… 24

・研究助成金・研究奨励金・海外留学補助金交付者一覧 … 26

＜資　料＞

・刊行一覧 …… 112

・歴代役員および評議員 …… 118

・基本財産・寄付金・事業費の推移表 …… 120

発刊に寄せて　専務理事　小野田正愛 …… 121

編集に当たって

本誌は、設立時より平成11年3月までを編纂した。

4 発起人・理事長・理事・監事・評議員

発起人



山内健二
山之内製薬株式会社創業者

歴代理事長



初代　渡邊順平
山之内製薬株式会社社長



二代目　高橋忠雄
東京慈恵医科大学名誉教授



三代目　山村雄一
大阪大学名誉教授



四代目　中尾喜久
自治医科大学名誉教授



五代目　早石　修
大阪バイオサイエンス研究所名誉所長

理　事

（平成11年3月31日現在・五十音順）



井村裕夫
京都大学名誉教授



織田敏次
東京大学名誉教授



小野田正愛
山之内製薬株式会社取締役社長



高久史麿
自治医科大学学長



西塚泰美
神戸大学学長



森岡茂夫
山之内製薬株式会社取締役会長



山川民夫
東京大学名誉教授

監　事

（平成11年3月31日現在）



庄司武彦
山之内製薬株式会社顧問

評議員

（平成11年3月31日現在・五十音順）



阿部正和
東京慈恵医科大学名誉教授



市田文弘
新潟大学名誉教授



今井昭一
新潟大学名誉教授



遠藤　實
埼玉医科大学第二薬理学教授



奥田邦雄
千葉大学名誉教授



尾前照雄
国立循環器病センター名誉総長



勝沼信彦
徳島文理大学健康科学研究所所長



鹿取　信
北里大学名誉教授



岸本　進
大阪府立羽曳野病院名誉院長



小坂淳夫
岡山大学名誉教授



坂本信夫
中部労災病院院長



多田富雄
東京理科大学生命科学研究所所長



内藤周幸
東京逓信病院参与



服部孝雄
広島大学名誉教授



藤田拓男
神戸大学名誉教授



矢田純一
東京医科歯科大学医学部小児科教授



吉永　馨
東北労災病院院長

病態代謝研究会設立30周年を迎えて



前理事　森 岡 茂 夫

はじめに、本研究会の設立30周年を迎えましたことは喜びに堪えません。

ここまで本研究会が発展して参りましたのも、偏に歴代の理事長初め、理事、評議員の諸先生のご協力、ご支援、また、全国のご研究者の皆さまのご理解をいただいた賜と厚く御礼申し上げます。

本研究会の設立前のお話をいたしますと、昭和43年に山之内製薬の創業者であります山内健二氏（当時会長）から、これからの医学、医療、創薬の進歩に寄与する研究にいささかでもお役にたてるような、研究財団法人を設立したいので、故、山村雄一先生（当時大阪大学教授）と早石　修先生（当時京都大学教授）の両先生のご教示をいただいてくるようにとの指示を私と同僚が受けました。幸い、両先生のご快諾をいただきまして、設立準備にかかり翌年の昭和44年8月に厚生省の認可をいただきましたが、その設立の二ヶ月前に創業者が物故されたのは、本人のみならず、私共一同残念の極みでございました。

この『病態代謝研究会』名は両先生に名づけていただき、また、研究会の構成及び事業は先生方のご指示にお任せいたすことは、全て創業者の意志の基に今日に至っております次第です。

本研究会の設立時の基本財産は3千万円でしたが、山之内製薬の年々の寄付により30年間で19億円までに達しております。また、第1回の研究助成金交付者25名に対し総額2千万円の交付でしたが、第30回には124名に総額7千460万円と毎年交付者及び助成金を増加して参りました。

これまで30年間には、交付研究者2千311名に達し、総額14億1千590万円と交付できましたことは、我が国の生命科学の発展にいささかなりとも寄与できたものと考えます。

今日、バイオサイエンスの急速な発展は、目覚しいものがあります。我々の医学、医療、創薬の研究や治療の分野でも21世紀には、様変わりして参ると考えられます。本研究会も設立30周年を契機といたしまして、先駆的研究会に発展して参りますので、今後ともご関係されます先生方の一層のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

病態代謝研究会への回想



前理事　山川 民夫

病態代謝研究会は昭和44年8月に理事8名で発足した由ですが、私は昭和50年4月に理事に就任いたしました。当時の理事長は東京慈恵会医科大学名誉教授の高橋忠雄先生でしたが、先生は以前東京大学の柿沼内科（第一内科）の助教授時代、私の兄が同教室に在籍しており、また、私の伝研での大先輩でもあり「タヌキ」の愛称で有名な飄逸な方でした。そんな事から私は何かと可愛がっていただきましたが晩年は車椅子で会議を出られお気の毒でした。私は平成11年3月の退任まで24年間、理事としてお世話になりました。

毎年、各分野からの応募者は年々膨大な件数になり、多い時は400件を超える申請者が審査員に送られて来ましたが、現場を離れた私などには審査に難渋するようになり、教室の然るべき研究者の協力をお願いするようになりました。交付者決定の理事会では、審査員が付けた点数が集計され、その年度の研究助成金、研究奨励金、海外留学補助金の3件についてどこまで採択するか討議され、採択された件数に自分が推薦した研究者が交付対象者として入ると、自分の審査能力がまんざらではないと安心した次第でした。

毎年行われる研究助成金交付者による研究成果の報告会は、50演題以上の発表者があり、一日掛かりに及びましたので、在京の私などは出来るだけ終了まで残って聞くのが義務と思っていました。また、出来るだけ興味のある演題を探して二つの会場を何度も往復していました。然しどうしても聞きたい演題が両会場でダブルことがあり、会場の組み合わせの監修を敢えて買って出たりしました。研究成果の発表会は、以前は専ら研究代表者の教授クラスの方が講演されるので大変面白く、もっと多くの聴衆があればよいと思っておりました。然し完全な公開にするには難しい様で、財団の事業の今後の課題にしてほしいと思います。

本財団の交付金は研究の遂行にとって大きな福音であるばかりでなく、研究者にとって大変な名誉であり、励ましでありますので、政府からの公的な助成金とは若干違った意味で日本の医学研究への貢献ははかり知れないものです。設立30年をひとつの節目として、若返った理事、評議員の先生方によって今後一層の改革と発展を期待いたします。

財団法人「病態代謝研究会」設立趣意書

近年医学の進歩は誠に目をみはるものがありますが、その原因の一つに医学的研究の手段として、物理的、化学的手段が大幅に導入されつつあることを挙げることが出来ましょう。

医学の研究は、人体を形態的な面から追求することにより始まり、長い年月と多くの研究によって解剖学、組織学等の形態学が発達し、やがて、機能の面の追求により、生理学が発達して、今日に至りましたが、生理学から、化学的分野が分化独立して、新しく生化学が体系づけられ、近代医学の基礎が作られました。

従来、形態学的、生理学的に捉えられていた疾病像が化学的に追跡されるに及んで、人体に関する知識も革新され疾患の診断並びに、治療を、生化学的な眼で見なおす時期に到達いたしました。

その後、生化学の著しい進歩によって、生命の根底をなしている蛋白質の生合成、核酸の役割等が、次第に明らかになり、今や人体の機構は、分子の段階で解明されつつあり、分子生物学と呼ばれる新しい生物学も台頭してきています。

このような生化学の進歩に伴って、疾病の診断および治療上、生化学的所見が極めて重要な要素としてとりあげられるに至りました。

しかしながら疾病の把握は、病理学や病態生理学に生化学的視野を加えて、始めて完全となるのにかかわらず、生化学一般の目ざましい進歩発展に比し、病態それ自体の生化学的研究はまだ必ずしも充分体系づけられたとはいえません。従って現在各種疾患に対して更に高度な病態代謝学的アプローチが強く望まれております。

このような背景のもとで、私共は、疾病に代謝の面から光をあて、病態代謝学的研究を助成し、疾病の発生機序、体質および老化の機構を生体代謝または、分子生物学的観点より追求し、併せて、その治療薬剤との関係をも明らかにすることにより、医学、延いては、薬学の未開の分野を開拓し、国民の保健および医療の進歩と病態生化学の体系化とに些かなりとも貢献することを期して、この度、財団法人「病態代謝研究会」を設立し、事業を行なおうとするものであります。

行　事

設立10周年記念講演会

昭和53年10月28日開催



『免疫応答機構の解析と
免疫制御について』

大阪大学
教授　山村 雄一



設立20周年記念講演会

昭和63年11月12日開催



『癌研究、診療の進歩と
問題点』

国立ガンセンター
総長　杉村　隆



設立30周年記念講演会

平成10年11月21日開催

『眠りの秘密』

財団法人 大阪バイオサイエンス研究所
名誉所長　早石 修



眠りの秘密



(財)大阪バイオサイエンス研究所
名誉所長　早石　修

財団法人病態代謝研究会設立30周年、誠におめでとうございます。この機会に記念講演「眠りの秘密」をお話申し上げる機会を与えて頂き、大変光栄に存じます。



図 1.　眠りとめざめ

図1は皆さんよくご存知のパブロ・ピカソの「眠りと目覚め」というリトグラフです。この絵にもありますように、我々は毎日毎晩ほぼ規則正しいリズムで眠りと目覚めを繰返し、人生の3分の1をベッドの中か、時によるとこのような講堂の中で眠って過ごしております。しかし現代の医学では睡眠に関する知識は極めて乏しく、「眠りとは一体何か？」「我々は何故眠るのか？」「眠りと目覚めを調節しているメカニズムはどこにあり、どのようなものか？」というような極めて基礎的な簡単な問題にすら満足に答えられないのが現状であります。まさに現代の医学におきまして「眠り」は秘密に包まれた謎であり、ブラックボックスであります。

一方、最近マスコミにも取り上げられているように、ストレス社会、あるいは高齢化社会になってきて睡眠異常、あるいは睡眠障害を訴える患者さんが大変増えてきました。にもかかわらず、我が国には睡眠の専門医はおりませんし、また医学部では睡眠学の講義を聴かれたことはないと思います。睡眠障害や異常の患者さんはだんだんと増えてきて、その結果が労働、あるいは学習の能率の低下のみならず、大きな交通事故、産業事故、医療事故等の原因になってきているという事は皆さんご承知の通りです。睡眠はただ単に医学の非常に興味のある問題であるばかりではなく、臨床医学の面からも大切であり、さらに社会的問題であり、経済的問題であるとさえいわれています。

ところで、睡眠と覚醒を調節しているメカニズムの研究は、今から100年程前、我が国で始められたのであります。睡眠が神経よりは、ホルモン様の物質によって調節されているという考えは1907年に、名古屋大学、当時の愛知医学専門学校の石森国臣教授とフランスのH. Pieronによって提唱されました。この2つのグループは全く独立に、犬を断眠、つまり眠らせないでおくと、断眠された動物の脳脊髄液の中に睡眠物質が蓄積され、これを他の犬の脳室に入れてやると眠りを誘発することを発見しました（図2）。

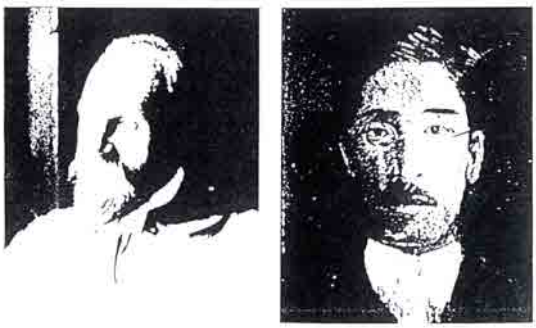


図 2.　H. Pieron と石森国臣教授

睡眠物質、睡眠ホルモンという概念を初めて提出し、また睡眠物質が脳脊髄液の中に存在することを明らかにしたという意味では当時としては正に先駆的な大発見でありました。

しかし睡眠の定量法も確立されておらず、有機分析化学が発達していなかったので、彼らの睡眠物質の本態は不明でありました。

プロスタグランジンとは－

さて、プロスタグランジン(PG)という物質は、私たちの永年研究している酸素添加酵素によって作られる、いわゆる組織ホルモン、局所ホルモンと呼ばれるものの一種で、身体の殆どあらゆる臓器に存在し、図3に示すように呼吸器、消化器、循環器、泌尿器など広く分布している大変多彩な生理活性を持つ物質です。ところが、不思議なことに今から十数年位前までは、脳の中のPGに関してはほとんど知られるところがなかったので、我々は脳のPGを調べてみました。その結果、脳の中には他の臓器にはほとんどない、ほとんど生理活性に乏しいといわれていたPGD_2が、実は最も多いPGであるという事が分かってきました。このような知見から我々はひょっとするとこのPGD_2が脳に固有のPGであって、脳の中で何かユニークな機能を果しているのではないかと考えたのです。そこで微量のPGD_2を脳内に注入したところ、意外にも動物がすやすやと眠りはじめたので、それではもう少し科学的に睡眠誘発の効果を調べてみようと思いました。

眠りを計測する－

睡眠には徐波睡眠slow wave sleep(SWS)といって脳波をとりますと、振幅の大きい徐波slow waveを示すものと、レム睡眠 rem sleep (rapid eye movement, 目が非常に早く動くの略)があります。眼電図をとると目の動きは図4に示すように明らかです。

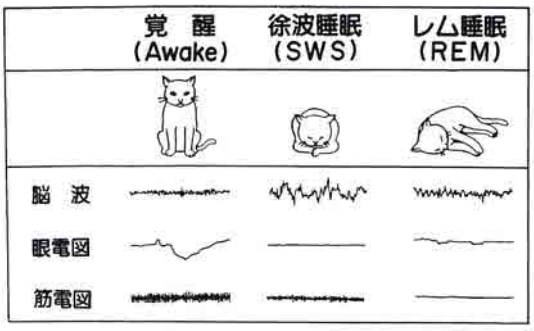


図 4. 覚醒と2種類の睡眠

しかし、このレム睡眠の時には、筋電図をとりますと、全く平坦であり、筋の緊張はなく、したがって動物はごろっと横になって寝ています。ご覧頂きますように、脳波と眼電図は起きている時に非常に似ており、我々が夢を見るのはもっぱらこのレム睡眠の時であり、徐波睡眠の時には恐らく脳は休むと考える学者もいます。それに対して、レム睡眠というのは体の睡眠であろうといわれておりますが、こういう脳波や眼電図や筋電図などを、電気的に測定をしてコンピューターで計算を致します。大変厄介な方法でありますが、これにより現在、睡眠をかなり正確に定性、及び定量することができるようになりました。

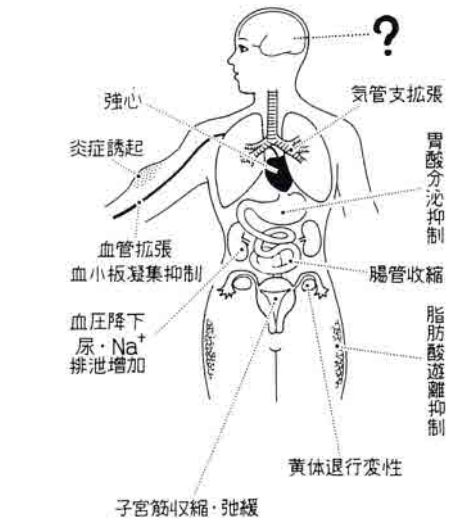


図 3. プロスタグランジンの機能

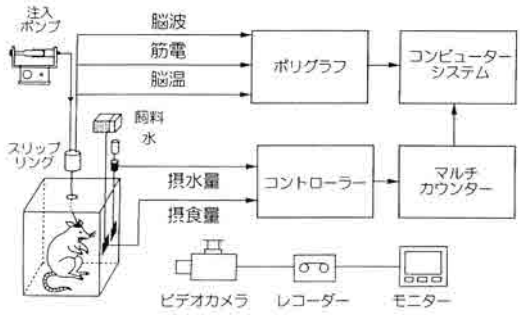


図 5. ラットを用いた睡眠測定法

図5は、私共のところで現在使っているところの睡眠測定法を非常に簡単に示したものです。ラットの脳に細いカニューレを常置しておいてスリップリングでつないでやりますと、ラットはある程度、自由に動き回ることができます。注入ポンプを使いまして、非常にゆっくりと極微量のサンプルを脳内に注入すると同時に脳波、筋電図、脳温等をポリグラフで記録します。また、摂食、摂水量などを記録しまして、これらを総合してコンピューターで睡眠の量を計算するわけです。と同時に、動物の挙動をビデオで赤外線下で記録します。このような大変大がかりな、しかも時間とお金のかかる方法で睡眠を測定します。

PGD$_2$の睡眠促進効果－

図6にPGD$_2$の睡眠効果を測定したデータの1つの例をお目にかけます。左のパネルが先程申しました徐波睡眠、右がレム睡眠であります。縦軸が1時間当たりの睡眠量、横軸が時間のスケールで、朝8時から翌朝8時までをプロットしています。ラットは私共と違って、昼間明るいうちに睡眠量が多くて、夜になると起きて睡眠量が減ってきまして動き回ったり、餌を食べたりしています。そこで夜間にPGD$_2$を大体1分あたり700 femto molという微量を連続注入してやると、その注入している期間、実線で示したように、徐波睡眠、レム睡眠ともに顕著に睡眠が増加するのであります。この睡眠誘発作用は数あるプロスタグランジンのなかでもD$_2$に特有であります。また、容量依存的であり、だんだん量を下げていくと、1 femto mol、千兆分の1モル／秒という超微量で十分統計学的に有意な睡眠を引き起こすことができるのです。

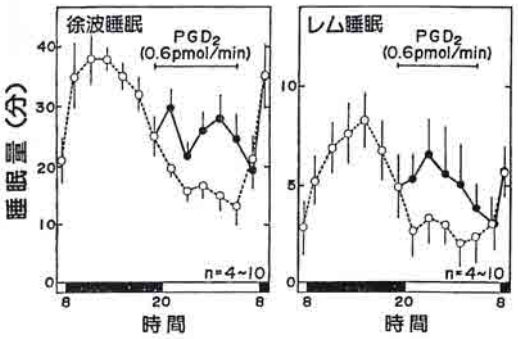


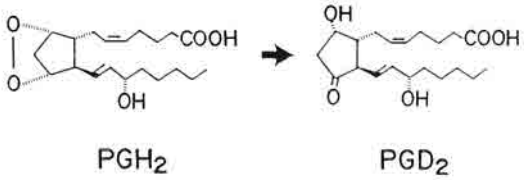
図 6.　ラットの睡眠に及ぼすPGD$_2$の影響

しかし、最も重要なことはこのようにしてPGD$_2$を注入して得られた睡眠は先程の脳波、その他の所見から判断しまして生理的な自然の睡眠と全く変わりません。同じような実験を睡眠薬を使ってやると、得られた睡眠は自然の生理的な睡眠とは全く異なっていまして、いわゆる非生理的な睡眠になるのです。PGD$_2$による睡眠は自然な睡眠で、これはおそらくこの物質が我々の体の中の自然の睡眠を支配している一種の睡眠ホルモンであるということを強く示唆しています。

もし、それが本当だとすると、動物が眠っている昼間、このPGD$_2$の脳内の量は高いはずであるし、また、PGD$_2$を作っている酵素の活性も高いはずであります。そこで、私共は24時間を通じて脳脊髄液中のPGD$_2$の含量と脳のPGD$_2$合成酵素の活性を測定すると全く予想通り、昼間動物が眠っている時は酵素の活性も高く、また、PGD$_2$の量も高いのですが、夜になって動物が起きてくると両者とも低いというのがわかってきました。

PGD合成酵素について－

次に我々はヒト、ラット、カエルの脳からPGD合成酵素を精製して、cDNAを採ってきて、一次構造を調べてみたのです。図7に示すように、この酵素はプロスタグランジンH$_2$からプロスタグランジンD$_2$を作る酵素ですが、一次構造からリポカリンという脂質を運搬するlipid carrier proteinグループのメンバーであるということと分泌型の蛋白ectoenzyme、またはectoproteinであるということがわかってきました。これは後で申し上げますように、この酵



PGH$_2$　　PGD$_2$

図 7.　プロスタグランジンD合成酵素

素が睡眠を調整している時に大変重要な性質になりますので、ご記憶頂きたいと思います。さらに、私達はこの酵素を精製して結晶化いたしました。まだ、大変小さな結晶ですが、幸い、大変質のいい結晶であり、最近はご承知の方も多いかと思いますが、我が国においても大変素晴らしい装置ができていて、播磨にSpring-8というこの方面では文字通り世界一といわれるX線解析の装置ができています。それを使わせて頂いて、三次構造を決定することができました。

三次構造が決まると、私共はこの酵素の特異的な阻害剤を何とかして見つけたいと考えました。特異的な阻害剤を見つけたら、ひょっとすると睡眠を阻害することができるのではないかと考えて、いろいろな企業の方々と共同して、この酵素の阻害剤の広範なスクリーニングを行ないました。すると意外なことに、非常に簡単な4価のセレン化合物が疎水性ポケットの中央にある65番目のシステインのSHと反応して、可逆的に、しかも非拮抗的にこの酵素を阻害するということが分かってまいりました。可逆的というのは大変重要でして、しかもSH基と反応しますから、グルタチオンとかDTTを入れてやるとこの酵素の阻害はすぐ元に戻ります。また、セレニウムを除いてやると、酵素の阻害が取れるということ

がわかりました。そこで、セレニウム化合物をラットの脳に注入して果していかなる効果があるか、動物が眠れなくなるかどうかという実験を次に行ないました。

図8は先程と同じように左側が徐波睡眠、右

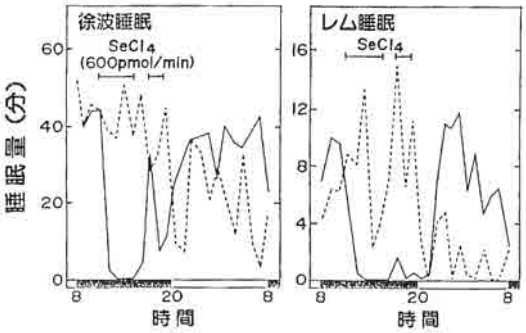


図 8. $SeCl_4$による睡眠の阻害

がレム睡眠で、点線が睡眠の通常の経過です。この実験は1匹のデータですので、多少データが振れていますが。昼間、塩化セレンの注入の開始をします。ご覧頂きますように、注入が始まってすぐから睡眠がずっと減少致しまして、約2時間たちますと徐波睡眠もレム睡眠も完全に抑えられます。つまり、完全不眠の動物を作ることができるのです。

これがただ単にセレンの毒性によるものではないという証拠に、途中で注入を中断してやると、睡眠はまた元へ戻る傾向をみせています。先程申しましたいろいろなSH剤を入れてやりますと、この阻害は全く元に戻すことができるのであります。言い換えますと、このような阻害剤を用いることによって、この酵素は我々の眠りを調節しているkey enzymeであるということが証明される1つの証拠になったわけです。

次には、遺伝子を操作してトランスジェニックマウスを作り、酵素を増やしてみました。トランスジェニックのマウスは、ある特定の条件を与えてやると、野生型のマウスに較べて、睡眠量が5ないし10倍増えている事が判りました。

以上のような実験から、PGD_2は脳内に存在する睡眠物質である、あるいは睡眠ホルモンであると申すことができると思います。また、PGD_2を脳のなかで作っているPGD合成酵素は睡眠調節のカギを握る酵素key enzymeであるということが言えると思います。それでは、そのような酵素は一体どこに存在するのでしょうか？　おそらく脳の中であろうと思われますが、脳全体にあるのか、脳の特定の部位にあるのか、また、神経細胞にあるのか、あるいはグリア細胞にあるのか、他の細胞にあるのかということが問題になって参ります。そこで我々は、当時、京都大学におられました水野昇教授、現在教授になられました金子武嗣(当時、助教授)と共同研究を致しまして、3つの異なった方法でこの酵素が脳のどの部分にあるか調べてみたのです。その結果は私共にとって大変面白い、全く予想に反したものでありました。3つの異なった方法の第1はin situ hybridizationという方法で、mRNAの所在を調べる方法です。

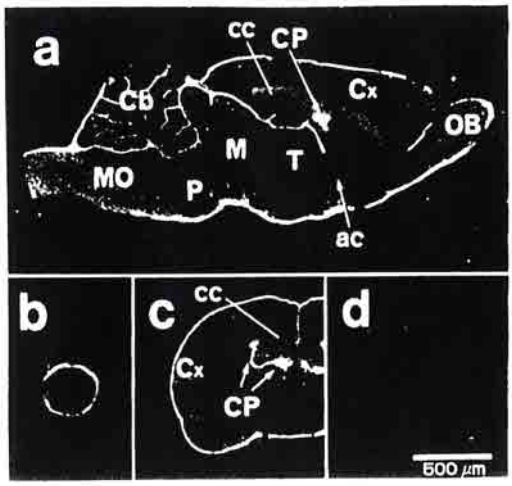


図 9. プロスタグランジンD合成酵素mRNAの分布

図9がラットの脳の縦切り(a)、横切り(c)、脊髄(b)、コントロール(d)です。白いところがmRNAの存在を示しています。ご覧頂きますように、脳の実質、脳みその中を調べてみるとmRNAはほとんど存在していません。わずかに非常に弱い散漫な反応がcorpus callosum (cc)、その他の部分に見られますが、一番強い反応があったのは、意外にも脳膜、即ち、くも膜や軟膜、要するに脳を包んでいる膜組織、脊髄を包んでいる膜組織にこの酵素が90%以上存在しているということが分かったのです。真中の辺にCPとあり、強くmRNAが発現しているのは、choroid plexus (CP)といって脈絡叢という組織がありますが、脳室の中にぺらぺらと出ている脳膜のようなものです。いずれにしても脳の実質にはほとんどなくて膜にあるということで、はじめは我々もこれが本当かどうかと心配していましたが、次に、酵素の抗体を使った組織免疫抗体法で調べてみると、やはりくも膜にこの酵素が分布しています。また、脈絡叢には上皮細胞に非常に強い所見が見られますが、脳の実質や神経細胞にはこの酵素は殆ど存在していません。また、

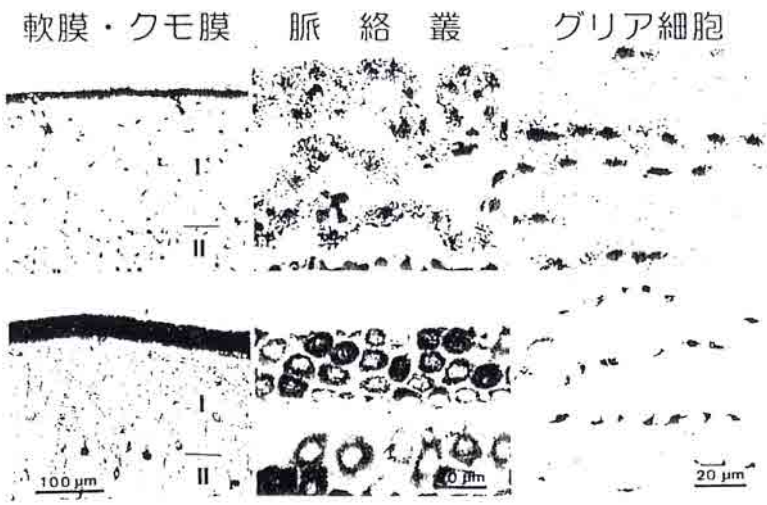


図10.　プロスタグランジンD合成酵素の細胞分布

グリア細胞の中ではオリゴテンドロサイトに強い陽性所見が見られます（図10）。私共は、このような意外な結果に大変驚いて、早速、膜や脈絡叢を採ってきて、その酵素活性を直接測定してみました。

表Ⅰは、PGD合成酵素の比活性ですが、全脳を採ってきて調べると2程度でありますが、脈絡叢やくも膜等はその数倍、あるいは数十倍多いということが、確かめられたのであります。ただ、意外なことにさらさらとした脳脊髄液を測ってみるとその酵素活性は全脳の100倍、あるいは数十倍高いということが分かりましたし、さらに人の脳脊髄液の主要蛋白であるβ-traceという蛋白を取って調べてみると、これはラットの精製したPGD合成酵素と同じ位の非常に高い酵素活性があるということが分かりました。

このβ-traceという蛋白は、実は今から30年程前にデンマークのClausenという研究者がヒトの脳脊髄液の蛋白を電気泳動法でいろいろ調べている時に発見して、脳脊髄液に特有の蛋白であり、アルブミンに次いで脳脊髄液中に大変たくさんある蛋白であるという報告をしていますが、それから30何年の間、このβ-traceは一体何をしているのか、その生理的意義については全く不明でした。ところが1993年になり、ドイツの2つのグループがβ-traceを採ってきて、精製して、アミノ酸の配列を調べたところ、私共がかつて報告をしていたPGD合成酵素の一次構造と非常に高い一致を示しているということを報告いたしました。私共も、人の脳脊髄液からPGD合成酵素を採ってきて、これを精製して、酵素学的、免疫学的に調べたところが、かつてClausenが発表したβ-traceとPGD合成酵素は全く同一であるということが分かった訳です。このPGD合成酵素は一次構造から見てectoenzymeであって、分泌型の蛋白である、細胞から分泌される蛋白であるということを先に申しましたが、以上の所見を考え合わせますと、PGD合成酵素はもともと主として脳周辺の膜組織、つまりくも膜とか脈絡叢で作られて、それが脳脊髄液中に分泌されてβ-traceになるのであろうと考えられます。また、その産物であるPGD_2そのものも脳脊髄液の中をぐるぐる回っているのではないかと考えられています。

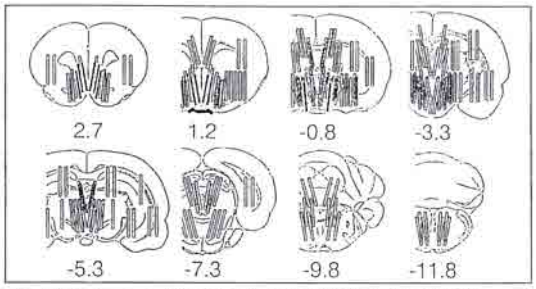
そうすると肝心のPGD_2、私共が睡眠ホルモンだという物質は脳脊髄液の中で脳の外をぐるぐる回っているから、それが脳実質、脳みその部分の神経細胞を眠らせるには一体どこで、どのようにして働いているのかという事が疑問に思われる訳です。そこで極めて微量のPGD_2をマイクロダイアリシスプローブでラ

ラット	全　脳	2
	脈絡叢	7
	軟膜・クモ膜	20
	脳脊髄液	～200
	PGD合成酵素	～4,000
ヒ　ト	脳脊髄液	10～80
	βトレース	～1,000

（ナノモル/分/mg蛋白質）

表Ⅰ.　プロスタグランジンD合成酵素活性

ットの脳のいろいろなところに注入してみました（図11）。



(数字はBregmaから前方(+)及び後方(−)への距離mm)

図11. マイクロダイアリシスプローブの位置とPGD_2投与による徐波睡眠の増加

白い管はプローブの位置でラットの脳内、約200ヶ所を調べました。下の数字はブレグマからの距離です。しかし、脳の中へPGD_2を入れても、睡眠は全く起りません。ただ僅かに起こるところは、視索前野の近傍で、黒い棒で示した処では、僅かではありますが反応が起こります。ところが、前脳基底部というちょうど脳の前の方の1番下の部分でブレグマの前方1, 2 mmの辺りですが、ここにごく微量のPGD_2を与えると、動物はたちどころにぐっすりと眠ります。もう一度わかりやすく書きなおしたのが図12です。前脳基底部frontal basal forebrainで、Broca's diagonal bandのちょうど下の辺です。おそらくここにPGD_2の受容体が密集していて、ここでPGD_2の結合が起こって、その信号が何らかの方法によって脳の中へ伝えられ、睡眠が起こるのであろうと考えられるわけです。

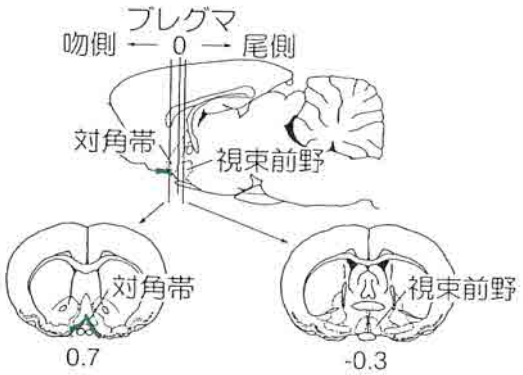


図12. PGD_2による睡眠促進の作用部位

アデノシンの役割−

PGD_2の受容体は京都大学の薬理学教室の成宮 周教授のところで構造が明らかになっています（図13）。おそらく、前脳基底部の膜の部分にこの受容体があり、細胞外からPGD_2が結合すると考えられます。それではこの信号は如何にして脳の実質に伝えられるのでしょうか。我々は多くの神経伝達物質、或いはペプタイドなどをこの近傍に注入してみたのですが、PGD_2以外に睡眠を起こす物質はただ1つです。アデノシン、それもアデノシンA_{2a}アゴニストだけが、特異的にPGD_2と同じ睡眠を起こすというのがわかりました。それでは、アデノシンによってその情報は脳のどこに流されてゆくのでしょうかということが次に問題になってきます。

私共はc-fosを使ってその情報の行き先を調べたいと考えました。そこでここにごく微量の

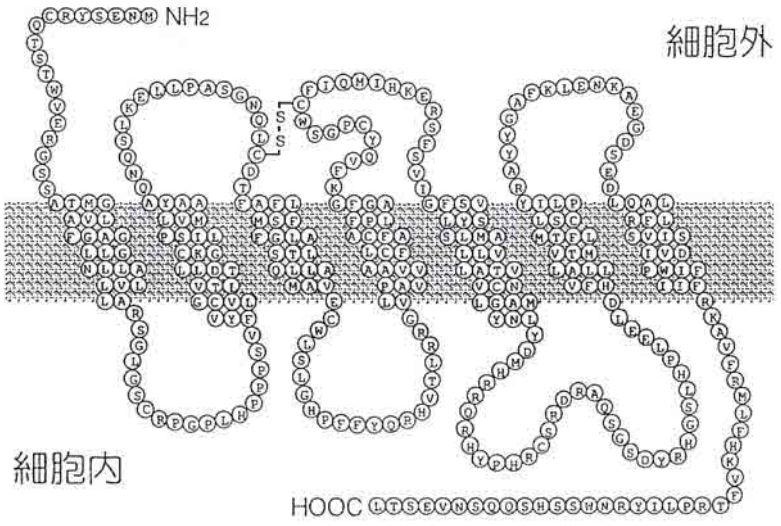


図13. マウスPGD受容体の構造

PGD_2を与えて、動物が眠り始めたらすぐ断頭してc-fosの検出をします。c-fosというのはimmediate early geneという非常に早く発現する遺伝子、ガン遺伝子の1種であり、細胞の、特に神経細胞の活性化を調べるのによく使われる示標ですが、それを調べてみました。

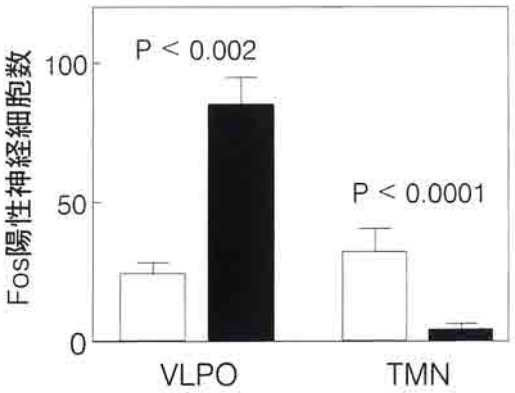


図14.　PGD_2 誘発睡眠におけるFos発現

図14はPGD_2を前脳基底部に与えた時の脳内のc-fosの陽性細胞を調べた図です。白いカラムが覚醒時、黒いカラムが睡眠時のc-fosの量です。PGD_2による睡眠時 ventrolateral preoptic area (VLPO) にc-fosの極めて強い陽性所見が見られます。同時に、それよりずっと後部のposterior hypothalamusの部分の、従来覚醒中枢といわれており、ヒスタミンとかPGE_2などが働く結節乳頭核 tuberomammillary nuclei (TMN)というところは逆に覚醒時に著明なc-fosの表現が、眠ると逆に非常に減ってくるわけです。

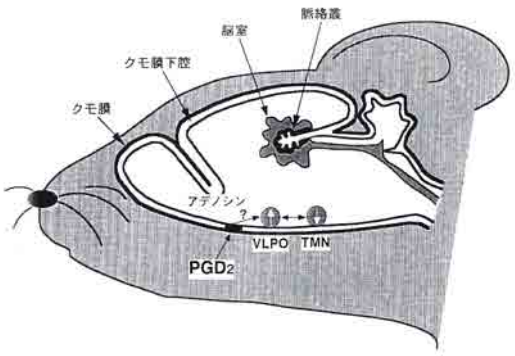


図15.　PGD_2 による睡眠誘発のメカニズム

まとめ－

以上を漫画的にまとめたのが、図15です。白いところが脳の実質です。動物が眠るというのはこの白いところにある脳神経細胞が眠るわけです。従来はこの中に睡眠中枢があり、そこで何かがおこって睡眠が調節されるのではないかと考えられていたわけですが、今日お話したところを簡単にまとめますと、PGD_2という物質が、脳室及びくも膜下腔をぐるぐる回ってPGD受容体に結合し、睡眠の信号を発信します。それはちょうどホルモンが血液の中をぐるぐる回って、いろいろなtarget organにいってそこで受容体に結合して、その情報が内部に伝えられて、いろいろな代謝の調節がおこります。次いで、リン酸化が起こったり、ガン化するという事が分かっています。睡眠の場合は細胞膜ではなくて、脳の膜に限極してPGDの受容体が存在して、PGD_2によって発信された信号はおそらくアデノシンによって内部に伝えられ、ventrolateral preoptic areaが最初の中継所になり、さらにtuberomammillary nucleiとの間には神経支配があることがよく分かっているので、ここでup regulation、down regulationが起こり、神経が興奮する。あるいは抑制されることによって睡眠と覚醒が起こるのではないかと考えられます。非常に簡単に、俗なたとえ話をさせて頂きますと、今まで脳を扱っていた研究者は私共も含めて、脳をお饅頭に例えると、あんこが大事だと信じていました。今までは脳の膜、皮の部分は脳を保護する機能が主であると考えてきましたが、よく調べてみるとあんこも大事だけれども、皮も大変大事だということです。皮の方がsleep generating brain、つまり脳の睡眠を調節している脳であり、脳の実質、つまり脳みその部分がsleeping brainであると申すことができると思います。最後に、この研究は永年に亘り、当病態代謝研究会からの貴重な研究費によるものであり、深く感謝申し上げます。

■附記／紙面の都合上、文献を省略しましたので、ご興味のある方は、次の総説をご参照ください。

(1) Hayaishi, O. Prostaglandin D_2 and sleep. Sleep and Sleep Disorders : From Molecule to Behavior. (Hayaishi, O., and Inoue, S., eds. Academic Press), 3-10, 1997
(2) 早石　修　(1998)　眠りの謎　ビタミン　72巻12号　659－667
(3) 早石　修　(1998)　睡眠を科学する　－睡眠・覚醒調節の分子機構－　麻酔47（増刊）：S11-S17

沿　革

18 年 譜

年	月 日	記 事
昭和44年	6月20日	・設立発起人会 1. 設立趣意書 2. 寄附行為・助成金交付規定の決定 ・役員決定 理 事 長　渡邊順平氏 理　　事　赤堀四郎、荒井雅男、高橋忠雄、中尾喜久、早石　修、村上増雄、山村雄一の各氏 監　　事　高柳恭蔵氏
	7月31日	基本財産 3,000万円、運用財産 2,500万円　山之内製薬(株)拠出 設立許可申請書を東京都を経て主務官庁の厚生省へ提出
	8月22日	厚生省収薬第7048号発にて設立許可
	8月27日	東京法務局登記 財団法人　病態代謝研究会設立された。
	9月 2日	第1回理事会及び評議員会開催 ・専務理事決定　村上増雄氏 ・評議員選出 阿部正和、市田文弘、上田喜一、内野治人、奥田邦雄、角尾　滋、勝木司馬之助、小坂淳夫、高岡善人、高木敬次郎、野口義圀、長谷川彌人、福井三郎、真下啓明、松永藤雄、村上元孝、村地　孝、山形敞一、吉利　和、和田武雄の各氏20名就任 ・評議員会長　勝木司馬之助氏就任
昭和45年	4月 1日	研究奨励金制度を設ける
	6月10日	厚生省収薬第9385号発により試験研究法人認可
	8月 7日	第1回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和46年	8月28日	第2回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和47年	3月31日	第1期任期満了に伴う役員改選
	7月 3日	厚生省収薬第11816号発にて試験研究法人許可更新 寄附行為第2条(本会事務所)の変更認可 新事務所を東京都中央区日本橋本町2丁目3番地10遠五ビルに置く 第3回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和48年	4月 1日	理　事　渡邊順平氏理事長退任、理　事　高橋忠雄氏理事長就任
	8月25日	監　事　高柳恭蔵氏退任、監　事　太田　豊氏新任 第4回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和49年	8月28日	厚生省収薬第13145号発にて試験研究法人の認可更新
	9月14日	第5回研究助成金交付者による中間報告会開催

年	月　日	記　事
昭和50年	2月27日	財団英文呼称名決まる
		「Yamanouchi Foundation for Research on Metabolic Disorders」
	3月31日	第2期任期満了に伴う役員改選
	4月 1日	理　事　山川民夫氏新任
	9月 6日	第6回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和51年	6月 1日	厚生省収薬第10601号発にて試験研究法人の認可更新
	6月28日	理　事　渡邊順平氏逝去
	7月31日	研究論文集『病態代謝Ⅰ』を刊行
	9月18日	理　事　中村盛太郎新任
		第7回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和52年	3月23日	理　事　荒井雅男、村上増雄各氏退任、理　事　森岡茂夫氏新任
		監　事　太田　豊氏退任、監　事　清部哲郎氏新任
	9月 5日	第8回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和53年	3月31日	第3期任期満了に伴う役員改選
	4月 1日	理　事　織田敏次氏新任
		監　事　清部哲郎氏退任、監　事　井村重光氏新任
	7月 3日	厚生省収薬第15069号発にて試験研究法人の認可更新
	9月 9日	第9回研究助成金交付者による中間報告会開催
	10月28日	設立10周年記念講演会開催
昭和54年	4月 1日	監　事　井村重光氏退任、監　事　軽森友次郎氏新任
	5月14日	理事長　高橋忠雄氏退任、理　事　山村雄一氏理事長に就任
	9月17日	第10回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和55年	9月13日	理　事　中村盛太郎氏退任、理　事　小島政夫氏新任
		評議員　上田喜一氏退任
		第11回研究助成金交付者による中間報告会開催
	11月21日	厚生省収薬第26951号発にて試験研究法人の認可更新
昭和56年	3月31日	第4期任期満了に伴う役員改選
		評議員　角尾　滋、勝木司馬之助、高岡善人、高木敬次郎、野口義圀、福井三郎、松永藤雄、山形敞一の各氏8名退任
	4月 1日	監　事　軽森友次郎氏退任、監　事　山田信次氏新任
		評議員　今井昭一、遠藤　實、太田和雄、尾前照雄、勝沼信彦、鹿取　信、岸本　進、坂本信夫、高久史麿、多田富雄、内藤周幸、服部孝雄、藤田拓男、宮下英夫、矢田純一、吉永　馨の各氏16名新任
	9月 5日	第12回研究助成金交付者による中間報告会開催

20 年 譜

年	月 日	記 事
昭和57年	9月18日	第13回研究助成金交付者による中間報告会開催
	12月25日	研究論文集『病態代謝Ⅱ』を刊行
昭和58年	4月 1日	海外留学補助金制度を設ける
	9月10日	第14回研究助成金交付者による中間報告会開催
	9月21日	厚生省収薬第22705号発にて試験研究法人の認可更新
昭和59年	3月31日	第5期任期満了に伴う役員改選
		理 事 小島政夫氏退任
	4月 1日	理 事 高橋孝三氏新任
	9月 1日	第15回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和60年	3月14日	評議員 村上元孝氏退任
	8月31日	第16回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和61年	3月31日	山之内製薬(株)より2億7千万円拠出され基本財産3億円となる
	6月 9日	厚生省収薬第891号発にて試験研究法人の認可更新
	9月 6日	第17回研究助成金交付者による中間報告会開催
昭和62年	1月 1日	事務所住所表示区画整理による変更
		東京都中央区日本橋本町二丁目4番7号 遠五ビル
	3月31日	第6期任期満了に伴う役員改選
	8月10日	山之内製薬(株)より5億円拠出され基本財産8億円となる
	9月 5日	第18回研究助成金交付者による中間報告会開催
	11月 1日	評議員 真下啓明氏退任
昭和63年	1月27日	山之内製薬(株)より2億円拠出され基本財産10億円となる
	3月16日	理 事 赤堀四郎氏退任
	4月 1日	理 事 鈴木友二氏新任
	9月10日	第19回研究助成金交付者による中間報告会開催
	9月16日	厚生省収薬第796号発にて特定公益増進法人の認可更新
	11月12日	設立20周年記念講演会開催
	12月28日	山之内製薬(株)より3億円拠出され基本財産13億円となる
平成元年	9月16日	第20回研究助成金交付者による中間報告会開催
	11月25日	研究論文集『病態代謝Ⅲ』を刊行
平成2年	3月31日	第7期任期満了に伴う役員改選
	6月10日	理事長 山村雄一氏逝去
	9月 8日	理 事 中尾喜久氏理事長に就任
		理 事 井村裕夫、小野田正愛、西塚泰美の各氏新任
		評議員 高久史麿氏理事に就任
		第21回研究助成金交付者による中間報告会開催

年	月　日	記　事
平成３年	3月31日	評議員　村地　孝氏退任
		剰余金５千万円を基本財産に加算して13億5千万円となる
	9月　7日	第22回研究助成金交付者による中間報告会開催
平成４年	8月12日	厚生省収薬第1156号発にて特定公益増進法人の認可更新
	9月　5日	理事　野口照久氏新任
		第23回研究助成金交付者による中間報告会開催
	10月12日	評議員　吉利　和氏逝去
平成５年	3月31日	第８期任期満了に伴う役員改選
	9月　4日	第24回研究助成金交付者による中間報告会開催
平成６年	8月12日	厚生省収薬第995号発にて特定公益増進法人の認可更新
	9月　3日	第25回研究助成金交付者による中間報告会開催
平成７年	3月31日	理事長　中尾喜久氏退任
	4月　1日	理　事　早石　修氏理事長就任
	5月　1日	監　事　山田信次氏退任、監　事　庄司武彦氏新任
	9月　2日	第26回研究助成金交付者による中間報告会開催
平成８年	3月29日	山之内製薬(株)より６億円拠出され基本財産へ５億５千万円をあて
		19億円となる
	3月31日	第９期任期満了に伴う役員改選
		理　事　鈴木友二氏退任
		評議員　内野治人氏退任
	6月27日	理　事　野口照久氏退任
	8月　5日	評議員　太田和雄氏逝去
	8月12日	厚生省収薬第1029号発にて特定公益増進法人の認可更新
	9月　7日	評議員　長谷川彌人退任
		第27回研究助成金交付者による中間報告会開催
平成９年	3月31日	評議員　宮下英夫氏退任
	9月　6日	第28回研究助成金交付者による中間報告会開催
平成10年	6月26日	理　事　高橋孝三氏退任
	8月12日	厚生省収薬第1130号発にて特定公益増進法人の認可更新
	9月　5日	第29回研究助成金交付者による中間報告会開催
	11月21日	設立30周年記念講演会開催
平成11年	1月30日	評議員　和田武雄氏逝去
	3月31日	第10期任期満了に伴う役員改選

研究助成事業

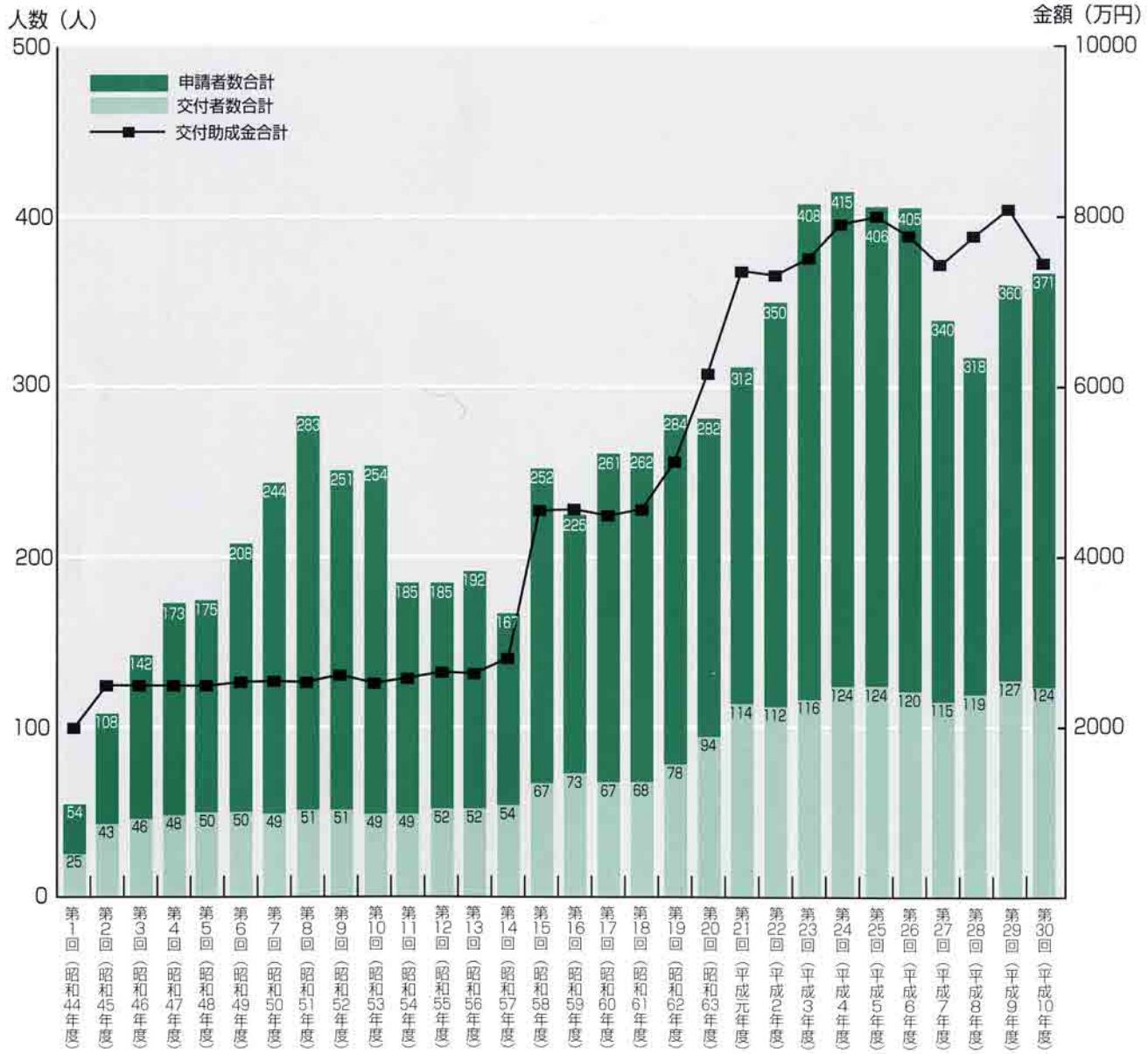
24 年度別公募数・交付者数・交付金額

助成交付状況

昭和44年に第1回研究助成金を25名の研究者に交付し、昭和45年度には応募時40歳以下の若手研究者を対象とした研究奨励金を設け、昭和58年には新たに海外留学補助金を設けました。

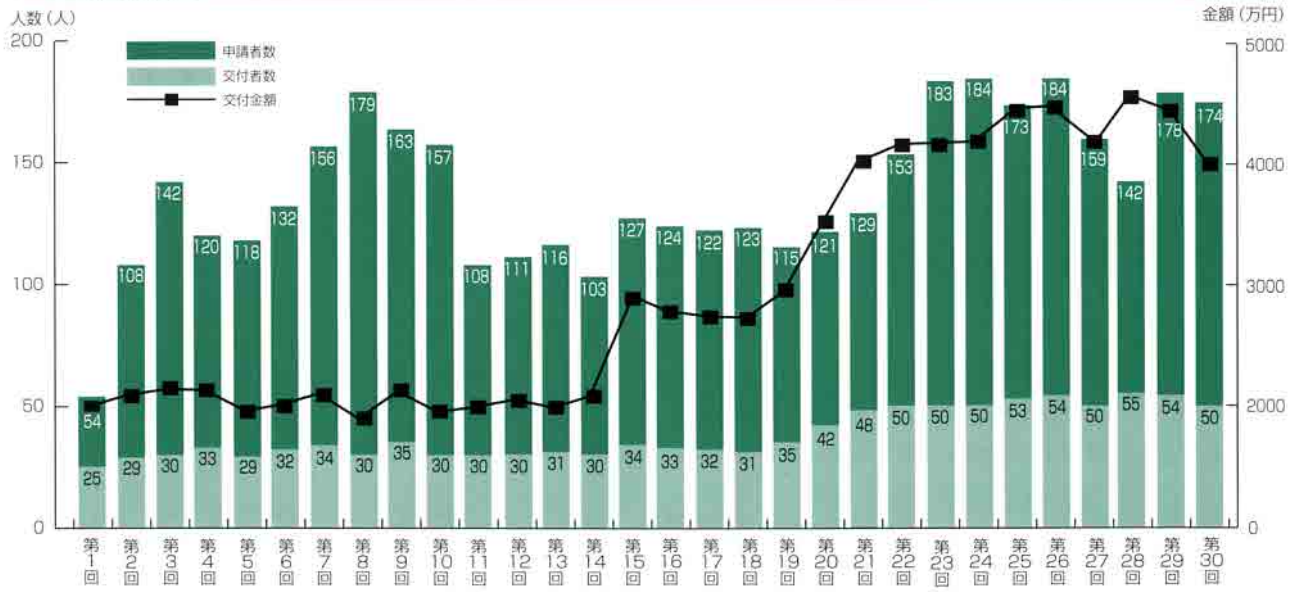
第1回から第30回までに研究助成金交付者数1,149名、研究奨励金交付者数934名、海外留学補助金交付者数228名、総数2,311名の研究者に14億1,590万円を交付しております。

■申請者数・交付者数合計および交付金額合計

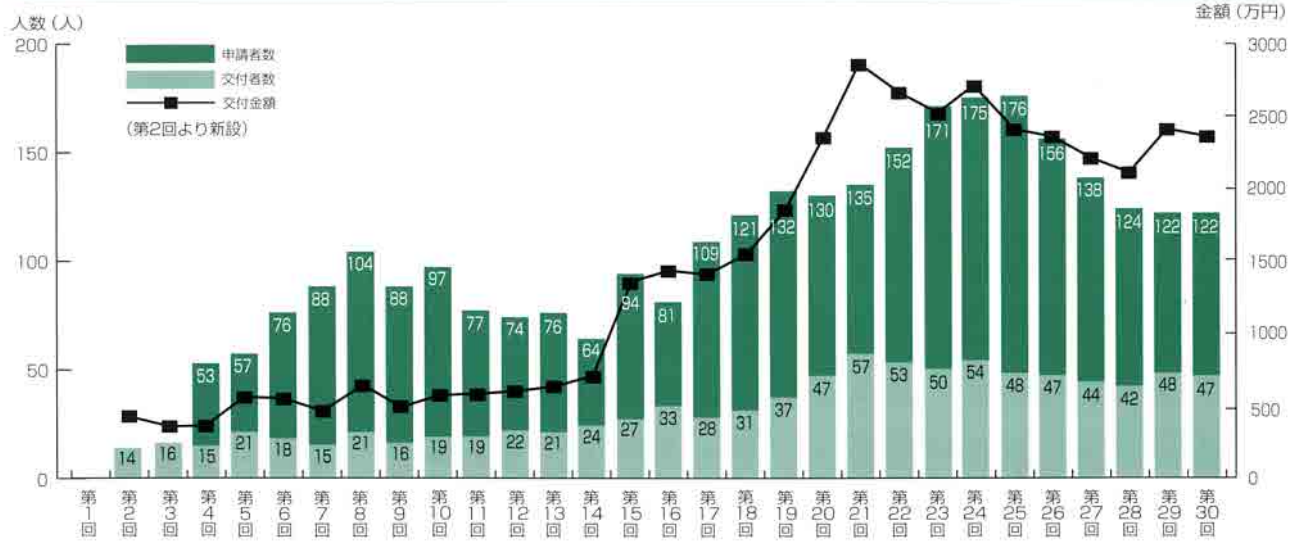


内訳

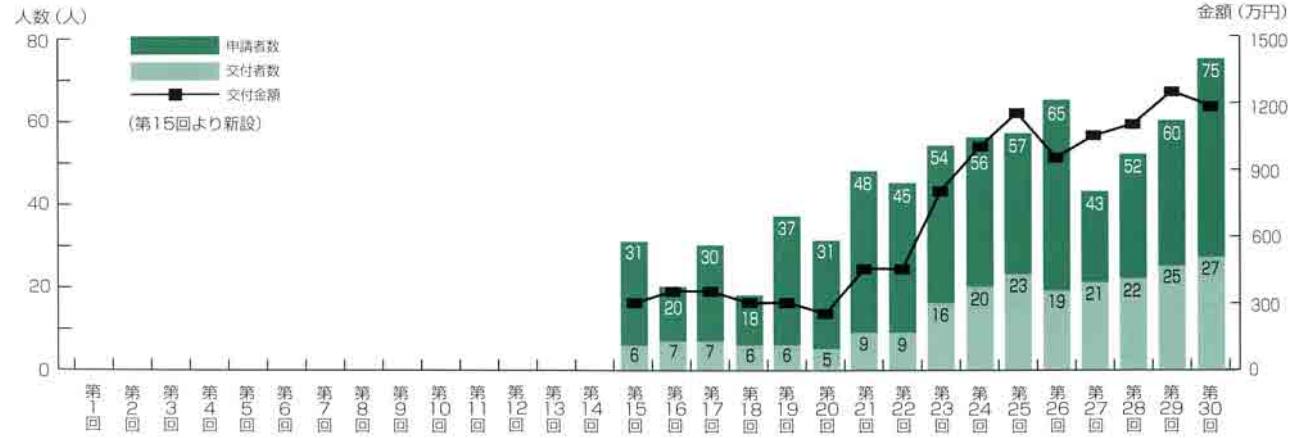
■研究助成金



■研究奨励金



■海外留学補助金



研究助成金・研究奨励金・海外留学補助金交付者一覧

＊研究助成金・研究奨励金・海外留学補助金交付者の所属機関は、交付時の所属。
また、海外留学補助金交付者の留学先も交付時に統一いたしました。

昭和44年度　第1回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　内科	糖尿病の発症、進展に及ぼす脂質代謝の役割
荒川規矩男	九州大学医学部　循環内科	本態性高血圧症の原因に関する研究
内野　治人	広島大学 原爆放射能医学研究所	V. B_{12}およびその補酵素の生体内における利用動態に関する基礎・臨床的研究
奥田　邦雄	久留米大学医学部　第二内科	内因子B_{12}複合体に対する腸粘膜受容体の研究
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	肝の抱合、排泄機能に関する研究
尾前　照雄	九州大学医学部　勝木内科	腎性血管透過性因子に関する実験的研究
北川　照男	東京慈恵会医科大学　小児科	チロジン症における肝硬変症の成因に関する研究
坂本　幸哉	大阪大学医学部　癌研究所	活性V. B_6（ピリドキサール燐酸）の病態生化学的研究
鎮目　和夫	虎の門病院　内分泌科	諸種内分泌および代謝疾患における脂質代謝の研究
高岡　善人	長崎大学医学部　第一内科	内科臨床におけるアミノ酸の代謝異常について
高久　史麿	東京大学医学部　中尾内科	造血ビタミンと造血細胞の核酸代謝
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	先天性アミノ酸代謝異常症における病態代謝並びに治療に関する研究
鶴見　膠一	福島県立医科大学　生化学	ムコ多糖代謝異常疾患の生化学的研究
永津　俊治	愛知学院大学歯学部　生化学	カテコールアミン生産腫瘍におけるカテコールアミン生合成の調節異常とチロシン水酸化酵素との関連
中村　　徹	京都大学医学部　内科	白血病細胞の核酸代謝と分裂増殖異常並びに抗白血病剤の効果
沼　　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病における脂質代謝の酵素学的研究
早石　　修	京都大学医学部　医化学	コレステロール代謝の臓器特異性
福井　三郎	京都大学工学部　工業化学	V. B_{12}の関与するメチル移転反応の新しい代謝的意義についての研究
藤沢　　洌	東京慈恵会医科大学 第一内科	肝線維化の生化学的研究とその対策
真下　啓明	北海道大学医学部　第二内科	肝障害時における抗生物質の代謝
村地　　孝	名古屋市立大学医学部　生化学	プロメラインと血清タンパク質との相互作用
山形　敞一	東北大学医学部　内科	生体におけるグルカゴンの動態に関する研究
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	神経疾患領域における脂質代謝異常の研究と診断・治療への応用
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	血清フェニールアセテートエステラーゼに関する基礎並びに臨床的研究
吉田　清一	東京大学医学部　中尾内科	肺の表面活性物質の病態生化学的研究

昭和45年度　第2回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	乳児期における葉酸代謝異常に関する研究
市田　文弘	新潟大学医学部　内科	肝とアミノ酸代謝
内野　治人	広島大学 原爆放射能医学研究所	ビタミンB_{12}およびその補酵素の生体内における利用動態に関する研究
奥田　邦雄	久留米大学医学部　内科	ビタミンB_{12}の吸収に関与する膵因子の同定
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	肝の抱合、排泄機能に関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	尿酸排泄代謝系の分化とその病態
菊地　吾郎	東北大学医学部　医化学	肝でのグリシンおよびセリン代謝に関する研究
北川　照男	東京慈恵会医科大学　小児科	チロジン症における肝硬変症の成因に関する研究
小坂　淳夫	岡山大学医学部　第一内科	障害肝ブドウ糖-6-リン酸脱水素酵素の誘導とその3分子種の相互転換機構に及ぼすGSHの作用
紺野　邦夫	昭和大学医学部　生化学	血管壁のコラーゲンおよび糖蛋白の代謝
酒井　文徳	東京大学医学部　薬理学	Micropuncture法による蛋白尿生成機序の解析
鎮目　和夫	虎の門病院　内分泌科	諸種内分泌および代謝疾患における脂質代謝の研究
杉村　隆	国立がんセンター研究所	胃の生化学に関する研究 —胃の病態代謝研究の基礎
高久　史麿	東京大学医学部　内科	造血細胞の分化増殖における造血ビタミンの関与
角尾　滋	昭和大学医学部　第一薬理学	イミダゾールアミノ酸代謝に関する基礎的研究
鶴見　膠一	福島県立医科大学　生化学	ムコ多糖代謝異常疾患の生化学的研究 —特に尿中酸性ムコ多糖に関する病態生化学の研究
永津　俊治	愛知学院大学歯学部　生化学	カテコールアミン生産腫瘍におけるカテコールアミン生合成の調節異常の解明
中村　徹	京都大学医学部　第一内科	白血病細胞の核酸代謝と分裂増殖異常並びに抗白血病剤の効果
沼　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病における脂質代謝の酵素学的研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	脳におけるコレステロール代謝
福井　三郎	京都大学工学部　工業化学	ビタミンB_{12}の関与する生化学反応の作用機序と新しい代謝的意義についての研究
藤沢　洌	東京慈恵会医科大学　第一内科	肝線維化の実験的・臨床的研究
真下　啓明	北海道大学医学部　第二内科	肝胆道疾患における胆汁酸代謝の研究
村上　元孝	金沢大学医学部　内科	糖質代謝異常に合併する血管損傷成り立ちに関する研究
山形　敞一	東北大学医学部　内科	生体におけるグルカゴンの動態に関する研究
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	脂質代謝異常の基礎的研究およびその診断への応用
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	血清Phenyl Acetate Esteraseに関する基礎並びに臨床的研究
米山　良昌	金沢大学医学部　生化学	メトロヘモグロビン還元の研究 —遺伝性メトヘモグロビン血症の分子生物学
和田　武雄	札幌医科大学　第一内科	糖尿病態における非定型インスリンの意義とインスリン不活化

昭和45年度 第2回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
赤沼　安夫	(財)朝日生命成人病研究所	寒天粒子(セファローズ)に結合させたインスリン抗体および同インスリンを用いた糖代謝の研究
荒川規矩男	九州大学医学部　内科	本態性高血圧の原因に関する研究
尾形　悦郎	東京大学 保健管理センター	カルシウムと代謝調節に関する研究
小澤　和恵	京都大学医学部　外科	虚血状態におけるミトコンドリア(Mt)代謝の生化学的研究
加納　　正	京都大学医学部　第一内科	免疫グロブリン異常を伴う諸疾患に対するSH化合物の臨床応用に関する研究
藏本　　淳	広島大学 原爆放射能医学研究所	血小板エネルギー代謝の病態生理学的研究とその臨床応用
佐々木英夫	新潟大学医学部　内科	肝性ポルフィリン症の臨床的研究
竹田　美文	大阪大学 微生物病研究所	癌におけるポリアミン代謝
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	先天性アミノ酸代謝異常症における病態代謝並びに治療に関する研究
内藤　周幸	東京大学医学部　第一内科	腸管および肝由来pre-βリポ蛋白と粥状動脈硬化症並びに高脂血症との関連に関する研究
馬場　茂明	神戸大学医学部　第二内科	細胞小器官病理学(organelle pathology)の立場よりみた血中逸脱酵素の肝遊出機序に関する研究並びにその臨床生化学的検査法へのアプローチ
平嶋　邦猛	(財)放射線医学総合研究所	白血病細胞の増殖および代謝の調節機構に関する研究
穂下　剛彦	広島大学医学部　生化学	肝疾患と胆汁酸代謝異常との相関の究明並びにその臨床診断への応用
森井　浩世	東京大学医学部　第三内科	カルチトニンの分泌調節と病態生理学的研究

昭和46年度 第3回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　内科	肥満症の病態生理学的研究 ―剔出ヒト脂肪細胞の形態と機能についての検討
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	乳児脳発育と葉酸との関係についての臨床的実験的研究
井林　　博	九州大学医学部　第三内科	老化現象の内分泌学的研究
井村　裕夫	神戸大学医学部　内科	活性アミンの下垂体ホルモン分泌への影響
右田　俊介	金沢大学 がん研究所	定量免疫電気泳動の実用化に関する研究
尾形　悦郎	東京大学 保健管理センター	カルシウムと代謝調節に関する研究
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	胆道閉塞時のリポプロテイン代謝に関する研究
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	肝の抱合、排泄機能に関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	酵素群特異的な異化酵素の発見とビタミン欠乏および病態との関係
北村　元仕	虎の門病院　生化学	遺伝性H型乳酸脱水素酵素(LDH)欠損症に関する研究
熊原　雄一	大阪大学医学部　中央臨床検査部	視床下部神経ホルモンによる間脳下垂体疾患の病態代謝に関する研究
小池　正彦	長崎大学医学部　原爆後障害医療研究施設	心筋におけるピルビン酸代謝調節
後藤　由夫	弘前大学医学部　第三内科	糖尿病におけるケトン体の代謝―特に脳組織および筋肉における代謝

研究者名	所属機関	研究テーマ
酒井　文徳	東京大学医学部　薬理学	Micropuncture法による蛋白尿生成機序の解析
高橋善彌太	岐阜大学医学部　第一内科	脂肪肝の成立機序に関する研究
田村　善蔵	東京大学薬学部　薬品分析化学	キノホルムの体内動態に関する研究
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋ホスホフルクトキナーゼ欠損症の病態分析
中川　八郎	大阪大学 蛋白質研究所	代謝酵素リズムと自律神経機能
沼　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病における脂質代謝の酵素学的研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	ミエリン形成における酸素添加酵素の役割
平井　秀松	北海道大学医学部　生化学	グルタチオン代謝の酵素的研究
松永　藤雄	弘前大学医学部　第一内科	吸収不良症候群における脂質代謝に関する研究
水原　舜爾	岡山大学医学部　生化学	含硫アミノ酸の病態代謝に関する研究
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	遺伝性溶血性貧血の赤血球代謝に関する研究
村上　元孝	金沢大学医学部　内科	糖尿病性神経症の成り立ちに関する研究
村地　孝	名古屋市立大学医学部　生化学	肝臓アルギナーゼの物性の動態
森沢　成司	大阪市立大学医学部　生化学	薬物アレルギーにおける薬剤の代謝と抗原性獲得について
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	脂質代謝異常の基礎的研究
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	肝障害の酵素化学的研究
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	ヒト赤血球のメトヘモグロビン還元について

昭和46年度　第3回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部　薫	東京大学医学部　第一内科	melanocyte stimulating hormone（MSHM）の生成分泌機序およびその生体における意義に関する研究
小川　暢也	九州大学薬学部　薬理学	異常行動発現物質に関する行動薬理学的研究
藏本　淳	広島大学 原爆放射能医学研究所	血小板エネルギー代謝の病態生理学的研究とその臨床応用
繁田　幸男	大阪大学医学部　第一内科	活性ペプチドーことにインスリンーの腸管吸収に関する基礎的研究
清水　宏俊	熊本大学医学部　第一薬理学	生理的および病的状態における人脳の3', 5'-Cyclic AMP系
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	ヒト骨髄赤芽球におけるヘム合成の調節と各種血液疾患におけるその異常
高月　清	京都大学医学部　第一内科	免疫グロブリン異常疾患に関する研究－特に日本人における特異性について
土屋　雅春	慶應義塾大学医学部　内科	肝類洞における毛細血管化Capillarizationの発生機序およびその抑制物質の追求
中村　治雄	慶應義塾大学医学部　内科	血管壁の脂質代謝
野見山一生	群馬大学医学部　衛生学	カドミウムによる腎障害の発生機序と早期診断に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
平嶋　邦猛	(財)放射線医学総合研究所	白血病細胞の増殖および代謝の調節機構に関する研究
宮保　進	金沢大学医学部　第三内科	硫酸抱合型コルチコステロイドの起源とその生物学的意義に関する研究
武藤　泰敏	東京大学医学部　第三内科	血漿ビタミンAおよびビタミンA結合蛋白(Retinol Binding Protein)の臨床的研究 —特に胆道系疾患について
守屋　寛	東京理科大学薬学部　薬学科	血管透過性と癌組織増殖および転移に関する生化学的研究
吉川昌之介	東京大学 医科学研究所	DNA修復機構障害のがん化に及ぼす影響
和田　攻	東京大学医学部　衛生学	重金属の生体に及ぼす影響とその治療法の開発

昭和47年度　第4回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	抗てんかん剤(ジフェニールヒダントイン)の葉酸代謝に及ぼす影響の作用機転についての研究
井村　裕夫	神戸大学医学部　第三内科	中枢神経系の内分泌機能への影響に関する研究—特に神経伝導物質の役割について
内野　治人	広島大学 原爆放射能医学研究所	人血液細胞の増殖とピリミジン合成代謝調節機序
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	消化管由来B_{12}結合蛋白の生理的意義、ことに内因子様作用の発現に関する研究
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	アルカリフォスファターゼ アイソエンザイムの病態代謝的意義
尾前　照雄	九州大学医学部　第二内科	高血圧の成因と病態における電解質代謝異常の意義
柿本　泰男	大阪大学医学部 高次神経研究施設	ヒト尿中メチルアミノ酸定量による体蛋白代謝回転の測定および病態との関連
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	細胞内酵素量調節にはたす群特異性プロテアーゼの役割
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	薬物ポルフィリン症の実験的研究
北川　照男	日本大学医学部　小児科	リピドーシスの胎児診断に関する研究
北村　元仕	虎の門病院　生化学	遺伝性H型乳酸脱水素酵素(LDH)欠損症に関する研究
小池　正彦	長崎大学医学部　原爆後障害医療研究施設	心筋におけるピルビン酸代謝の調節機構
小坂　樹徳	東京大学医学部　第三内科	ヒト糖尿病における血中インスリン動態の基本的異常とその臨床的意義に関する研究
小坂　淳夫	岡山大学医学部　第一内科	障害肝における酵素合成調節異常とポリソームの機能に関する研究
紺野　邦夫	昭和大学医学部　生化学	結合組織病の生化学的研究
酒井　文徳	東京大学医学部　薬理学	Micropuncture法による蛋白尿生成機序の機序
坂本　幸哉	大阪大学医学部　癌研究所	糖尿病におけるKetosisと脂肪酸のω酸化
杉村　隆	国立がんセンター研究所	胃の病態代謝 —胃癌発生母地としての腸上皮化生の研究— 特に基礎的知見の臨床への応用
須田　正巳	大阪大学 蛋白質研究所	日内リズムからみた高等動物におけるホメオスターシス
高橋　康夫	新潟大学 脳研究所	分離グリア細胞の代謝的研究髄鞘形成および脱髄と関連して
多田　啓也	大阪市立大学医学部　小児科	羊水成分の分析による遺伝性代謝異常症の診断法に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
田村　善蔵	東京大学薬学部　薬品分析化学	本態性高血圧症におけるカテコールアミンの動態に関する研究
沼　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病における脂質代謝異常に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	プロスタグランジン生合成の酵素化学的研究
福井　三郎	京都大学工学部　工業化学	ビタミンB_{12}を活性部位とする酵素の生合成・生分解および活性の調節に関する研究
本庄　一夫	京都大学医学部　第一外科	肝ミトコンドリア(Mt)の代謝からみた代償性機能亢進の意義とその臨床的応用について
水原　舜爾	岡山大学医学部　生化学	含硫アミノ酸の病態代謝
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	顆粒白血球食作用の生化学的メカニズムの研究
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	赤血球加令および崩壊の機序に関する生化学的並びに病理学的研究
村松　正実	徳島大学医学部　生化学	核小体およびリボゾームRNAと腫瘍特異性に関する研究
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	先天性脂質代謝異常の生化学的研究
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	ヘモグロビン機能に反映される赤血球機能の解析とその応用
吉利　和	東京大学医学部　第一内科	腎の水・電解質代謝における腎循環の意義

昭和47年度　第4回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　第一内科	各種血液疾患における骨髄赤芽球および抹梢網状赤血球中δ-アミノレブリン酸合成酵素活性の変動
安藤　敏幸	大阪市立小児保健センター	1）代謝性酸血症における有機酸代謝異常の研究および正常時有機酸代謝調節の研究　2）^{13}C-isotopeを用いるin vivo代謝研究の分析方法の確立
加納　正	京都大学医学部　第一内科	系統的免疫疾患(免疫不全症・リンパ系腫瘍・自己免疫疾患)の発生病理と相互関連性に関する研究
苅家　利承	東京大学医学部　第一内科	溶血性貧血における赤血球Na^+-K^+ATP ase機構の解析
木村　篤	福島県立医科大学　生化学	尿中ムコ物質の病態化学
多田　富雄	千葉大学医学部　病理学	胸腺リンパ球のreceptorの分離とその活性についての研究
冨永　健	大阪大学 微生物病研究所	7,12Dimethylbenz(a)anthracene(7,12DMBA)によるラット乳癌発生および抑制機序に関する研究
中島　修	鳥取大学医学部　第三内科	培養肝細胞内における血色素の代謝
仁科　甫啓	虎の門病院　生化学科	先天性フォスホグリセリン酸キナーゼ欠乏症の研究
橋本　隆	信州大学医学部　生化学	脂肪酸生合成を調節する因子の作用機序
三浦　恭定	自治医科大学　内科	組織培養による血液細胞の分化と血色素合成に関する研究
武藤　泰敏	東京大学医学部　第三内科	血漿ビタミンA結合蛋白(Retinol Binding Protein)に関する研究
森　徹	京都大学医学部　中央放射線部	甲状腺の自己免疫機序の研究 —各種甲状腺疾患および各種自己免疫疾患におけるサイログロブリンおよび抗サイログロブリン抗体の動態に関する研究
山本　俊夫	京都大学医学部　第一内科	薬物の酵素誘導に関する臨床的研究
和田　攻	東京大学医学部　衛生学	重金属に対する生体防禦および解毒機構

昭和48年度　第5回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　内科	肥満症の病態生理学的研究：剔出ヒト脂肪細胞の形態と機能についての検討
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	Diphenylhydantoin服用による肝N^5methyltetrahydrofolate-homo-cystein transmethylaseのapoenzymeのinduction
井林　博	九州大学医学部　第三内科	Steroid sulfateの生合成機能と代謝に関する研究
井村　裕夫	神戸大学医学部　第三内科	中枢神経系の内分泌機能への影響に関する研究―特に神経伝導物質の役割について
内野　治人	広島大学 原爆放射能医学研究所	リンパ球のピリミジン合成調節と芽球化抑制の機序
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	ビタミンB_{12}吸収における粘膜細胞内B_{12}結合たんぱくおよびトランスコバラミンの意義
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	アルカリフォスファターゼ アイソエンザイムの病態代謝的意義
柿本　泰男	大阪大学医学部 高次神経研究施設	ポリアミンの代謝と病態
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	B_6酵素分解酵素とB_6酵素の臓器内動態
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	薬物ポルフィリン症における肝δ-アミノレブリン酸合成酵素の細胞内移動および寿命に関する研究
北川　照男	日本大学医学部　小児科	先天性ピルビン酸デカルボキシラーゼ低下症の研究
小坂　樹徳	東京大学医学部　第三内科	糖尿病の治療と末梢組織・細胞の代謝並びにインスリン効果に関する実験的臨床的研究
杉村　隆	東京大学 医科学研究所	アミラーゼアイソザイムの分離測定とその臨床―特にまぎらわしい慢性膵炎の鑑別への応用
須田　正巳	大阪大学 蛋白質研究所	日内リズムからみた高等動物におけるホメオスターシス―特に環境条件に対する応答を中心として
高久　史麿	自治医科大学　内科	血球の分化と増殖に関する生化学的研究
多田　啓也	大阪市立大学医学部　小児科	羊水成分の分析による遺伝性代謝異常症の出産前診断に関する研究
中村　元臣	九州大学医学部　循環器内科	心筋のK、Caの代謝に関する研究
沼　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病における脂質代謝異常に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	プロスタグランジン合成酵素とその活性調節機構の研究
林　秀男	熊本大学医学部　病理学	代謝調節機構からみた炎症における中性SHプロテアーゼの意義
広重　力	北海道大学医学部　生理学	ACTH分泌の中枢性調節と脳内アミン
藤沢　洌	東京慈恵会医科大学　第一内科	アルコール肝の研究 ―アルコール肝のredox stateに及ぼす食餌因子の影響について
本庄　一夫	京都大学医学部　第一外科	肝ミトコンドリア(Mt)の代謝からみた代償性機能亢進の解析およびその臨床的応用について
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	赤血球加令および崩壊の機序に関する生化学的並びに病理学的研究
村地　孝	名古屋市立大学医学部　生化学	酵素蛋白質の腸管吸収―特にin situ実験
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	ヒト精巣複合糖脂質の生化学的研究―不妊症との関連およびセミノームにおける変化について
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	ヘモグロビンの構造と赤血球の機能
吉沢　善作	東北大学医学部　第二医化学	硫酸化糖蛋白の代謝異常症
吉利　和	東京大学医学部　第一内科	腎の水電解質代謝における腎循環の意義―特に腎における水電解質代謝異常と血流分布変動の関係について

昭和48年度　第5回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　第一内科	増血系δ-アミノレブリン酸合成酵素活性の調節機構
板倉　弘重	東京大学医学部　第三内科	グルタチオンの臨床的意義に関する研究
市山　新	東京大学医学部　栄養学	セロトニン生合成律速酵素のトリプトファン水酸化酵素に関する研究
遠藤　正彦	東北大学医学部　第二医化学	結合組織を形成している酸性ムコ多糖のカタボリズム
岡田美津子	徳島大学医学部　栄養学	ビタミンB_6欠乏ラットの代謝異常 —特に脂肪肝発現の機序を中心として
折茂　肇	(財)東京都養育院附属病院	老年者のカルシウム代謝に関する研究
酒井　庸禎	名古屋保健衛生大学医学部内科	インスリンによるサイクリックAMPホスホジエステラーゼ活性化機構に関する研究
坂田　利家	九州大学医学部　第一内科	脳内モノアミン代謝異常の攻撃行動発現に及ぼす影響
清水　章	大阪大学医学部　第三内科	マクログロブリン血症の病態生化学
下山　孝	兵庫医科大学　第四内科	アルコール肝障害時におけるビタミンB_6の代謝
高井　克治	東京大学医学部　栄養学	細胞3', 5'環状AMP(cAMP)レベルの調節機作についての研究
高守　正治	長崎大学医学部　第一内科	神経筋伝達cyclic3', 5'-adenosine monophosphateに関する生理・薬理および免疫学的研究
武田　博士	京都大学医学部　第一外科	障害肝のアンモニア代謝
竹田　美文	大阪大学 微生物病研究所	尿中ポリアミンの定量による癌診断の可能性について
谷村　弘	京都大学医学部　第二外科	外科領域における脂質代謝に関連した病態生理学的諸問題の研究—特に胆石の発生と膵炎の合併における脂質代謝の占める重要性について
内藤　説也	福岡大学医学部　内科	非特異的大動脈炎(いわゆる脈なし病・高安病)の病因に関する実験的並びに臨床的研究
中島　修	鳥取大学医学部　内科	ビリルビンの酵素的生成経路と黄疸の発生機序
松倉　茂	神戸大学医学部　第三内科	ラジオイムノアッセイによるpregnenolone, progesterone17-OH progesterone同時測定の臨床的応用
溝口　秀昭	東京大学医学部　第三内科	胎児性ヘモグロビン(HbF)合成の研究
武藤　泰敏	東京大学医学部　保健栄養学	血漿Retinol Binding Proteinの代謝に関する研究—肝におけるRBPの合成・分泌の機構について
森井　浩世	大阪市立大学医学部　第二内科	カルシウム代謝異常の臨床的研究

昭和49年度　第6回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	抗てんかん剤(ダイフェニールハイダントイン)の葉酸代謝に及ぼす影響
市田　文弘	新潟大学医学部　内科	代謝面からみた消化吸収に関する研究
井林　博	九州大学医学部　第三内科	視床下部・下垂体系の老化現象の特異性に関する研究
井村　裕夫	神戸大学医学部　第三内科	成長ホルモンおよびプロラクチン分泌の神経性・体液性調節機構に関する研究
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	ビタミンB_{12}の吸収における回腸粘膜受容体の生理生化学的意義
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	アルカリフォスファターゼ アイソエンザイムの病態代謝的意義

研究者名	所属機関	研究テーマ
上代　淑人	東京大学 医科学研究所	Cyclic GMPの新しい定量法の開発とその応用
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	グルコ・コルチコイド作用増幅性ポリペプチドの医学応用
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	薬物ポルフィリン症における肝δ-アミノレブリン酸合成酵素の細胞内動態に関する研究
国府　達郎	愛媛大学医学部　第二内科	血圧調節の生化学的研究
小坂　樹徳	東京大学医学部　第三内科	末梢組織・細胞の代謝とインスリン効果からみた糖尿病治療に関する基礎的研究
後藤　由夫	弘前大学医学部　第三内科	糖尿病発症時の病態の自然発症糖尿病ラットによる研究
小林　博	北海道大学医学部　癌研究施設	自己免疫疾患における腫瘍ウイルス感染症の役割
杉村　隆	国立がんセンター研究所	アミラーゼアイソザイムの基礎および臨床的研究 —高アミラーゼ血症診断の理論的裏づけを求めて
高久　史麿	自治医科大学　内科	造血細胞の分化と増殖に関する基礎的並びに臨床的研究 —特に造血幹細胞の動態からみた各種血液異常の病態について
高月　清	京都大学医学部　第一内科	アミロイドーシスの発生病理と治療に関する研究
高橋善彌太	岐阜大学医学部　第一内科	肝性脳症発現における脂肪族アミンの役割
多田　啓也	大阪市立大学医学部　小児科	Maternal Phenylketonuriaの病態代謝に関する研究
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	糖尿病性細小血管症の成因に関する酵素学的研究
鶴見　膠一	福島県立医科大学　生化学	酸性ムコ多糖代謝異常症におけるシアロオリゴ糖の病態生化学的研究
永井　裕	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	各種疾患におけるムコ多糖代謝の研究—特に低硫酸含有コンドロイチン硫酸の尿中排泄と病態との相関について
沼　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病における脂質代謝異常に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	プロスタグランジン合成酵素の研究
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	炎症反応と直結した細胞中性SHプロテアーゼの酵素学的特性に関する研究
広重　力	北海道大学医学部　生理学	ACTH分泌の中枢性調節の性差
本庄　一夫	京都大学医学部　第一外科	ミトコンドリア(Mt)機能と耐糖能異常の相関からみた黄疸の分類とその臨床的意義
松島泰次郎	東京大学 医科学研究所	新生体高分子“ポリADP-リボース”に対する抗体生産とその自己免疫疾患の関連
水原　舜爾	岡山大学医学部　生化学	含硫アミノ酸の病態代謝
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	ピルビン酸キナーゼのgenetic variantsの同定とその溶血機序の解明
村地　孝	京都大学医学部　検査部	ヘモグロビン異化代謝過程におけるプロテアーゼの役割
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	ヒトおよびラット精巣糖脂質の生化学的研究—造精機能障害による不妊症と関連して
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	ヘモグロビン機能に反映される赤血球機能の解析とその応用

昭和49年度　第6回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
井川　洋二	(財)癌研究会癌研究所	長期培養細胞によるヘモグロビン合成調節メカニズムに関する研究
岡田　秀親	国立がんセンター研究所	生体のImmune-complex処理における二種類の補体レセプターがはたす役割
女屋　敏正	信州大学医学部 順応医学研究施設	バゼドウ症患者血中に見い出される甲状腺刺激物質、Human Thyroid Stimulator(HTS)に関する研究
折茂　肇	(財)東京都養育院附属病院	老年者のカルシウム代謝に関する研究
加納　正	京都大学医学部　第一内科	IgA単独欠損症に関する総合的研究—特に腫瘍をはじめとする多彩な病態との関連性について
木村　滋	大阪大学 蛋白質研究所	病態時の異常生体微量蛋白質の構造解析法の開発
坂田　利家	九州大学医学部　第一内科	脳内モノアミン代謝異常の攻撃行動発現および摂食異常に及ぼす影響
篠田　友孝	国立遺伝学研究所	免疫性グロブリンの生化学的研究：IgAを中心として
清水　章	大阪大学医学部　第三内科	マクログロブリン血症の病態生化学
竹田　美文	大阪大学 微生物病研究所	ポリアミンの代謝と癌細胞増殖
谷口　直之	北海道大学医学部　衛生学	ヒトの血液炭酸脱水酵素アイソザイムの免疫化学的定量と病態的意義に関する研究
内藤　説也	福岡大学医学部　第二内科	循環器系の免疫疾患における細胞性免疫に関する研究
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	生体内における不要タンパクの分解の機構に関する研究
山路　徹	東京大学医学部　第三内科	抗利尿ホルモンの免疫学的測定法の開発とその水電解代謝異常の病態解明への応用
山田　弘仁	札幌医科大学　第一内科	血清リポ蛋白—特にβ-Preβ中間帯(mid bands)の病態代謝に関する基礎的・臨床的研究
山本　俊夫	近畿大学医学部　内科	肝マイクロゾーム酵素、上清有機陰イオン結合蛋白誘導の研究
吉川昌之介	東京大学 医科学研究所	cAMP合成能を欠く哺乳動物細胞変異株の分離
和田　攻	東京大学医学部　衛生学	環境汚染重金属の生体内代謝と重金属中毒の治療法の確立

昭和50年度　第7回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒川規矩男	福岡大学医学部　第二内科	アンジオテンシンⅡの新拮抗剤の開発と病態代謝の研究
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	ヒスチジン血症における脳障害の発生機転に関する実験的研究
市山　新	浜松医科大学　生化学	脳トリプトファン水酸化酵素の多様性に関する研究
井村　裕夫	神戸大学医学部　第三内科	下垂体ホルモンの分泌調節における視床下部ホルモンのモノアミンの役割に関する研究
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	ビタミンB_{12}の吸収と体内搬送に関する研究
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	アルカリフォスファターゼ アイソエンザイムの病態代謝的意義
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	肝癌におけるPurine生合成の調節異常
河内　卓	国立がんセンター研究所	胃にみられる腸上皮化生の蔗糖分解酵素の血液型活性—胃の前癌状態との関連について
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	薬物ポルフィリン症における肝δ-アミノレブリン酸合成酵素の細胞内動態に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
北川　照男	日本大学医学部　小児科	肝における β-glucosidase活性が正常なGaucher病の研究
小坂　樹徳	東京大学医学部　第三内科	糖尿病および肥満症におけるインスリン・レセプターの性状分析とインスリン効果による基礎的・臨床的研究
小坂　淳夫	岡山大学医学部　第一内科	特異抗体を用いたglucose6-phosphate dehydrogenase蛋白の合成調節機構の解析
木幡　陽	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
酒井　文徳	東京大学医学部　薬理学	腎髄質における電解質代謝の基礎的研究
坂本　幸哉	大阪大学医学部　癌研究施設	腫瘍並びに担癌動物組織のglucocorticoid細胞質受容体の異常性と応答反応性
須田　正己	愛媛大学医学部　第一医化学	消化吸収機作の代謝リズム的解析
高久　史麿	自治医科大学　第一内科	薬剤による造血器障害―特に薬剤による造血障害の精査と骨髄低形成発現の機序に関する病態生理学的研究
高橋善彌太	岐阜大学医学部　第一内科	肝性昏睡における脂肪族アミンの代謝について
多田　啓也	大阪市立大学医学部　小児科	アミノ酸転送異常症の病態に関する研究―特にリジン転送障害について
田村　善蔵	東京大学薬学部　薬品分析学	病態におけるカテコールアミン抱合体の挙動
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	インスリン欠乏症糖尿病の発症におけるウイルス性ラ氏島炎の役割
沼　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	プロスタグランジン生合成の酵素学的研究
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	炎症プロテアーゼによる生物活性物質―特にchemotactic factorの生成と意義に関する研究
飯田　静夫	東京大学医学部　生化学	グリコシダーゼを中心とした先天性代謝異常症の基礎的研究
本庄　一夫	京都大学医学部　第一外科	ミトコンドリア(Mt)機能と耐糖能異常の相関からみた肝機能予備力の分類とその臨床的応用
本田　西男	浜松医科大学　内科	腎糸球体基底膜の分子篩分け作用と蛋白尿に関する研究
水原　舜爾	岡山大学医学部　生化学	新コラーゲン代謝異常症の研究
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	血球の代謝調節―赤血球、白血球、血小板の代謝と機能
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	免疫学的手法を加味したG6PD variantsの同定に関する研究
村地　孝	京都大学医学部　病態学	ヘモグロビン異化代謝過程におけるプロテアーゼの役割
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	分子病モデルとしての異常ヘモグロビン症の病態生化学的研究
吉沢　善作	東北大学医学部　第二医化学	結合組織病と糖蛋白およびムコ多糖代謝
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	遺伝性メトヘモグロビン血症の研究

昭和50年度　第7回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　血液学	骨髄細胞内の新プロテアーゼ
衛藤　義勝	東京慈恵会医科大学　小児科	人脳の発育に伴うLysosomal Enzyme（Arylsulfatase、β-galactosidase）および糖脂質、ムコ多糖の物質変動に関する研究
加納　正	京都大学医学部　第一内科	IgA系に関する基礎的並びに臨床的研究
栗原　正	新潟大学 脳研究所	病態脳における2'、3'-環状ヌクレオチド3'-フォスフォヒドロラーゼ活性の変化
小玉　孝郎	北海道大学医学部　癌研究施設	癌リンパ節転移免疫治療の基礎的研究
清水　章	大阪大学医学部　第三内科	白血球遊走促進因子の化学構造
瀬戸口敏明	宮崎医科大学　第一外科	Cerebrotendinous Xanthomatosis（CTX）の本態に関する研究
武田　誠郎	神戸大学医学部　生化学	Cyclic GMPによる代謝の調節機構に関する研究
武田　博士	京都大学医学部　第一外科	正常並びに障害肝の肝灌流実験によるNH_3固定機構の代謝調節
竹田　美文	大阪大学 微生物病研究所	担癌動物におけるポリアミン代謝とその調節
戸田剛太郎	東京大学医学部　第一内科	遊離肝細胞膜を抗原として自己免疫性、慢性肝障害モデルの作製
野沢　義則	岐阜大学医学部　生化学	赤血球膜異常の生化学的研究
八幡　義人	川崎医科大学　内科	遺伝性球状赤血球症の病因に関する赤血球膜酵素protein kinaseの研究
山下亀次郎	筑波大学　臨床医学	TSHの作用機構に関する研究―cyclic AMP系、cyclic GMP系とCaイオンの作用を中心として
吉永　秀	熊本大学医学部 免疫医学研究施設	リンパ球活性化に対する多核白血球の協調作用 ―特に多核白血球因子の産生とその性質について

昭和51年度　第8回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒川規矩男	福岡大学医学部　第二内科	アンジオテンシンⅡの新拮抗剤の開発と病態代謝の研究
荒川　雅男	東北大学医学部　小児科	ヒスチジン投与による肝内CH_3-tetrahydrofolateの流血中への動員に関する研究
井林　博	九州大学医学部　第三内科	アポ蛋白からみたリポ蛋白代謝異常に関する病態研究
井村　裕夫	神戸大学医学部　第三内科	インドールアミンの下垂体ホルモン分泌調節における役割に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	核酸代謝の面からみた抗白血病剤の作用機序
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	内因子、ビタミンB_{12}複合体に対する受容体のアフィニティクロマトグラフィーを用いる精製
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	黄疸成立における肝細胞膜の病態代謝的役割
折茂　肇	（財）東京都養育院附属病院	カルシウム代謝調節ホルモンに関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	細胞内ornithine transaminase量の調節機構とその病態
亀山　正邦	京都大学医学部　老年医学	血管内凝固症候群と脳血管障害―脳梗塞の成因を含めて
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	薬物ポルフィリン症における肝α-アミノレブリン酸合成酵素の細胞内動態に関する研究
北川　照男	日本大学医学部　小児科	肝におけるβ-glucosidase活性が正常なGaucher病の研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
国府　達郎	愛媛大学医学部　第二内科	血中レニン基質の代謝調節に関する研究
小坂　樹徳	東京大学医学部　第三内科	糖尿病および肥満症におけるインスリン・レセプターの性状分析とインスリン効果による基礎的・臨床的研究
酒井　文徳	東京大学医学部　薬理学	腎髄質における電解質代謝の基礎的研究
須田　正己	愛媛大学医学部　第一医化学	予知反応による代謝応答と摂食行動の連動的支配―その病態解析への応用
高久　史麿	自治医科大学　内科	造血細胞の分化・増殖の異常の観点からみた各種血液疾患の病態生理
多田　啓也	大阪市立大学医学部　小児科	アミノ酸転送異常症の病態に関する研究―特にリジン転送障害について
多田　富雄	千葉大学医学部 環境疫学研究施設	Ｉ領域遺伝子産物による免疫応答の調節に関する研究
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	糖尿病性ケトアシドーシスにおける赤血球の解糖系 ―特に2、3DPGの減少機構に関する研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　生化学	ホルモンによる代謝の調節機構およびその病態に関する酵素化学的研究
沼　　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常に関する研究
早石　　修	京都大学医学部　医化学	プロスタグランジン合成酵素系の研究
林　　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	免疫グロブリンの新しい機能から見た炎症細胞中性プロテアーゼによる白血球遊走因子の生成と意義に関する研究
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	二次性赤血球グルタチオン還元酵素欠乏症の発生機序に関する免疫生化学的研究
村地　　孝	京都大学医学部　病態学	固定化酵素を組込んだ自動化臨床化学分析法の開発とその病態解析への応用
山川　民夫	東京大学医学部　生化学	グルコシダーゼを中心とした先天性代謝異常症の基礎的研究
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	分子病モデルとしての異常ヘモグロビン症の病態生化学的研究
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	遺伝性メトヘモグロビン血症 ―診断、病態生化学、治療の研究
和田　　博	大阪大学医学部　第二薬理学	ヒスタミン、ヒスタミンメチル誘導体の超微量定量法とその病態生化学的研究への応用

昭和51年度　第8回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
網野　信行	大阪大学医学部　中央臨床検査部	自己免疫性甲状腺疾患における増悪因子：妊娠、出産との関係について
伊藤　和彦	神戸大学医学部　輸血部	ヒトリンパ球核酸代謝異常に伴う免疫不全症の研究
今井　　正	自治医科大学　薬理学	単離尿細管潅流法によるCa^{2+}輸送機序に関する研究
遠藤　正彦	弘前大学医学部　生化学	硫酸化糖蛋白の糖鎖の不均一性の発現に関する研究
加納　　正	京都大学医学部　第一内科	IgA単独欠損症の成因に関する研究
鬼原　　彰	札幌医科大学　第一内科	肝疾患における膵内分泌機能、ことにグルカゴン動態とその病態像の解析に関する研究
木村　　弘	名古屋市立大学医学部　生化学	老化赤血球内のヘモグロビン蛋白質の細胞内蛋白質分解酵素による分解性
栗原　　正	新潟大学 脳研究所	脳における2'、3'-環状ヌクレオチド3'-フォスフォジエステラーゼの精製単離
斎藤　政樹	(財)東京都老人総合研究所	脳糖脂質ガングリオシドにより誘起される自己免疫性膜疾患に関する研究―特に実験的アレルギー性末梢神経炎誘起物質の解明を中心に

研究者名	所属機関	研究テーマ
酒井　好古	九州大学医学部　第三内科	補体系の活性化機構に関する研究
佐藤徳太郎	東北大学医学部　第二内科	糖尿病性細小血管症の発生機序に関する研究
清水　　章	大阪大学医学部　第三内科	白血球遊走促進因子の化学構造
高井　克治	京都大学 化学研究所	新しいL-トリプトファン分解酵素による生理活性ペプチド内トリプトファン残基の酵素的修飾
武田　博士	京都大学医学部　第一外科	肝不全時のliver supportの基礎と臨床—肝ミトコンドリアにおけるアンモニア固定機構ミトルリン合成とエネルギー産生機構についての研究—
竹田　美文	大阪大学 微生物病研究所	腸炎ビブリオの産生する耐熱性溶血毒の心臓毒性作用の機作の研究
浜岡　利之	大阪大学医学部　癌研究施設	薬物アレルギー成立のメカニズムとその予防法の確立に関する研究
丸茂　文昭	北里大学医学部　内科	抗利尿ホルモンの腎尿細管での作用機序に関する基礎的研究
三谷　　進	東京大学医学部　第一外科	肝外閉塞性黄疸時のエネルギー代謝障害および解除後の回復過程—特に消化管ホルモン補充投与の効果について
宮地　幸隆	広島大学医学部　第三内科	睾丸機能の調節に関する研究—特にgonadotropin receptor および cyclic nucleotidesを中心として
山内　　卓	旭川医科大学　生化学	チロシン水酸化酵素の調節機構に関する研究
吉永　　秀	熊本大学医学部 免疫医学研究施設	リンパ球活性化を促進する多核白血球および大食細胞の中性プロテアーゼの特性に関する研究

昭和52年度　第9回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　内科	肥満の病態生理学的研究—組織培養法によるヒト肥大脂肪細胞の代謝適応に関する研究
井村　裕夫	京都大学医学部　第三内科	下垂体ホルモン分泌に及ぼす中枢神経ペプタイドの影響に関する研究
岩永　貞昭	大阪大学 蛋白質研究所	血中の複合プロテアーゼ系の研究：第XⅡ因子の固相活性化反応の分子機構について
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	核酸代謝の面からみた抗腫瘍剤の作用機序
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	ビタミンB_{12}の血中および肝臓内搬送に関する研究
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	黄疸成立機序における肝細胞膜の病態代謝的役割
折茂　　肇	(財)東京都養育院附属病院	1）骨粗鬆症の成因および治療に関する研究 2）動脈壁カルシウム沈着に関する研究
上代　淑人	東京大学 医科学研究所	細胞質微小管の重合と脱重合
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	筋ジストロフィー症とセリン性プロテアーゼの異常
亀山　正邦	京都大学医学部　老年医学科	脳血栓の成因に関する研究—血小板凝集における赤血球の役割について
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	ヘモグロビンの生理的代謝分解の機構と調節に関する研究
北川　照男	日本大学医学部　小児科	I cell病の出生前診断とその酵素異常に関する研究
熊谷　　朗	千葉大学医学部　第二内科	糖尿病の病態と膵ソマトスタチンに関するラジオイムノアッセイおよび免疫組織学的研究
熊原　雄一	大阪大学医学部　第四内科	早期老化症細胞の遺伝的相補正に関する研究
国府　達郎	愛媛大学医学部　第二内科	ヒト癌細胞における胎盤型膜結合性中性アリルアミダーゼの出現に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
小坂　樹徳	東京大学医学部　第三内科	糖尿病および肥満症のインスリン標的細胞におけるインスリンレセプターと糖・アミノ酸の細胞膜通過の間のcouplingに関する研究
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	セルロプラスミンに関する研究 —特に鉄代謝との関係について
杉村　　隆	国立がんセンター研究所	胃癌高率発生危険人口(high risk group)の検出に血清ペプシノーゲン値を応用する方法の研究
高久　史麿	自治医科大学　内科	造血細胞の分化、腫瘍化におけるterminal deoxynucleotidyl transferase(TdT)の意義に関する基礎的並びに臨床的研究
高月　　清	京都大学医学部　第一内科	新しい代謝異常疾患：神経内分泌症状を伴う形質細胞異常増殖症に関する研究
多田　啓也	大阪市立大学医学部　小児科	皮膚培養ないし白血球による先天性代謝異常症の病態代謝の究明
多田　富雄	千葉大学医学部　免疫学	リンパ球subsetに表現されるⅠ領域遺伝子産物の性状と活性
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	消化管におけるグルコースの認識機構に関する研究
鶴藤　　丞	東北大学薬学部　生化学	炎症病態におけるプロスタグランジン代謝系の役割
西塚　泰美	神戸大学医学部　生化学	ホルモンによる代謝の調節機構およびその病態に関する酵素化学的研究 —特にホルモン作用におけるカルシウムの作用機序の研究
沼　　正作	京都大学医学部　医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常に関する研究
早石　　修	京都大学医学部　医化学	prostaglandin endoperoxide生成とそのthromboxaneへの変換の酵素学的研究
林　　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	IgG由来のマクロファージ、リンパ球遊走因子：その生成と作用機構に関する研究
平田　幸正	東京女子医科大学　内科	糖尿病の発症、増悪に関する免疫学的研究
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	顆粒白血球の食作用と殺菌能の生化学的研究
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	赤血球ピルビン酸キナーゼ遺伝的変異種同定法の標準化に関する研究
村尾　　誠	北海道大学医学部　第一内科	腎尿細管性アシドーシスにおける炭酸脱水酵素アイソザイムの病態的意義について
村地　　孝	京都大学医学部　病態学	固定化酵素を組込んだ自動化臨床化学分析法の開発とその病態解析への応用
山川　民夫	東京大学医学部　第一生化学	糖脂質代謝異常の細胞生物学的研究
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	分子病モデルとしての異常ヘモグロビン症の病態生化学的研究

昭和52年度　第9回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　第二生化学	炎症における骨髄細胞セリンプロテアーゼの意義
赤保内良和	札幌医科大学　第一内科	リンホカインの産生機構とその影響因子の解析
伊藤　和彦	神戸大学医学部　輸血部	ヒトリンパ球核酸代謝異常を伴う免疫不全症の研究
井上　修二	東京大学医学部　第二内科	視床下部性肥満ラットにおける自律神経系の役割 —交感神経因子、副交感神経因子の分析
加藤　　譲	神戸大学医学部　第三内科	ソマトスタチン(Growth Hormone Inhibiting Factor.GIF)の分泌調節機構に関する基礎的並びに臨床的研究
今野　孝彦	北海道大学医学部　第一生化学	ヒト補体系プロペルジン系の生化学的臨床的研究—特に疾患におけるプロペルジン系の役割
坂本　美一	自治医科大学　内分泌代謝科	Insulin-dextran複合体によるInsulin作用機序の研究 —特に組織Pyruvate dehydrogenase活性について

研究者名	所属機関	研究テーマ
新海　泓	大阪大学医学部　皮膚科	先天性結合組織代謝異常症におけるコラーゲン代謝
鈴木　幸雄	島根医科大学　病理学	マクロファージのクロマチン結合性プロテアーゼおよびプロテアーゼインヒビターに関する研究
脊山　洋右	東京大学医学部　生化学	脂肪酸生合成酵素系の立体特異性に関する研究
高井　克治	京都大学医学部　医化学	新しいヘム蛋白“トリプトファン側鎖酸化酵素”による生理活性ペプチド内トリプトファン残基の酵素的修飾
中村　重信	京都大学医学部　老年医学	神経系変性疾患における細胞膜異常の研究
原納　優	大阪大学医学部　第一内科	ソマトスタチンを用いた新しいインスリン感受性試験とその糖尿病病態解析への応用
船越　顕博	九州大学医学部　第三内科	膵液の酵素生化学的研究とその臨床応用 —特にDNase Ⅰに関する研究
村勢　敏郎	東京大学医学部　第三内科	高脂血症の成因に関する研究 —トリグリセライド(TG)のcatabolismの機構における肝性TGリパーゼの役割について
吉永　秀	熊本大学医学部 免疫医学研究施設	多核白血球プロテアーゼによるリンパ球DNA合成反応の増幅機構に関する研究

昭和53年度　第10回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	新しく発見されたプラスミン阻害因子α_2-plasmin inhibitorの先天性に欠損せる患者および家系についての遺伝学的並びに臨床病理学的研究
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　第三内科	肥満の病態生理学的研究：ヒト脂肪細胞の代謝とリポ蛋白リパーゼ活性の変化について
市山　新	浜松医科大学　第一生化学	グルカゴンのアミノ酸異化代謝促進機構に関する研究
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	神経ペプチドの下垂体ホルモン分泌調節における役割に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	生化学的な立場からみた抗腫瘍剤の作用機序と腫瘍細胞の増殖抑制効果
岡　博	東京大学医学部　第一内科	肝内性胆汁うっ滞時の肝細胞膜酵素活性の変化および脂質組成の変化：胆汁うっ滞の原因としての毛細胆管膜機能の異常
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	肝細胞の有機陰イオン処理能に及ぼす代謝的負荷の影響とその機作
折茂　肇	(財)東京都養育院附属病院	加令と耐糖能異常に関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	尿素サイクル酵素の量および質の先天異常
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	ヘムの生理的代謝分解の機構と調節に関する研究
北川　照男	日本大学医学部　小児科	I cell病とmucolipidosis type 3の出生前診断とその酵素異常に関する研究
熊谷　朗	千葉大学医学部　第二内科	膵ソマトスタチンの分泌機構に関する研究
国府　達郎	愛媛大学医学部　第二内科	ヒトがん細胞における胎盤型膜結合性アリールアミダーゼの出現に関する研究
木幡　陽	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	セルロプラスミンに関する研究—特に鉄代謝との関係について
杉村　隆	国立がんセンター研究所	蛋白質分解酵素阻害剤、ペプスタチンによる癌性腹水貯溜抑制法の開発とペプスタチンの水分、電解質代謝に及ぼす影響の解明
高久　史麿	自治医科大学　内科	人の尿からの顆粒球コロニー形成促進因子(CSF)並びに阻害因子(CIF)の純化とその生物学的活性の同定
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	皮膚培養ないし白血球による先天性代謝異常症の病態代謝の究明

研究者名	所属機関	研究テーマ
多田　富雄	東京大学医学部　血清学	Ⅰ領域遺伝子産物の構造と活性
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	遺伝性球状赤血球症(HS)発症の基礎的研究
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	“tumor-induced osteomalacia” の成立機構に関する臨床的並びに実験的研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	ホルモンによる代謝の調節機構とその病態に関する研究 —血糖調節機構の再検討とインスリンの作用機序
沼　　正作	京都大学医学部　第二医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常の分子機構に関する研究
早石　　修	京都大学医学部　医化学	活性ペプチド並びに酵素蛋白内トリプトファン残基の酵素的修飾とその応用
林　　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	IgG由来のマクロファージ、リンパ球遊走因子：その生成と作用機構に関する研究
三輪　史朗	山口大学医学部　第三内科	赤血球アデノシンデアミナーゼ過剰産生による遺伝性溶血性貧血の遺伝生化学的研究
村地　　孝	京都大学医学部　病態学	正常脳および脳腫瘍細胞におけるプロテアーゼとその阻害物質の動態
山川　民夫	東京大学医学部　第一生化学	マクロファージ表面の遊走阻止因子レセプターとしての糖脂質の研究
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	ヒト免疫応答調節機能の解析とその免疫学的疾患への応用
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	メトヘモグロビン血症の研究—特に原子価雑種血色素に注目して

昭和53年度　第10回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　第二生化学	新しい炎症プロテアーゼとその起炎機構
秋月　正史	慶應義塾大学医学部　内科	SLEにおける特異酸性核蛋白(Ha)代謝に関する研究
網野　信行	大阪大学医学部　中央臨床検査部	自己免疫疾患の発症予測とその予防に関する研究—橋本病をモデルとして
井上　修二	東京大学医学部　第二内科	実験肥満ラットの成因の研究　1) 自律神経系の役割、高インスリン血症成立機序における交感神経・副交感神経因子の分析　2) 血中lipoprotein lipaseの成因的意義
上田　國寛	京都大学 化学研究所	ストレプトゾートシン糖尿およびβ細胞腫誘発におけるADP-リボースの役割
加藤　久雄	大阪大学 蛋白質研究所	血液凝固の開始反応に関与するキニノーゲンの構造と機能の研究
加納　英雄	札幌医科大学　第一生化学	ラット肝脂質合成酵素の作用機序に関する研究
北島　　薫	京都大学医学部　第一内科	ヒト体細胞融合(human somatic cell hybridization)に関する研究
木村　　哲	筑波大学　臨床医学	肝における糖代謝ホルモンの作用機序とミトコンドリア機能
黒田　泰弘	徳島大学医学部　小児科	結合織の代謝からみたCockayne症候群の成因に関する研究
佐伯　行一	滋賀医科大学　予防医学	悪性腫瘍患者における赤血球内ポリアミンの動態について
静田　　裕	高知医科大学　医化学	ポリADP-リボースの生理的役割と病理的意義に関する研究
鈴木　友和	大阪大学医学部　第三内科	遺伝性カテコラミン代謝異常(自律神経失調症モデル)
脊山　洋右	東京大学医学部　生化学	脂肪酸生合成の調節機構
多田　道彦	大阪大学医学部　第一内科	冠疾患発症並びに増悪における冠血管壁代謝異常の生理・生化学的解析とその臨床応用

研究者名	所属機関	研究テーマ
富野　郁子	国立療養所刀根山病院	結核空洞形成と病巣部特異的チオールプロテアーゼについて
中村　重信	京都大学医学部　老年医学	神経系変性疾患における細胞膜異常の研究
中村　伸	京都大学 霊長類研究所	細菌性内毒素をtriggerとする止血—凝固反応の発現機序およびin vitro内毒素定量法に関する基礎研究
村勢　敏郎	東京大学医学部　第三内科	arginine-richアポリポ蛋白(アポE)の免疫学的測定法の開発とその臨床的応用

昭和54年度　第11回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	線溶阻害因子α_2-plasmin inhibitorによる血栓溶解の阻害機構の解析
市田　文弘	新潟大学医学部　第三内科	ヒト胎児性および原発性癌由来アルファフェトプロテイン(AFP)の生理生化学的研究—特に胎児期および肝癌代謝の相同性よりみたAFPの生理活性と発癌機構における役割について
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	内因性オピオイドペプチドおよび関連ペプチドの生理的意義に関する研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学	血液凝固の制御機構 —再構成系を用いてのアプローチ
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	ヒト白血病細胞の分化異常と生化学的マーカー
織田　敏次	東京大学医学部　第一内科	肝細胞膜の膜蛋白の病態に関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	proteus菌体由来glucocorticoid作用の増強効果を持つ特殊nucleotid類の研究
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	ヘム代謝とその異常に関する研究
北川　照男	日本大学医学部　小児科	sphingolipidosisの酵素診断に用いる基質の研究
木幡　陽	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	Shay顆粒球肉腫およびヒト白血病細胞の逆転写酵素と特異DNA
杉村　隆	国立がんセンター研究所	実験腸上皮化生の研究 —胃の前癌病変の解明のために
高久　史麿	自治医科大学　内科	白血病性造血幹細胞の分化に関する病態生化学的並びに臨床的研究
高月　清	京都大学医学部　第一内科	免疫グロブリン、アミロイドーシスの研究
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	新しい型の糖原病の病態代謝に関する研究
多田　富雄	東京大学医学部　血清学	T細胞の抗原リセプターの構造と遺伝子構成に関する研究
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	遺伝性球状赤血球症(HS)発症の基礎的研究
中島　熙	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	新たに見出されたビリルビン抱合体“C”の高ビリルビン血症発症過程における意義
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	ホルモン受容機構とその病態に関する研究 —新しい生体膜・Ca^{2+}受容機序の解析とその異常に基く疾患の分析
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常の分子機構に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	ウイルス感染および内毒素投与によるインドールアミン酸素添加酵素の誘導とその機構
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	癌細胞結合因子、その生化学的および生物学的特性について
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	多形核白血球の食作用時における代謝変化—特に活性酸素の発生機構について

研究者名	所属機関	研究テーマ
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球G6PDのpostsynthetic modificationに関する研究
村地　孝	京都大学医学部　病態学	細胞内プロテアーゼと新しく発見したその制御因子に関する研究
山川　民夫	東京大学医学部　第一生化学	脂肪酸生合成調節とその病態における意義
山野　俊雄	大阪大学医学部　第一生化学	ビタミンD_3の水酸化酵素系の研究 —肝・腎ミトコンドリア内膜におけるシトクロムP-450依存性水酸化酵素系について
山村　雄一	大阪大学医学部　第三内科	Bリンパ球系腫瘍細胞を用いたB細胞分化機構の解析
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	プラスタグランジン—トロンボキサン系生合成酵素の研究とその臨床検査への応用
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	メトヘモグロビン血症の研究—遺伝性、中毒性メトヘモグロビン血症について

昭和54年度　第11回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　第二生化学	生体防御機構における顆粒球新プロテアーゼの役割
網野　信行	大阪大学医学部　中央臨床検査部	自己免疫疾患の発症予測とその予防に関する研究—橋本病をモデルとして
入江　正	北海道大学医学部　第一内科	α_1-antitrypsin欠乏家系の調査、研究
浦部　晶夫	東京大学医学部　第三内科	赤芽球系前駆細胞の分化と成熟：ステロイドホルモンによる調節機構の検討
大西久仁彦	千葉大学医学部　第一内科	慢性アルコール飲用後誘導されるcytochrome P-450の肝小葉内局在
荻原　俊男	大阪大学医学部　老年病医学	高血圧の成因・病態解明に関する内分泌学的研究
加藤　久雄	九州大学理学部　生物学	血液凝固の開始反応の分子機構
金子　義保	東京大学医学部　第一内科	tumor promoterによる培養細胞増殖促進の機序
寒川　賢治	宮崎医科大学　第二生化学	脳内在性血圧調節ペプチド(特に降圧性)の精製とその科学的研究
小浜　一弘	東京大学医学部　薬理学	筋ジストロフィー症におけるタンパク質病態代謝の研究
清水　孝雄	京都大学医学部　医化学	脳におけるプロスタグランジンD_2の代謝と機能
鈴木　友和	大阪大学医学部　第三内科	遺伝性カテコラミン代謝異常 —自律神経失調症モデル—
清野　裕	京都大学医学部　第二内科	代謝異常特に“肥満およびやせ”の成因に関する内分泌学的研究
富野　郁子	国立療養所刀根山病院	結核空洞形成と病巣部プロテアーゼ —プロテアーゼにより分解される病巣部蛋白の同定とその反応阻止機構を中心として
畑　隆一郎	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	肝線維症および肝癌発生の分子機構に関する研究
宮田　学	京都大学医学部　老年医学	老年性痴呆および多発梗塞性痴呆における血清ドーパミン-β-水酸化酵素活性
村上　徹	東京大学医学部　第三内科	末梢血中白血球のglucocorticoid receptor測定法の開発およびその臨床的応用
村上　俊男	京都家政短期大学　家政学科	赤血球プロテアーゼ群に関する研究
渡邉　建彦	大阪大学医学部　第二薬理学	ヒスチジン脱炭酸酵素：肥満細胞性および非肥満細胞性酵素の酵素化学的並びに免疫化学的比較

昭和55年度　第12回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	異常プラスミノゲンの発現頻度と分布並びに血栓形成傾向との関連に関する研究
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　第三内科	ヒトの肥満の病態生理学的研究—脂肪細胞におけるインスリン抵抗性とエネルギー代謝について
市田　文弘	新潟大学医学部　第三内科	胎児期と癌化過程の代謝的相同性からみたアルファフェトプロテイン(AFP)の発癌機構における役割および胎児性並びに肝癌由来AFPの分子識別の試みとその診断、治療への応用
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	ACTH-β-endorphin関連ペプチドの生理的意義に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	ヒト白血病細胞の分化異常と生化学的マーカーおよび治療と関連性
岡　博	東京大学医学部　第一内科	肝細胞膜特異抗原・抗体系の肝炎慢性化における意義に関する研究
尾形　悦郎	東京大学医学部　第四内科	各種カルシウム代謝異常症成立におけるビタミンDの関与に関する研究
折茂　肇	(財)東京都養育院附属病院	動脈硬化とプロスタグランジンに関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	γ-glutamyltranspeptidase(γ GTP)の膜結合様式と血清・胆汁への遊離機構
岸本　忠三	大阪大学医学部　病理病態学	自己免疫疾患およびアトピー患者におけるBリンパ球機能異常の解析
北川　照男	日本大学医学部　小児科	sphingolipidosisの酵素診断に用いる基質の研究—Gaucher病の新しい病型、線維芽細胞の4MU-β-glucosidaseが正常なgaucher病Ⅰ型
熊谷　朗	千葉大学医学部　第二内科	膵ソマトスタチンの分泌機構および血中ソマトスタチンのラジオイムノアッセイに関する研究
後藤　由夫	弘前大学医学部　第三内科	糖尿病性血管障害に関する基礎的研究
木幡　陽	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	白血病細胞における逆転写酵素と腫瘍特異性DNAの検出
杉村　隆	国立がんセンター研究所	無アルブミン血症ラットにおける血清蛋白質の動態とアルブミン欠損の分子生物学的機構に関する研究
高久　史麿	自治医科大学 血液医学研究部門	血液細胞の分化・増殖における糖脂質の役割とその病態生理学的意義
高月　清	京都大学医学部　第一内科	成人T細胞白血病細胞を用いる表面マーカーと機能の研究 —特にサプレッサー因子について
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	新しい型の糖原病の病態代謝に関する研究
多田　富雄	東京大学医学部　血清学	T細胞抗原リセプターの分子構成に関する研究
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	消化管ホルモン分泌器官としての回腸の生理的役割 —特にグルカゴン様免疫反応物質(GLI)およびセクレチンについて
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	新しいホルモン受容機構の生理機能と病態に関する研究
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常の分子機構に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	遺伝子損傷の修復とポリADP-リボースの役割
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	癌細胞結合因子、その生化学的および生物学的特性について
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球pyrimidine 5'-nucleotidaseの遺伝性並びに後天性異常症に関する研究
村地　孝	京都大学医学部　病態学	細胞内プロテアーゼと新しく発見したその制御因子に関する研究
山川　民夫	東京大学医学部　第一生化学	心筋・動脈壁における脂肪酸生合成の調節機構
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	プロスタグランジン—トロンボキサン系の測定法の研究開発
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	メトヘモグロビン血症の研究

昭和55年度 第12回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　洋祐	自治医科大学　第二生化学	顆粒球の新しいセリンプロテアーゼと生体防御
池田　正春	福岡大学医学部　第二内科	トニンアフィニティークロマトグラフィーによる精製とその血管作動物質生成に関する生理化学的研究
伊勢村　護	東北大学医学部　第二医化学	結合組織疾患における特異代謝産物の検索とその化学特性の研究
猪熊　茂子	東京大学医学部　物療内科	日本人におけるα_1-アンチトリプシン欠乏症の研究およびα_1-アンチトリプシンの凝固線溶系異常との関連の研究
岩本　愛吉	東京大学医学部　第一内科	抗糖脂質抗体によるリンパ球性白血病の解析
上野　聡	大阪大学医学部　第二内科	重症筋無力症の実験的研究—胸腺アセチルコリンレセプターの抗原性について
浦部　晶夫	東京大学医学部　第三内科	赤芽球系前駆細胞の分化と成熟：ステロイドホルモンによる調節機構および赤芽球分化の指標としてのヘム合成酵素の検討
荻原　俊男	大阪大学医学部　老年病医学	高血圧の成因・病態解明に関する内分泌学的研究
河盛　隆造	大阪大学医学部　第一内科	糖尿病の病態生理におけるインスリン抵抗性の定量化と適正インスリン投与量の決定—パラメータ自己変換プログラムを備えた人工膵β細胞の糖尿病性昏睡への臨床応用—
木戸口公一	大阪大学医学部　第三内科	赤血球成熟分化に伴う遺伝子の発現調節機構の解明—血色素生合成をマーカーとして
木村　洸	東京大学医学部　第一内科	実験動物肝細胞膜Na^+、K^+-ATPaseの電顕的局在
久貝　信夫	筑波大学　臨床医学系	カルシウム調節ホルモンの相互作用に関する研究
鈴木　進	自治医科大学　内分泌代謝科	insulin receptorの新しい製造法：insulin-Dextran affinity gelchromatographyの開発
清野　裕	京都大学医学部　第二内科	代謝異常特に“肥満およびやせ”の成因に関する内分泌学的研究
清野　佳紀	大阪大学医学部　小児科	ビタミンD抵抗性クル病におけるビタミンD受容体異常に関する研究
田嶋　正二	国立循環器病センター研究所	血清リポ蛋白リパーゼのアポCⅡによる活性化機構—高脂質血症の成因の基礎的研究
谷口　直之	北海道大学医学部癌研究所生化学	sialoおよびasialo-γ-glutamyl transpeptidaseの構造と病態的意義—肝癌の酵素を中心として
畑　隆一郎	東京医科歯科大学難治疾患研究所	肝線維化、ガン化の分子機構：肝実質細胞の初代培養系を用いた研究
福田　善弘	京都大学医学部　第二内科	慢性炎症の線維化進展の修飾因子に関する研究—特にその物理化学的性質に関する検討
宮田　学	京都大学医学部　老年医学	老年痴呆および多発梗塞性痴呆における神経伝達物質の動態
元吉　和夫	自治医科大学 血液医学研究部門	健康人尿中のコロニー産生刺激因子の精製とラジオ・リセプターアッセイの確立および臨床応用に関する基礎的研究
吉田龍太郎	京都大学医学部　医化学	インターフェロンによるインドールアミン酸素添加酵素の誘導

昭和56年度 第13回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	プラスミノゲンの正常表現型と変異型の発現頻度と分布に関する研究
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　第三内科	ブドウ糖の安定同位体を用いた糖尿病および肥満におけるインスリン抵抗性の分析
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	オピオイド・ペプチドの体内分布と生理的意義に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	J鎖に関する臨床的並びに免疫生物学的研究
岡　博	東京大学医学部　第一内科	ヒト血漿中の新しい肝再生促進因子の精製とその臨床的意義に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
尾形　悦郎	東京大学医学部　第四内科	甲状腺ホルモンによるRNA合成の調節
奥田　邦雄	千葉大学医学部　第一内科	笑気を用いたB_{12}欠乏実験モデル—B_{12}とB_{12}依存酵素の動態に関する研究—
折茂　肇	東京大学医学部　老年病学	動脈硬化とプロスタグランジンに関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	細胞質局在チオール・プロテアーゼ阻害蛋白とその代謝的意義
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	肥大心におけるカテコールアミン代謝の実験的並びに臨床的研究
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	肝性ポルフィリン症の成因と病態に関する実験的研究
岸本　忠三	大阪大学医学部　病理病態学	免疫制御因子を産生するヒトおよびマウスTハイブリドーマの確立とその因子の単離
北川　照男	日本大学医学部　小児科	Niemann-Pick病マウスの生化学的研究
熊谷　朗	千葉大学医学部　第二内科	膵および胃ソマトスタチンの分泌機構に関する研究
木幡　陽	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
坂本　信夫	名古屋大学医学部　第三内科	糖尿病性血管障害発症メカニズムに関する研究 —糖尿病コントロール良否の糖尿病性腎症発症予防について実験的検討—
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	ceruloplasmin処理家兎血清の造血細胞に及ぼす影響
杉村　隆	国立がんセンター研究所	食道癌発生のプロモーターの関与 —ヒト食道癌の原因を求めて
高久　史麿	自治医科大学 血液医学研究部門	正常並びに白血病性ヒト造血細胞の分化と膜glycoconjugates
高倉　公朋	東京大学医学部　脳神経外科	虚血後脳浮腫の発生における脳内グルタチオン系の役割り
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	ミクロゾーム膜の輸送機構の障害に基づく糖原病の病態に関する研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	T細胞抗原リセプターの分子構成
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	糖原病Ⅴ型とⅦ型の病態の対比分析
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	生体膜の受容機構の生理と病態に関する研究
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常の分子機構に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	神経系および神経内分泌系におけるプロスタグランジン類縁体の代謝および作用に関する研究
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	癌細胞結合因子の免疫学的機能に関する研究
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球アルドラーゼ欠乏症の遺伝性化学的研究
村地　孝	京都大学医学部　病態学	血球細胞カルパスタチン定量法の確立と診断への応用
山川　民夫	東京大学医学部　第一生化学	心臓血管における脂肪酸生合成の調節とその病態における意義
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	神経伝達物質としてのヒスタミン—特に中枢並びに胃における作用に注目して

昭和56年度 第13回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
秋口　一郎	京都大学医学部 老年科・神経内科	脳血管障害発症、進展における脳血管交感神経性アミン終末の関与についての組織学的検討
磯橋　文秀	大阪大学医学部　癌研究施設	グルココルチコイド作用機構調節因子の研究―細胞核への“活性型”レセプター・グルココルチコイド複合体移行結合調節因子高分子性・低分子性について
猪熊　茂子	東京大学医学部　物療内科	呼吸不全におけるα_1-アンチトリプシン表現型の変異
内山　　卓	京都大学医学部　第一内科	モノクローナル抗体を用いた正常および白血病T細胞の機能とその表面形質に関する研究
浦部　晶夫	東京大学医学部　第三内科	赤芽球系前駆細胞の分化と成熟：赤芽球分化の指標としてのヘム合成酵素の動態の検討
衛藤　義勝	東京慈恵会医科大学　小児科	細胞融合を用いての先天性サルファターゼ欠損症における酵素活性調節機構に関する研究
大西久仁彦	千葉大学医学部　第一内科	正常ラット肝並びにフェノバルビタール処置ラット肝小葉内におけるフェノバルビタール誘導性チトクロームP-450の局在
荻原　俊男	大阪大学医学部　老年病医学	高血圧の成因・病態解明に関する内分泌学的研究
金子　義保	東京大学医学部　第一内科	細胞融合法による人肝硬変再生結節細胞培養株の樹立とそれによる発癌のプロモーションと化学的予防に関する研究
木戸口公一	大阪大学医学部　第三内科	赤血球成熟分化に伴う遺伝子の発現調節機構の解明―エリスロポエチン、バースト促進因子による
久保　正治	大阪大学医学部　第二内科	動脈硬化の発症におけるhepatic triglyceride lipase異常の意義について
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	ヒトリンパ性白血病および悪性リンパ腫細胞のレクチン反応性とその臨床的意義
坂本　美一	自治医科大学　内分泌代謝科	ヒト胎盤形質膜からのインスリン2次信号物質：ピルビン酸脱水素酵素活性化因子の精製およびアミノ酸構造の決定
鈴木　明身	東京大学医学部　第一生化学	ヒト血球系細胞の分化、がん化における糖鎖構造の変化
清野　　裕	京都大学医学部　第二内科	代謝異常特に“肥満およびやせ”の成因に関する内分泌学的研究
巽　　紘一	金沢医科大学　血液免疫内科	血管拡張性運動失調症ルイ・バー症候群におけるポリADPリボース合成異常とその生物学的意義に関する研究
成宮　　周	京都大学医学部　医化学	血栓症の生化学的研究―プロスタグランジンD_2の合成・分解活性の血液・血管系における検索および同定とその血小板凝集阻止機構の解析
野村　　馨	東京女子医科大学　第二内科	1.腎成長因子の羊下垂体よりの精製　2.腎成長因子の腎細胞への作用の形態学的研究
畑　隆一郎	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	細胞培養法による葦皮症の研究
元吉　和夫	自治医科大学 血液医学研究部門	健康人尿中のコロニー刺激因子の顆粒球・マクロファージ系幹細胞増殖促進作用と自家骨髄移植への臨床応用に関する基礎的研究
山崎　義光	大阪大学医学部　第一内科	糖尿病病態生理におけるグルカゴン分泌異常の位置づけ―人工膵島によるグルコース・クランプ法の応用

昭和57年度 第14回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	血栓溶解調節機構の分子機作
青木　洋祐	自治医科大学　第二生化学	生体防御機構におけるmedullasinの意義
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　第三内科	糖尿病におけるインスリン感受性の変化に関する研究
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	オピオイド・ペプチドの体内分布と生理的意義に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	J鎖に関する臨床的並びに免疫化学的研究
岡　　博	東京大学医学部　第一内科	消化器外分泌機能調節におけるCalmodulinの意義に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
尾形　悦郎	東京大学医学部　第四内科	In situ細胞エネルギー代謝モニター装置の試作と応用
折茂　肇	東京大学医学部　老年病学	動脈硬化とプロスタグランジンに関する研究
勝沼　信彦	徳島大学医学部　酵素研究施設	膜結合γ-Glutamyltranspeptidase（γ-GTP）合成と分解のプロセス
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	肥大心における心筋収縮蛋白の実験的並びに臨床的研究
菊地　吾郎	東北大学医学部　第一医化学	肝性ポルフィリン症の実験的研究
岸本　忠三	大阪大学医学部　病理病態学	単一クローンTハイブリドーマより産生されるヒトBリンパ球増殖因子の性状と作用機構
北川　照男	日本大学医学部　小児科	Niemann-Pick病マウスの生化学的研究
熊谷　朗	千葉大学医学部　第二内科	膵ソマトスタチン分泌機構に関する研究
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	細胞分化における表面糖タンパク質の構造と機能の研究
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	顆粒球増殖促進物質（CSF enhancing factor）の分離とその作用機序
杉村　隆	国立がんセンター研究所	無アルブミン血症ラット肝におけるアルブミン産生細胞の出現を指標とした体細胞突然変異の研究
高久　史麿	自治医科大学 血液医学研究部門	ヒト白血病性幹細胞に関する病態生化学的並びに臨床的研究
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	成人T細胞白血病における病態代謝学的研究
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	ミクロゾーム膜の輸送機構の障害に基づく糖原病の病態に関する生化学的研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	T細胞抗原リセプターの分子構成
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	自然発症膵島炎におけるNAD代謝の変動に関する研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	ホルモン、神経伝達物質の受容機構；その生理と病態に関する研究
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	糖尿病および肥満症における脂質代謝異常の分子機構に関する研究
早石　修	京都大学医学部　医化学	神経系および神経内分泌系におけるプロスタグランジンD_2の代謝と作用に関する研究
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	癌細胞結合因子（糖タンパク）によるリンホカインの生成と意義に関する研究
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	ヒト食細胞における酸素活性化機構の解析
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球酵素異常による遺伝性溶血性貧血の異常酵素の構造解析
村地　孝	京都大学医学部　病態学	血球細胞カルパスタチン定量法の確立と診断への応用
矢田　純一	東京医科歯科大学医学部　小児科	抗アセチルコリンレセプター自己抗体産生を抑制する液性T細胞因子について

昭和57年度　第14回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
上野　晃憲	北里大学医学部　薬理学	ロイコトリエンの炎症における役割
浦部　晶夫	東京大学医学部　第三内科	赤芽球系前駆細胞の分化と成熟—赤芽球分化に伴うヘム合成酵素の誘導と活性変動の検討
衛藤　義勝	東京慈恵会医科大学　小児科	先天性サルファターゼ欠損症の培養細胞におけるサルファターゼ欠損に関する遺伝学的調節機構の解明に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
大西久仁彦	千葉大学医学部　第一内科	慢性アルコール投与の肝細胞内フェノバルビタール誘導性チトクローム P-450(PB・P-450)に及ぼす影響とその小葉内局在
岡本　尚	慶應義塾大学医学部　内科	全身性エリテマトーデス(SLE)におけるレトロウイルスの関与とその免疫応答系に及ぼす影響に関する研究
荻原　俊男	大阪大学医学部　老年病医学	高血圧の成因・病態解明に関する内分泌学的研究
金沢　浩	岡山大学薬学部 微生物薬品化学	ATP合成酵素(H^+輸送性AT Pase)の遺伝子構造および構成蛋白質の分子生物学的研究
金子　義保	東京大学医学部　第一内科	発癌プロモーターのヒト肝細胞に対する作用機序
河田　純男	大阪大学医学部　第二内科	肝ミクロソーム・チトクロムb_5の選択的誘導と薬物代謝
久保　正治	大阪大学医学部　第二内科	高脂血症を伴わない動脈硬化性心疾患におけるアポ蛋白とhepatic triglyceride lipase 異常の意義について
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	ヒト白血病細胞並びに株化白血病細胞の分化能に関与するシアロ糖複合体の特異性とシアリダーゼ活性
佐藤　文三	大阪大学医学部　第三内科	ステロイドホルモン作用発現における標的臓器内調節機構
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	マウス肝における糖脂質糖鎖合成系の遺伝学的解析
清野　裕	京都大学医学部　第二内科	代謝異常―特に肥満の成因に関する内分泌代謝学的研究
津田　道雄	東海大学医学部　生化学	ヒト胃癌細胞核に存在するα_1アンチキモトリプシンの病態生理的役割について
畑　隆一郎	東京医科歯科大学難治疾患研究所	ヒト肝細胞におけるウイルス抗原発現と結合組織成分の合成調節機構に関する研究
松木　一雅	東京大学医学部　第一内科	腎炎におけるfibronectinの動態
丸田　治生	福岡大学医学部　第二内科	カリクレインにより生成される新しい昇・降圧作用物質の解明
三木　一正	東京大学医学部　第一内科	ペプシン・ペプシノーゲンの病態代謝に関する研究
森田　育男	(財)東京都老人総合研究所	肝臓におけるプロスタグランジンの動態および肝疾患との関係
山尾　哲	京都大学医学部　老年医学	加齢による神経伝達物質の変動
山下　克子	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
山田　信博	東京大学医学部　第三内科	アポE receptorの特性と機能
渡辺　恭良	京都大学 放射性同位元素総合センター	パーキンソン病など錐体外路症状・小脳症状を伴う神経疾患におけるプロスタグランジンD_2の動態およびその治療について

昭和58年度　第15回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	生理的血栓溶解の制御調節機構とその修飾
青木　洋祐	自治医科大学　第二生化学	生体防御機構におけるメダラシンmedullasinの意義
赤沼　安夫	東京大学医学部　第三内科	糖尿病状態におけるインスリン受容体の燐酸化について
阿部　正和	東京慈恵会医科大学　第三内科	糖尿病における膵島β細胞および脂肪細胞のエネルギー代謝に関する研究
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	オピオイド・ペプチドの生理的、臨床的意義に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	人白血病細胞の分化誘導に関する基礎的、臨床的検討

研究者名	所属機関	研究テーマ
岡　博	東京大学医学部　第一内科	ヒト肝癌発生の免疫学的背景 —慢性肝疾患、特に肝硬変症における Natural killer cell活性について
尾形　悦郎	東京大学医学部　第四内科	カルシトニンの腎作用に関する研究
折茂　肇	東京大学医学部　老年病学	動脈硬化とプロスタグランジンに関する研究
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Lysosome Thiol Protease群に特異的な内在性Inhibitor Proteinの生理的並びに病態における役割
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	心筋収縮性の分子生理学的解析
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	Bリンパ球分化因子に対するBリンパ球表面レセプターの単離と構造解析
北川　照男	日本大学医学部　小児科	尿素サイクル代謝異常症の治療と予防に関する研究 —高アルギニン血症の治療に関する研究
木幡　陽	東京大学　医科学研究所	造血細胞の分化に伴う形質膜糖タンパク質の構造と機能の研究
柴田　整一	国立病院医療センター	腎炎惹起物質nephritogenosideの作用能を改変しての治療薬の開拓
清水　盈行	昭和大学医学部　第二内科	Shay顆粒球肉腫培養株細胞およびヒト白血病培養細胞の分化誘導とその機構
杉村　隆	国立がんセンター研究所	ヒト尿中に新たに発見された物質、ニトロソチオプロリンの生成と生物学的意義に関する研究
脊山　洋右	東京大学医学部　生化学	無アルブミン血症における脂質代謝異常の研究
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	慢性骨髄性白血病における形質転換遺伝子の同定並びに単離
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	成人T細胞白血病細胞における病態代謝学的研究
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	ミクロゾーム膜の輸送機構の障害に基づく糖原病の病態に関する生化学的研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	T細胞抗原リセプターの分子構成—ことに遺伝的拘束特異性の起原について
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	インスリンおよびフルクトースによる酵素誘導の分子機構
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	ホルモン作用増強因子の研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	ホルモン、神経伝達物質の受容機構；その生理と病態の解析
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	重症筋無力症の病因と関連したニコチン性アセチルコリン受容体の主要抗原決定部位に関する研究
早石　修	大阪医科大学	神経系におけるプロスタグランジンの代謝と作用に関する研究
林　秀男	熊本大学医学部　第一病理学	癌細胞結合因子(糖タンパク質)による遊走性リンホカインの生成と意義に関する研究
松尾　壽之	宮崎医科大学　第二生化学	脳・神経系で作動する新しい神経ペプチドの系統的検索
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球前駆細胞の分化過程における ピルビン酸キナーゼアイソザイム変換機構の研究
村地　孝	京都大学医学部　病態学	細胞内におけるカルパインと基質および制御因子との相互作用
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	アラキドン酸リポキシゲナーゼとその阻害剤の研究
吉田　尚	千葉大学医学部　第二内科	膵ソマトスタチンの生理的意義に関する研究
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	抗ヒスチジン脱炭酸酵素抗体による組織蛍光抗体法を用いた脳内ヒスタミンニューロンの解明と胃内ヒスタミン産生細胞の同定並びにそれらの機能

昭和58年度　第15回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
内山　卓	京都大学医学部　第一内科	T細胞増殖因子(IL-2)リセプター異常症に関する研究
浦部　晶夫	東京大学医学部　第三内科	赤芽球系前駆細胞の分化と成熟—ヘム合成系酵素による赤芽球分化の調節機序
大橋　彰	近畿大学医学部　第二生化学	ミトコンドリア内膜の形成—チトクローム酸化酵素とチトクロームbc_1複合体の形成とその調節機構について
賀佐　伸省	北海道大学医学部　癌研究施設	リソゾーム酵素の新しい病態変化に関する研究
春日　雅人	東京大学医学部　第三内科	インスリンによる糖輸送増加の機序について
川上　正舒	東京大学医学部　第三内科	マクロファージ由来のリポ蛋白リパーゼ阻害因子(カケクチン)の産生に関する研究—カケクチン産生に対する諸因子の効果について
河北　誠	熊本大学医学部　第二内科	再生不良性貧血患者尿よりのトロンボポエチンおよび巨核球コロニー刺激因子の精製とモノクローナル抗体の作製
神奈木玲児	京都大学医学部　病態学	血小板におけるプロスタグランジン・トロンボキサン生合成の律速段階に関する研究
久保田一雄	自治医科大学 血液医学研究部門	再生不良性貧血患者の尿中に含まれるエリスロポエチンと赤芽球コロニー群刺激因子の分離・精製
近藤　宇史	北海道大学医学部　第一内科	原発性アルドステロン症における赤血球炭酸脱水酵素の変異型アイソザイムの出現—特に病態との関連について
佐古田三郎	大阪大学医学部　第三内科	家族性アミロイドポリニューロパチーを中心とする自律神経失調症候群の病態解明と治療に関する研究
末村　正樹	大阪大学医学部　第三内科	ヒトIgE特異抑制因子の解析および単離・精製
杉山　治夫	大阪大学医学部　第三内科	In vitroでPre-B細胞に分化するB系幹細胞株を用いた、抗体の多様性出現機構の遺伝子レベルでの解析
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	糖脂質糖鎖発現制御機構の解析
中村　敏一	徳島大学 酵素科学研究センター	成熟肝実質細胞の増殖制御機構と増殖抑制因子の生化学的研究
西村　純二	九州大学医学部　第三内科	白血病細胞の分化と細胞内cyclic nucleotides,calmodurin,蛋白質リン酸化反応に関する研究
箸本　英吉	福井医科大学　第二生化学	カテコラミンのα作用における肝臓グリコーゲン代謝の調節機構
畑　隆一郎	東京医科歯科大学難治疾患研究所	細胞の環境因子に対する応答性解析による結合組織の代謝調節機構の研究
松本　俊夫	東京大学医学部　第四内科	培養腎細胞を用いた1.25水酸化ビタミンD_3作用の研究
三牧　孝至	大阪大学医学部　小児科	抗てんかん薬の脳内アミンに及ぼす影響および組織結合性に関する発達薬理学的研究—脳内GABAレセプターおよび血中蛋白結合部位での相互作用
元吉　和夫	自治医科大学 血液医学研究部門	健康人尿中より精製したコロニー刺激因子を用いた顆粒球減少症に対する予防および治療法の確立
山尾　哲	京都大学医学部　神経内科	慢性期脳血管障害患者における髄液中サイクリックヌクレオチド値—L-DOPAの効果を予測する指標となりうるか
山下　克子	神戸大学医学部　第一生化学	複合糖質の化学構造とその代謝異常の研究
大和谷　厚	大阪大学医学部　第二薬理学	無麻酔、非拘束下でのラット視床下部潅流法を用いた高血圧の神経機構に関する研究
吉田　信彦	自治医科大学 血液医学研究部門	ヒト血小板に存在するCalcium Activated Proteaseの生理的役割に関する研究
与芝　真	東京大学医学部　第一内科	肝性昏睡起因物質の同定と分離
渡辺　恭良	京都大学 放射性同位元素総合センター	パーキンソン病など錐体外路症状および小脳症状を伴う神経疾患におけるプロスタグランジン(PG)の動態とその治療について

昭和58年度　第15回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
村本　治	筑波大学臨床医学系	老年痴呆およびアルツハイマー病の脳内神経伝達物質の病態代謝に関する神経生化学的研究	アルバート アンシュタイン医科大学
山田　信博	東京大学医学部第三内科	1. Pathophysiolosy of atherosclerosis 2. Metabolism of remnant lipoproteins	米国・心血管研究所
吉田龍太郎	京都大学医学部第一医化学	精製γ-インターフェロン添加によるマクロファージ活性化の分子機構	ロックフェラー大学
吉本　谷博	徳島大学医学部生化学	アレルギー反応の化学伝達物質に関する生化学的および免疫学的研究	ハーバード大学
渡邉　建彦	大阪大学医学部第二薬理学	抗ヒスチジン脱炭酸酵素抗体を用いた組織蛍光抗体法による脳および胃のヒスタミン産生細胞の同定	仏・Inserm-u 神経生物学
渡辺　毅	東京大学医学部第一内科	動脈硬化性疾患の病態解明の基礎研究として、血管内皮細胞および血小板におけるプロスタグランジン代謝を単クローン抗体の利用等の細胞工学的手法で解明する	ミシガン州立大学

昭和59年度　第16回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	自治医科大学 血液医学研究部門	生理的線維素溶解機構とその修飾
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	新しいオピオイドペプチド“ロイモルフィン”に関する研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	人白血病に対する分化誘導療法の基礎的、臨床的検討
遠藤　仁	東京大学医学部　薬理学	単一腎ネフロンにおけるグルタミン代謝と酸塩基平衡維持機構との関連性に関する実験的研究
岡　博	東京大学医学部　第一内科	肝性脳症発現機序に関する研究—肝不全患者血清中の脳(Na+K)-ATPase阻害物質の分離同定とその病態生理的意義
香川　靖雄	自治医科大学　第一生化学	遺伝子組換技術による人体および好熱菌のH⁺輸送性ATPaseの構造決定
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Autophagosomeによる細胞内蛋白分解の機構と調節—そのホルモン調節と病態
加藤　隆一	慶應義塾大学医学部　薬理学	膜ホスホリパーゼA_2およびリポキシゲナーゼを介するインスリン分泌機構
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	急性心筋梗塞時のThromboxane A_2の動態
寒川　賢治	宮崎医科大学　第二生化学	ヒトおよびラットの心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)の単離・構造研究
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	慢性関節リウマチの病態生化学的研究—血清免疫グロブリン(IgG)の糖鎖に起こる構造変化を中心に
杉村　隆	国立がんセンター研究所	食品の加熱により変ずる変異原・がん原物質の生体内における代謝
鈴木　義之	東京大学医学部　小児科	ガラクトシアリドーシスの病因に関する分子細胞生物学的研究
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	ハーダー腺をモデルとした脂質代謝の機能に関する研究
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	ヒト白血病およびヒト悪性腫瘍における発癌遺伝子活性化の機構
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	成人T細胞白血病細胞における病態代謝学的研究
竹田　美文	東京大学 医科学研究所	コレラ菌および毒素原性大腸菌が産生するエンテロトキシンによるサイクリックヌクレオタイド代謝亢進と水分泌機構の異常
多田　啓也	東北大学医学部　小児科学	細胞内小器官の膜輸送機構の障害に基づく遺伝疾患の病態に関する生化学的研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	T細胞抗原リセプターの分子構成—ことに遺伝的拘束特異性の起原について
田中　孝司	帝京大学医学部　第一内科	副腎髄質ペプタイドの副腎皮質ステロイド分泌に及ぼす影響
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	インスリンおよびフルクトースによる酵素誘導の分子機構

研究者名	所属機関	研究テーマ
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋原性高尿酸血症(糖原病Ⅶ型に見出された新しい病態)に関する研究
永井　克孝	東京大学医学部　生化学	遺伝子トランスフェクションによる糖脂質代謝の遺伝子調節機構の解析
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	生体膜の情報受容と伝達機構―その生理と病態の研究
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	重症筋無力症の原因と関連したニコチン性アセチルコリン受容体の主要抗原決定部位に関する研究
早石　修	大阪医科大学	中枢神経系プロスタグランジン受容体の解析―新しい生理活性と病態時の変化
本庶　佑	京都大学医学部　遺伝学	成人性白血病ウイルスによる発癌機構の研究
三浦　恭定	自治医科大学 血液医学研究部門	無血清・単細胞培養を応用した血液幹細胞分化の代謝要求性の検討と血液疾患への応用
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	マクロファージにおける活性酸素産生の機序
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球酵素異常症―ピルビン酸キナーゼ異常症およびアデノシンデアミナーゼ過剰産生症の遺伝子レベルでの病因解明
村地　孝	京都大学医学部　検査医学	細胞内におけるカルパスタチンと基質および制御因子との相互作用
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	リポキシゲナーゼの免疫学的酵素定量法の開発とその応用
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	脳におけるヒスタミン・ニューロン系の解明とその役割

昭和59年度　第16回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部　好文	北里大学医学部　内科	甲状腺刺激ホルモンによるヒト甲状腺の遺伝子発現の分子機構
飯田さよみ	大阪大学医学部　第二内科	家族性糖質ステロイド受容体異常症の病態解析
一瀬　雅夫	東京大学医学部　第一内科	HBV感染に伴う肝細胞DNAの高次構造の変化―特に癌遺伝子を中心として
今井　浩三	札幌医科大学　第一内科	CEAおよびその関連抗原の遺伝子クローニング
宇城　啓至	高知医科大学　医化学	細胞増殖と分化の調節におけるポリADP-リボース合成酵素の役割
内山　卓	京都大学医学部　第一内科	成人T細胞白血病(ATL)におけるIL-2レセプター(Tac抗原)発現異常の解析
浦部　晶夫	東京大学医学部　第三内科	エリスロポエチンの臨床応用に関する基礎的研究
奥平　博一	東京大学医学部　物療内科	Ⅰ型糖尿病マウスの免疫学的研究およびcyclosporinAによる治療効果の検討
春日　雅人	東京大学医学部　第三内科	インスリンの細胞増殖機序についての研究
川上　正舒	国立病院医療センター	マクロファージ由来のリポ蛋白リパーゼ阻害因子(カケクチン)の作用に関する研究―その病態生理的役割について―
河北　誠	熊本大学医学部　第二内科	再生不良性貧血患者尿よりのトロンボポエチンおよび巨核球コロニー刺激因子の精製とモノクローナル抗体の作製
川村　越	千葉大学理学部　生物学	イオン輸送性酵素の構造と機能―(Na, K)-ATPアーゼのリン酸化ペプチドの構造と活性の調節
神奈木玲児	京都大学医学部　検査医学	マクロファージの分化に伴う膜複合脂質の変化と細胞表層レセプターの免疫学的機能との関連性に関する研究
久保田一雄	自治医科大学 血液医学研究部門	マウスナチュラルキラー細胞株が産生する5種類の造血刺激因子の解析
熊谷　俊一	京都大学医学部　第二内科	自己免疫疾患におけるインターロイキン2(IL-2)産生およびそのレセプター異常の研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
清水　章	京都大学医学部　医化学	ATL細胞におけるT細胞抗原受容体遺伝子の構造解析
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	糖脂質糖鎖の臓器差に関する解析
高井　義美	神戸大学医学部　第二生化学	細胞増殖因子と発がんプロモーターの作用機序機構とその病態
田中　啓二	徳島大学 酵素科学研究センター	新しく見い出された肝細胞膜結合型トリプシン様プロテアーゼの構造とその生物学的機能
寺本　民生	東京大学医学部　第一内科	カイロミクロンレムナントリセプターの動脈硬化症発症における役割 —レムナントリセプターmRNAの調節因子の検討
豊岡　照彦	自治医科大学　内科	核磁気共鳴スペクトロスコピーによる各種梗塞性疾患の部位および定量診断の開発
中尾　一和	京都大学 放射性同位元素総合センター	α-human Atrial Natriuretic Polypeptide(α-hANP)の生理的並びに病態生理的意義に関する臨床的研究
成宮　周	京都大学医学部　医化学	動脈硬化の発生機序の研究—リポ蛋白によるマクロファージの泡沫化とそれに伴うアラキドン酸並びに酸素代謝変化の解析
箸本　英吉	福井医科大学　第二生化学	ホルモン作用におけるCa^{2+}の役割—Ca依存性プロテインキナーゼによる代謝調節機構の解析
福井　裕行	大阪大学医学部　第二薬理学	カルシウムチャンネルの精製と再編成 —Ca^{++}イオンの細胞内透過機構の解明をめざして
松本　俊夫	東京大学医学部　第四内科	培養腎細胞を用いた副甲状腺ホルモンおよび1.25水酸化ビタミンD_3作用機序の研究
水野　健作	宮崎医科大学　第二生化学	エンケファリン前駆体プロセシング機序の解明
三牧　孝至	大阪大学医学部　小児科	ACTHの抗けいれん作用機序に関する臨床薬理学的研究および実験形態学的研究 —ACTH含有神経・GABA作用性ニューロン・GABAレセプターに及ぼす影響
宮本　秀樹	浜松医科大学　微生物学	限局性アミロイド症におけるアミロイド蛋白の同定・比較
元吉　和夫	自治医科大学 血液医学研究部門	2つの体液性因子CSF-HUとGM-CSFによるヒト顆粒球産生の2段階調節機構の解析
山下　克子	神戸大学医学部　第一生化学	体液並びに尿中に含まれる糖蛋白始発糖鎖にもとづいた疾患臓器診断法の開発—特にリボヌクレアーゼを対象として
吉崎　和幸	大阪大学医学部　第三内科	ヒトのクローン化単球を確立し、樹立細胞株産生モノカインの精製および単球活性化機序の生化学的解析を行う
吉田　信彦	自治医科大学 血液医学研究部門	Disseminated Intravascular Coagulationの新たな診断法の開発—Enzyme Linked Immunosorbent Assayによる凝固線溶因子と阻害因子の複合体の検出

昭和59年度　第16回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
芦田　映直	国立循環器病センター内科	高血圧症の病因・病態解明を目的として高血圧モデル動物や高血圧症患者の血液等を用いて細胞膜における電解質輸送の異常を検討	メリーランド大学
岸本　明	神戸大学医学部第二生化学	リポ蛋白質による細胞機能調節機構の解析とその病態	テキサス大学
渋木　克栄	自治医科大学生理学	血中抗利尿ホルモン濃度の調節メカニズムの研究	ARC動物生理研究所
田村　隆明	慶應義塾大学医学部微生物学	真核生物遺伝子の発現調節におけるエンハンサー配列の役割について	仏・生化学研究所
三浦　恵	千葉大学医学部第二生化学	The mechanism of pre-protein recognition by leader peptidase—What are the essential features of a preprotein	カリフォルニア大学
大和谷　厚	大阪大学医学部第二薬理学	視床下部神経核の循環制御における役割 —無麻酔非拘束下ラット視床下部灌流法の応用	インスブルック大学
吉村　長久	京都大学大学院医学研究科	カルシウム依存性プロテアーゼの分布に関する免疫組織学的超微形態研究	カーディフ大学

昭和60年度　第17回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	血管内皮細胞膜表面蛋白thrombomodulinと血漿蛋白protein Cの相互反応による血栓形成の制御機構
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	オピオイド・ペプチド―特にロイモルフィンの神経内分泌学的研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	外因系血液凝固の開始反応機構 ―組織因子の精製および構造、機能の研究
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	前白血病状態における造血異常に関する病態代謝論的研究
遠藤　實	東京大学医学部　薬理学	心筋および平滑筋小胞体膜のCa-induced Ca-release機構の生理的、病態生理的意義
岡　博	東京大学医学部　第一内科	慢性活動性肝障害における肝細胞表面領域特異性自己抗体の検索
香川　靖雄	自治医科大学　第一生化学	人体のH^+ATPaseの遺伝子組換えによる研究 ―培養細胞のエネルギー変換系の置換も含めて
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Mast cell、塩基性顆粒球の脱顆粒におけるSerine proteaseの役割
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	血清中PGI_2産生刺激因子の構造決定と生理的意義の研究
熊原　雄一	大阪大学医学部　第四内科	ナトリウム利尿因子の同定と高血圧成因に関する研究
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	慢性関節リウマチの病態生化学的研究 ―血清IgGの糖鎖に起こる構造変化を中心に
島田　和典	熊本大学医学部　第一生化学	遺伝子操作を利用した家族性アミロイドポリニューロパチーの発症機構の解析
杉村　隆	国立がんセンター研究所	実験動物を用いたがん遺伝子の活性化機構の解析
鈴木　義之	東京大学医学部　小児科	ガラクトシアリドーシスの病因と治療に関する生化学的分子生物学的研究
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	コレステロール代謝異常の生化学的研究
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	血小板由来の新しい成長因子 血管内皮細胞増殖因子(VEPF)の分離とその作用の特異性に関する研究
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	成人T細胞白血病細胞における病態代謝学的研究
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	細胞内小器官の膜輸送機構の障害に基づく遺伝疾患の病態に関する生化学的研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	T細胞の自己認識リセプターの分子構成―遺伝的拘束特異性を決定する可塑構造の解析
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	インスリンおよびフルクトースによる酵素誘導の分子機構
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋原性高尿酸血症(糖原病Ⅶ型に見出された新しい病態)に関する研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	生体膜の情報受容と伝達機構の生理と病態 ―プロテインキナーゼCの研究
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	重症筋無力症の原因と関連したニコチン性アセチルコリン受容体の主要抗原決定部位に関する研究
早石　修	大阪医科大学	老化、病態に伴うプロスタグランジン受容体の動態解析
本庶　佑	京都大学医学部　第一医化学	IL-2レセプターの構造、機能および発現調節機構の解析による成人T細胞白血病の発癌機序の解明
松尾　壽之	宮崎医科大学　第二生化学	心房性Na利尿ペプチド(ANP)の生理的役割に関する研究
宮武　正	新潟大学脳研究所　神経内科	シアリダーゼ欠損による遺伝性神経疾患の発症機序に関する研究
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球酵素異常症 ―ヒトピルビン酸キナーゼ(PK)遺伝子の単離とPK異常症の遺伝子レベルでの解析
村地　孝	京都大学医学部　臨床検査医学	カルパイン遺伝子発現調節機構の研究
森　正敬	熊本大学医学部　遺伝医学	先天性高アンモニア血症の遺伝子レベルでの診断と病因解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	リポキシゲナーゼの免疫学的酵素定量法の開発とその応用
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	血色素の分子病理学

昭和60年度　第17回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
石橋　　俊	東京大学医学部　第三内科	Foam cell化したマクロファージの代謝 —細胞増殖因子および各種生理活性物質分泌能の変容
宇城　啓至	高知医科大学　医化学	ヒト白血病細胞におけるポリADP-リボース合成酵素の免疫組織化学的研究
内山　　卓	京都大学医学部　第一内科	T細胞増殖とIL-2レセプター発現調節に関する研究
岡　　裕爾	東京大学医学部　第一内科	上皮成長因子(EGF)の腎における生理的意義に関する研究
岡田　全司	大阪大学医学部　第三内科	ヒトT細胞ハイブリドーマ由来キラーT細胞分化因子の精製および T細胞分化機構の解析—キラーT前駆細胞ハイブリドーマを用いて
春日　雅人	東京大学医学部　第三内科	インスリン受容体の構造と機能の関連についての研究 —部位特異的抗体を用いての研究—
川上　正舒	国立病院医療センター	ヒトの悪性黒色細胞腫によるリボ蛋白リパーゼ阻害因子の産生に関する研究
木村　康志	東京大学医学部　薬理学	メッセンジャーRNAによるアフリカツメガエル卵細胞中での発現を 利用した抗利尿ホルモン受容体の研究
葛谷　信明	筑波大学　臨床医学	バセドウ氏病の発症過程の研究—抗TSH受容体抗体による分析
清水　　章	京都大学医学部　医化学	Tリンパ球抗原受容体遺伝子の組み換え機構に関する研究
清水　孝雄	東京大学医学部　栄養学	ロイコトリエンB_4生合成調節機構の解明と代謝障害に関する研究
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	糖脂質発現の遺伝生化学的解析
須田　年生	自治医科大学 血液医学研究部門	単離造血幹細胞へのマウス白血病ウイルスの感染並びに癌遺伝子の トランスフェクション
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	発がん過程における細胞増殖因子とがん遺伝子の相互作用
津田　道雄	東海大学医学部　生化学	核に存在するα_1-アンチキモトリプシン(ACT)の癌細胞の DNA合成に対する影響
永井　良樹	東京大学医学部　第一内科	原発性肝癌に対する免疫療法の開発
中尾　一和	京都大学 放射性同位元素 総合センター	心房性ナトリウム利尿ポリペプチド(α-human ANP)の生理的意義および 病態生理的意義
中西　憲司	兵庫医科大学　第三内科	単一クローンB細胞腫を用いたB細胞増殖並びに分化機構の解析
成宮　　周	京都大学医学部　医化学	トロンボキサンレセプターの精製
野田　昌晴	京都大学医学部　分子遺伝学	局所麻酔薬の作用機序に関連したNa^+チャンネルの構造と機能に関する 研究
畠　　清彦	自治医科大学 血液医学研究部門	正常ヒト尿中コロニー刺激因子のアミノ酸配列決定および その遺伝子クローニング
服部　俊夫	熊本大学医学部　第二内科	抗HTLV-Ⅲ抗体保有者の病態解析
花房　俊昭	大阪大学医学部　第二内科	自然発症やせ型糖尿病(NOD)マウスにおける糖尿病発症機構の研究 —T細胞欠如マウスを用いた発症関与細胞の解析
平井　久丸	東京大学医学部　第三内科	ヒト白血病細胞における癌遺伝子
水野　健作	宮崎医科大学　第二生化学	ペプチド・ホルモン前駆体プロセシング機序の解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
三牧　孝至	大阪大学医学部　小児科	DNA修復欠損遺伝病の臨床症状と分子機構の関連 —色素性乾皮症の神経症状と細胞生物学的特性
吉田　信彦	自治医科大学 血液医学研究部門	先天性異常フィブリノゲン京都に関する研究
渡辺　恭良	大阪医科大学　医化学	ポジトロン核種(^{11}C, ^{15}O, ^{18}Fなど)を用いたアラキドン酸代謝系 の役割の解明

昭和60年度　第17回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
飯田　和子	(財)東京都臨床医学 総合研究所	正常並びに先天的異常を有するマクロファージおよび 多形核白血球による異物貪食作用における細胞骨格系の役割の解明	マサチューセッツ 総合病院
亀下　勇	高知医科大学 医化学	Transforming Growth Factor(TGF)の作用機作に関する研究	ベックマンシティオブ ホープ研究所
辛嶋　健	九州大学医学部 第三内科	各種視床下部性下垂体ホルモン分泌因子の 下垂体ホルモン分泌に及ぼす生理および薬理的研究	ジュレイン大学 医療センター
児玉　龍彦	東京大学医学部 第三内科	マクロファージおよび実質細胞のリポ蛋白受容体の発現と 調節からみた動脈硬化発症機序	マサチューセッツ 工科大学
清水　孝郎	大阪大学医学部 第二内科	膵ランゲルハンス島β細胞のブドウ糖感受機構の解明 —β細胞ヘキソキナーゼの特性	米国・糖尿病研究 センター
東原　正明	東京大学医学部 第一内科	平滑筋収縮時の平滑筋myosinの役割とその構造変化について	アリゾナ大学
矢守　隆夫	(財)癌研究会 癌化学療法センター	Colorectal cancer metastasis	テキサス大学

昭和61年度　第18回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	α_2-Plasmin inhibitorの遺伝子に関する研究
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	オピオイドペプチドの特にロイモルフィンの神経内分泌学的研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	遺伝的機能異常を持つXII因子とフィブリノーゲン分子の構造解析
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	前白血病状態における造血異常 —特に造血前駆細胞の分化と増殖の異常に関する病態代謝論的研究
遠藤　實	東京大学医学部　薬理学	ヒトおよびブタ悪性高熱における骨格筋筋小胞体のCa-induced Ca release 機構の異常
岡　博	東京大学医学部　第一内科	肝疾患および悪性腫瘍患者血清中の抗カルモデュリン抗体の臨床的並びに 病態生理学的意義
尾形　悦郎	東京大学医学部　第四内科	成長因子の作用におけるカルシウムイオンの役割に関する研究
香川　靖雄	自治医科大学　第一生化学	人体ATPアーゼと輸送体の遺伝子の細胞への導入による エネルギー代謝の研究
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Lysosome Cathepsin群の表現異常と筋萎縮症発現の機構
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	PGI_2安定化因子の精製と生理的意義の解明
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	Fcεレセプターの構造と機能に関する研究
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	糖蛋白質性ホルモン糖鎖の機能とその病変に関する研究
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	シアロ糖脂質有機合成類似体を有効成分とする抗白血病剤の開発と その作用機序の解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
杉村　隆	国立がんセンター研究所	生体のDNA修飾を指標とした環境化学物質による疾患発生の検討
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	脳腱黄色腫(CTX)の診断システムの開発
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	血小板に由来する血管内皮細胞増殖因子の分離とその臨床応用
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	ATLの病態代謝学的研究
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	細胞内小器官の膜輸送機構の障害に基づく遺伝疾患の病態に関する生化学的研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	I-J遺伝子表現の調節機構
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	肥満症の新概念としての内臓脂肪蓄積型肥満―代謝異常発症機序の研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	プロテインキナーゼCによる細胞機能の調節に関する研究―細胞膜の情報受容と伝達機構の生理と病態
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	アセチルコリン受容体と重症筋無力症に関する分子生物学的研究
早石　修	大阪医科大学	ポジトロンCTなど無侵襲代謝解析法を用いた、プロスタグランジンおよびその関連化合物の脳循環・代謝における役割の解明
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	カテコールアミン作働性神経における伝達物質の合成と分泌の制御機構とその異常
本庶　佑	京都大学医学部　第一医化学	IL-2受容体のIL-2に対する親和性変化の調節機構
松尾　壽之	宮崎医科大学　第二生化学	ナトリウム利尿ペプチド(ANP)受容体の精製と構造研究
三輪　史朗	東京大学 医科学研究所	赤血球アデノシン・デアミナーゼ(ADA)過剰産生による遺伝性溶血性貧血の病因解析
村地　孝	京都大学医学部　臨床検査医学	内分泌臓器におけるカルパインとカルパスタチンの役割
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	リポキシゲナーゼの病態生理学的動態の研究
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	血色素の分子病理学
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	中枢性ヒスタミンの研究―ヒスタミン神経の生理的意義とヒスタミン受容体の分子レベルでの情報伝達機構の解明

昭和61年度　第18回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
油谷　浩幸	東京大学医学部　第三内科	リポ蛋白代謝異常症に関する分子遺伝学的研究
井廻　道夫	東京大学医学部　第三内科	肝癌細胞より分泌される肝細胞増殖因子の精成・純化
内山　卓	京都大学医学部　第一内科	非リンパ球系細胞におけるIL-2受容体の機能
川上　正舒	国立病院医療センター	TNF／カケクチンの異栄養作用に関する研究
神奈木玲児	京都大学医学部　検査部	モノクローナル抗体を用いた糖鎖性の癌抗原の研究
北川　誠一	自治医科大学医学部　内科	単球・マクロファージの活性化と細胞内刺激伝達機構の修飾
倉光　成紀	大阪医科大学　医化学	代謝異常性小児自閉症・若年性パーキンソン病などの6R-テトラハイドロバイオプテリンの投与により改善される神経性精神疾患に対する病態動物モデルの開発と本薬剤による治療の基礎研究
栗谷　太郎	大阪大学医学部　第三内科	B細胞分化機序の解析―B細胞分化誘導因子の遺伝子決定とその受容体蛋白の作用並びに構造決定
小島　至	東京大学医学部　第四内科	Ca^{2+}受容系のシグナル産生機構に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
清水　孝雄	東京大学医学部　栄養学	脳血管攣縮成因におけるロイコトリエン、血小板活性化因子の相互作用に関する研究
菅野健太郎	東京大学医学部　第三内科	胃壁細胞ヒスタミン受容体の構造と機能に関する研究
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	糖脂質発現の遺伝学的解析
須田　年生	自治医科大学 血液医学研究部門	Lymphohemopoietic Stem Cellの分化並びに増殖機構の解析
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	細胞膜受容体とホスホリパーゼCとの共役機構とその病態
高田　泰治	愛媛大学医学部　第二内科	培養傍糸球体細胞を用いたレニン分泌に関する研究
武田　俊一	京都大学医学部　第一医化学	レトロウイルスベクターを利用した骨髄幹細胞への遺伝子の導入
寺本　民生	東京大学医学部　第一内科	動脈硬化症発症機構における肝臓の役割 —食事由来リポ蛋白の異化機構の解明
中尾　一和	京都大学 放射性同位元素総合センター	体液血圧調節ホルモンおよび神経ペプチドとしての心房性ナトリウム利尿ポリペプチド(ANP)の臨床応用
中西　憲司	兵庫医科大学　第三内科	B細胞上IL-2受容体発現におけるup-regulation機構の解析とB細胞分化におけるIL-2の意義
成宮　　周	京都大学医学部　薬理学	プロスタグランジンの細胞内取り込みと核輸送機構の分子的解明
難波　光義	大阪大学医学部　第二内科	新しい神経ペプチドNeuromedin Bの存在様式およびその放出機構に関する研究—特に糖尿病病態の及ぼす影響について
箸本　英吉	福井医科大学　第二生化学	細胞増殖因子の作用機序—特にインスリンや上皮成長因子(EGF)によるリボゾーム蛋白質S6の燐酸化反応の促進について
服部　俊夫	熊本大学医学部　第二内科	新しいヒト好リンパ球性レトロウイルスの発見
花房　俊昭	大阪大学医学部　第二内科	Ⅰ型糖尿病の発症機序 —NODマウス膵島細胞におけるクラスⅡMHC抗原の発現に関する研究
平井　久丸	東京大学医学部　第三内科	前白血病状態におけるトランスフォーミング遺伝子
水野　健作	宮崎医科大学　第二生化学	生理活性ペプチド前駆体プロセシング機序の解明
桃井　　隆	国立武蔵神経センター	GM_1-ガングリオシドーシス病におけるβ-ガラクトシダーゼ分子の遺伝子レベルでの解析
山口　修一	埼玉県立小児医療センター	核磁気共鳴装置(NMR)スペクトロメトリーによる先天代謝異常症診断法並びに代謝動態に関する研究
山本　一彦	東京大学医学部　物療内科	慢性関節リウマチの関節に集まるT細胞の特異性の検討
吉川　和明	(財)東京都精神医学総合研究所	脳内神経ペプチドの生合成と代謝に及ぼす向精神作用物質の影響に関する分子生物学的研究
淀井　淳司	京都大学医学部　免疫学	ATL由来IL-2レセプター誘導因子の生物学的研究

昭和61年度　第18回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
井林　雪郎	九州大学医学部第二内科	脳循環調節におけるアデノシンの研究	ワシントン州立大学
木原　康樹	京都大学医学部第三内科	発光性蛋白質aequorinを用いた単一遊離心筋細胞における細胞内カルシウム動態および発生張力に関する研究	ベス イスラエル病院
篠村　恭久	大阪大学医学部第二内科	Gastrin、CCKとそれらの受容体に関する生化学的研究	在郷軍人局医療センター
高橋　慶一	東京大学医学部第三内科	正常ウサギおよび遺伝的高脂血症ウサギを用いて、超低比重リポ蛋白(VLDL)の異化、代謝を研究する	カリフォルニア大学
谷口　茂夫	東京大学医学部第一内科	カルシウムイオンをセカンドメッセンジャーとする各種ホルモンの腎尿細管における作用機序に対するイノシトール3リン酸代謝の及ぼす影響について	フランス大学

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
矢尾板芳郎	京都大学医学部 第一医化学	転写因子TFⅢAの発現調節機構	カーネギ ワシントン 研究所

昭和62年度　第19回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	α_2-Plasmin inhibitorの遺伝的欠損者の遺伝子の解析
東　市郎	北海道大学　免疫科学	合成アジュバントを用いる免疫低下宿主における日和見感染の防御
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	神経ペプチドの中枢性体液および血圧調節における役割に関する研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	先天性機能異常分子Ⅸ因子とフィブリノーゲンの構造解析
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	血球分化と細胞内シグナル伝達機構の解析
遠藤　實	東京大学医学部　薬理学	ヒトおよびブタ悪性高熱における骨格筋筋小胞体の Ca-induced Ca release機構の異常
岡　博	東京大学医学部　第一内科	肝癌細胞におけるビタミンK依存性γ-カルボキシル反応の異常と その機序に関する研究
香川　靖雄	自治医科大学　第一生化学	人体のATP合成酵素の発現に関する研究
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Glucocorticoid作用の発現におけるProtein Kinase Cの新しい役割
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	血管内皮細胞由来収縮因子の精製と生理的意義の研究
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	リコンビナントFCεレセプターの免疫学的機能
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	糖蛋白質性ホルモン糖鎖の機能とその病変に関する研究
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	シアロ糖化合物による制癌(白血病細胞増殖抑制・分化誘導)機構の解析 と応用
島田　和典	熊本大学医学部　第一生化学	成人型(日本人型)シトルリン血症のDNAレベルでの病因解析
杉村　隆	国立がんセンター研究所	腎不全患者の透析排液に含まれる変異原・がん原性ヘテロサイクリックア ミンの検出
鈴木　義之	国立精神・神経センター 神経研究所	ガラクトシアリドーシスおよびGM_1—ガングリオシドーシスの分子異常に 関する遺伝生化学的研究
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	先天性代謝異常脳腱黄色腫(CTX)の病態モデル動物の作成
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	前白血病状態におけるトランスフォーミング遺伝子の検出とその臨床応用
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	ATLの病態代謝学的研究—特にATL細胞のリンホカインと 病像の関連について
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	細胞内小器官の膜輸送機構の障害に基づく遺伝疾患の病態に関する 生化学的研究
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	T細胞レセプター突然変異体の同定と構造解析
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	ピルビン酸キナーゼL遺伝子のインスリンによる転写制御の分子機構
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋ホスホフルクトキナーゼ欠損症に関する分子生物学的研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	プロテインキナーゼCによる細胞機能調節の研究 —その分子多様性と組織特異性
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	ニコチン性アセチルコリン受容体と重症筋無力症に関する 分子生物学的研究
早石　修	大阪医科大学	プロスタグランジンの作用機構の解明と病態

研究者名	所属機関	研究テーマ
本庶　佑	京都大学医学部　第一医化学	トランスジェニックマウスを使った免疫異常動物モデルの作製
松尾　壽之	宮崎医科大学　第二生化学	心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)の分泌機構
三浦　恭定	自治医科大学 血液医学研究部門	造血因子遺伝子・発癌遺伝子の造血幹細胞への挿入とその応用
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	好中球の活性酸素生成機構に関する研究
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	ヒトビルビン酸キナーゼ異常症の遺伝子レベルでの病因解明
村地　孝	京都大学医学部　臨床検査医学	内分泌臓器におけるカルパインとカルパスタチンの役割
元吉　和夫	自治医科大学 血液医学研究部門	遺伝子組換型ヒト単球コロニー刺激因子(rM-CSF)による ヒト単球の活性化と殺腫瘍活性の誘導および臨床応用のための基礎的研究
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	培養骨芽細胞による骨吸収性プロスタグランジンE_2の生成と その調節機構の研究
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	肝臓ヒスタミンH_1受容体の研究—ヒスタミンH_1受容体蛋白の解析と肝におけるH_1受容体の生理的意義およびその調節機構の分子レベルでの解明

昭和62年度　第19回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
五十嵐道弘	自治医科大学　第二生化学	痴呆および脳発育障害の成因に関する神経生化学的研究 —神経成長円錐の正常および病態代謝の解析
石川　三衛	自治医科大学　内分泌代謝学	バソプレシンの腎作用発現におけるカルシウムの修飾作用
石川　冬木	東京大学医学部　第三内科	レトロウイルスベクターを用いたオンコジーンのマウス組織への導入
上野　聡	大阪大学医学部　第二内科	New typeの遺伝性アミロイドニューロパチーにおける アミロイド線維蛋白一次構造の決定
蛯名　洋介	熊本大学医学部　遺伝医学	糖尿病におけるインスリンレセプター遺伝子異常の解析
岡　芳知	東京大学医学部　第三内科	糖代謝異常と各種臓器での糖輸送担体蛋白の変動—mRNAの検討も含めて
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	高次神経系におけるインスリンの生理作用および作用発現機構
神奈木玲児	京都大学医学部　検査部	糖鎖性の癌抗原を利用した癌治療法の研究
北川　誠一	自治医科大学 血液医学研究部門	顆粒球の分化とカルシウムイオンチャンネルの発達
木村　康志	東京大学医学部　薬理学	抗利尿ホルモン拮抗薬による腎臓抗利尿ホルモン受容体の減感現象の 成立機序に関する研究
倉光　成紀	大阪医科大学　医化学	テトラハイドロバイオプテリン合成低下による代謝疾患に対する モデル動物の作製と治療薬の開発
栗谷　太郎	大阪大学医学部　第三内科	免疫異常症におけるB細胞分化因子およびその受容体の解析
後藤　淳郎	東京大学医学部　第二内科	内因性ジギタリス様物質の血管作動物質並びに 高血圧性血管病変惹起因子としての役割に関する研究
杉村　和久	北海道大学 免疫科学研究所	リンパ球の増殖と分化を抑制する蛋白性因子の作用機序と分子構造の解析
鈴木　英彦	富山医科薬科大学医学部 第一内科	T-T細胞間反応からみた自己免疫疾患の病態に関する研究
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	イノシトールリン脂質代謝を介する細胞膜受容伝達機構とその病態
田口　隆久	大阪大学基礎工学部　生物工学	培養運動神経の成長と分化を促進するタンパク質因子の同定と精製 —萎縮性運動神経疾患の病因の解明のための基礎研究
田口　吉孝	大阪大学医学部　第二薬理学	発癌プロモーターによるヒスチジン脱炭酸酵素の活性化機構 —ラット好塩基球性白血病細胞を用いたモデル実験

研究者名	所属機関	研究テーマ
飛松　孝正	旭川医科大学　第一生化学	カルモデュリン依存性タンパク質リン酸化酵素Ⅱのアイソザイムの構造と機能
中尾　一和	京都大学 放射性同位元素総合センター	心房性ナトリウム利尿ポリペプチド(ANP)の生合成、分泌および生理的意義に関する分子生物学的研究
中西　憲司	兵庫医科大学　第三内科	低親和性IL2受容体の高親和性IL2受容体への転換機構の解析
成宮　周	京都大学医学部　薬理学	ボツリヌス神経毒素を用いて行う細胞分泌の分子機構の研究 —ボツリヌス毒素標的蛋白の同定
野間　隆文	京都大学医学部　第一医化学	インターロイキン4およびインターロイキン5受容体分子の構造と機能の解明
橋本　康弘	(財)東京都臨床医学総合研究所	糖脂質糖鎖合成に係わる糖転移酵素発現の遺伝学的研究
服部　俊夫	熊本大学医学部　第二内科	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)の感染機構の解明と感染阻止の試み
浜窪　隆雄	京都大学医学部　臨床検査医学	サラセミア患者赤血球におけるプロテオリシス異常
深田　順一	京都大学医学部　第二内科	リンフォカイン・モノカインによる神経内分泌機能調節に関する研究
堀池喜八郎	滋賀医科大学　第一生化学	哺乳動物のペルオキシソーム内に存在し、D-アミノ酸を酸化的に脱アミノする二つの酵素、D-アミノ酸オキシダーゼとD-アスパラギン酸オキシダーゼの中枢神経系での生理的役割
前田秀一郎	熊本大学医学部　第一生化学	分子遺伝学的手法によるアルツハイマー病の脳内アミロイドの成因解析
松田　良一	東京都立大学理学部　生物学	筋芽細胞をキャリヤーとして用いた筋細胞特異的な高分子物質注入法の開発
水野　健作	宮崎医科大学　第二生化学	ペプタイドC—末端アミド化酵素の精製と構造研究
桃井　隆	国立精神・神経センター神経研究所	遺伝子解析によるGloboid cell leukodystrophy(クラッベ病)の病因解析
森　啓	(財)東京都老人総合研究所	アルツハイマー神経原線維の主要抗原分子(タウ)のクローニングと全一次構造の決定
山本　行男	(財)東京都臨床医学総合研究所	白血球表層糖蛋白質(SGP140)と白血球機能異常症との関連について
吉本　谷博	徳島大学医学部　生化学	血小板のアラキドン酸酸素添加酵素の病態生化学的研究
淀井　淳司	京都大学医学部　免疫学	Fcεレセプター・IgE結合因子の遺伝子発現機構の研究
渡辺　毅	東京大学医学部　第一内科	腎のプロスタグランジンE_2受容体の精製とその生理的意義

昭和62年度　第19回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
赤水　尚史	京都大学医学部第二内科	甲状腺におけるヨード代謝に関する研究、バセドウ氏病の原因に関する研究	米国国立衛生研究所
木下　誠	東京大学医学部第一内科	アポリポ蛋白の単クローン抗体を用いた血漿リポ蛋白合成に関する研究	ワシントン大学
斎藤　尚亮	神戸大学医学部薬理学	プロテインキナーゼCの抑制性神経伝達物質受容体特にGABA／ベンゾジアゼピン受容体に対する役割とその意義の究明	エール大学
杉山幸比古	東京大学医学部第三内科	各種びまん性肺疾患における肺胞マクロファージの代謝能の検討	国立免疫学・呼吸器医学ユダヤセンター
中別府雄作	九州大学医学部生化学	哺乳動物細胞の増殖を調節する遺伝子の機能と発現	ジョンズ ホプキンス大学
平井　久丸	東京大学医学部第三内科	Identification and analysis of host proteins that interact with pp60 $^{v\text{-}src}$	カリフォルニア大学

昭和63年度　第20回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	α_2-plasmin inhibitorの遺伝子とその変異
荒川規矩男	福岡大学医学部　第二内科	ヒトにおけるキニン・テンシン系の作動の証明とその病態的意義について
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	中枢性体液および血圧調節における新しい生理活性ペプチドの役割に関する研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	血友病B因子(Ⅸ因子)の構造異常の解析
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	Chromosome-mediated gene transferによる アデノシン・デアミナーゼ欠損重症複合免疫不全症の治療法の開発
遠藤　實	東京大学医学部　薬理学	筋小胞体からの生理的Ca放出および悪性高熱における Ca-induced Ca release機構の役割
岡　博	東京大学医学部　第一内科	慢性活動性肝疾患における抗スルファチド抗体の臨床的並びに 病態生理学的意義
小澤　和恵	京都大学医学部　第二外科	肝ミトコンドリアredox stateに基づく根治的肝切除術および肝移植と 周手術期治療の確立
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Mast cellのTryptaseとTrypstatinの構造と生理機能 —IgEアレルギー炎症との関係—
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	PGI_2によるコレステリルエステル水解酵素活性化に与えるHDLの影響
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	IL-6レセプターとシグナル伝達に関する研究
北　徹	京都大学医学部　老年医学	動脈硬化発症機構およびその進展抑制に関する研究
久野　宗	京都大学医学部　生理学	運動神経のカルシトニン遺伝子関連ペプチドの軸索輸送と放出
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	免疫グロブリン糖鎖の機能と病変
小浜　一弘	東京大学医学部　薬理学	血管平滑筋ミオシンの研究 —その高血圧症におけるリン酸化病態代謝の研究
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	インターロイキン1(IL-1)およびその合成部分ペプチドの生理活性 —特にその発現機構解析と抗腫瘍効果の探索・応用
島田　和典	熊本大学医学部　第一生化学	遺伝子ファミリーを形成する新しいサイトカインの研究 —遺伝子ファミリーの構造解析と発現調節機構の研究
清水喜八郎	東京女子医科大学 臨床中央検査部	抗生物質の投与法とpostantibiotic effect
杉村　隆	国立がんセンター研究所	無アルブミン血症ラットの体細胞復帰突然変異の特性と機構の解明
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	脂質代謝異常と脳血管障害に関する研究
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	血小板由来血管内皮細胞増殖因子の生化学的、 遺伝子工学的および細胞生物学的研究
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	ATLの病態代謝に関する研究—特にIL-2-toxin治療とphotochemotherapyの検討
竹田　美文	東京大学 医科学研究所	エンテロトキシンの受容体と情報伝達
多田　啓也	東北大学医学部　小児科	高グリシン血症の病態・病因の解明
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	I-J分子の生化学的同定とその性状の解明
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	インスリンとフルクトースによる ピルビン酸キナーゼL遺伝子発現制御の分子機構
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	スーパーオキサイドディスムターゼのグリコシレーションによる 不活性化機構とその意義
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋ホスホフルクトキナーゼ欠損症に対する分子生物学的研究
永井　克孝	東京大学医学部　生化学	ガングリオシド発現の分子生物学的研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	プロテインキナーゼCによる細胞機能の調節に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
沼　正作	京都大学医学部　第二医化学	カルシウム拮抗薬受容体と高血圧症に関する分子生物学的研究
早石　修	(財)大阪バイオサイエンス研究所	睡眠の分子機構およびその破綻により生じる病態の解明
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	カテコールアミン作働性神経およびセロトニン作働性神経における伝達物質の合成と分泌の制御機構とその異常
本庶　佑	京都大学医学部　第一医化学	ヒトIL-2およびヒトIL-2レセプター(L鎖)遺伝子を持つトランスジェニックマウスを用いた免疫異常の研究
松尾　壽之	宮崎医科大学　第二生化学	新しいナトリウム利尿ホルモン(BNP:Brain Natriuretic Peptide)の生化学的研究
御子柴克彦	大阪大学 蛋白質研究所	哺乳類中枢神経系の発生と分化の研究
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	ヒト諸組織におけるピルビン酸キナーゼアイソザイム発現機構の解明
村地　孝	京都大学医学部　臨床検査医学	眼水晶体の老化および白内障におけるカルパインの役割
森　徹	京都大学医学部　分子病診療学	G蛋白を介する細胞内情報伝達機構におけるfucosyl GM_1ガングリオシドの意義に関する研究
森　正敬	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	先天性高アンモニア血症の遺伝子レベルでの診断と病因解明
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	培養骨芽細胞による骨吸収性プロスタグランジンE_2の生成とその調節機構の研究
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	肝ヒスタミンH_1受容体の精製、クローニングとその生理的意義

昭和63年度　第20回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
栗田　卓也	自治医科大学　内分泌代謝科	遺伝子増幅法を用いたHLAタイピングの確立
石川　冬木	東京大学医学部　第三内科	造血細胞増殖因子の受容体に関する分子生物学的研究
石堂　一巳	徳島大学 酸素科学研究センター	ラットカテプシンHおよびLの遺伝子構造およびそのPromoter-Enhancer領域の解析
一瀬　雅夫	東京大学医学部　第一内科	ペプシノゲン遺伝子発現調節機構に関する検討
伊藤　誠二	(財)大阪バイオサイエンス研究所	プロスタグランジンE_2の分泌調節機構の解明と病態生理時におけるその関与について
乾　幸治	大阪大学医学部　小児科	Krabbe病におけるサイコシンの蓄積機序について
上田　夏生	徳島大学医学部　生化学	リボキシゲナーゼの組織化学的研究
大久保　実	虎の門病院　内分泌代謝科	動脈硬化発症機構に関する研究；冠動脈血管内皮細胞培養
大西　真	東京大学医学部　第三内科	肝癌発癌におけるアンドロゲンレセプターの関与
岡田　全司	大阪大学医学部　第三内科	ヒト・キラーT細胞分化因子(KHF)の遺伝子クローニングおよびIL-6とのT細胞分化相乗作用の解析
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	神経系細胞におけるインスリンの生理作用とその作用発現分子機構に関する研究
尾形　逸郎	東京大学医学部　第一内科	肝におけるマクロファージの病態調節に関する研究
岡本　一起	大阪大学医学部 バイオメディカル研究センター	ステロイドホルモンレセプター核結合を促進する生体高分子因子の精製とその作用機構の解析
川上　敏明	京都大学医学部　第一医化学	蛋白質チロシンキナーゼによる癌化の分子機構
神奈木玲児	京都大学医学部　臨床検査医学	糖鎖性がん抗原に対する免疫応答の遺伝子レベルでの研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
北川　誠一	自治医科大学 血液医学研究部門	サイトカインによる好中球機能亢進作用とその機序に関する研究
木村　康志	東京大学医学部　薬理学	ラムダファージクローニングベクターとin vitro転写とを組合わせたバゾプレッシングV_2受容体のcDNAクローニング
楠　　進	東京大学医学部　神経内科	末梢神経障害患者血清中の抗糖脂質抗体の検討
済木　育夫	北海道大学 免疫科学研究所	細胞接着コア配列の合成ポリペプチドを用いた細胞接着および癌転移抑制
白藤　尚毅	東京大学 医科学研究所	ヒトG-CSF受容体の純化とその情報伝達機構の解析
須川　秀夫	京都大学医学部　第二内科	甲状腺癌特異的モノクローナル抗体を用いた新しい診断および治療法の開発
鈴木　　進	東北大学医学部　第三内科	インスリンの二次信号物質産生の分子機序の解明
須田　年生	自治医科大学 血液医学研究部門	ストロマ細胞上での血液幹細胞の自己複製能に関する研究
仙波恵美子	大阪大学医学部　第二解剖学	神経組織における神経活性物質リセプターの遺伝子発現 —in situハイブリダイゼイション法による—
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質の精製・構造および機能
高崎　誠一	東京大学 医科学研究所	マクロファージの特異機能誘導における糖タンパク質糖鎖の役割の解析
滝口　正樹	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	尿素サイクル酵素遺伝子群の転写調節機構
田口　隆久	大阪大学基礎工学部　生物工学	シビレエイ電気器官に含まれるCl^-チャンネル蛋白分子の精製と抗体作製および骨格筋細胞膜に存在するCl^-チャンネル分子との比較
中尾　一和	京都大学 放射性同位元素総合センター	心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)およびANP受容体に対するモノクローナル抗体の開発と応用
中西　真人	大阪大学 細胞工学センター	HVJ(Sendai Virus)を使った動物生体内への遺伝情報導入法の開発とそれを応用した家族性高コレステロール血症治療の試み
中村　俊一	福井医科大学　第二生化学	正常細胞におけるチロシンキナーゼの生理的意義
成宮　　周	京都大学医学部　薬理学	ボツリヌス毒素によってADPリボシル化される新しいGTP結合蛋白Gbのクローニング
西渕　光昭	京都大学医学部　微生物学	志賀毒素と大腸菌のVero毒素の蛋白合成阻害機能を担う構造の解明
服部　俊夫	熊本大学医学部　第二内科	ヒト免疫不全ウイルスの中和エピトープの生化学的解析
堀内　正公	熊本大学医学部　第二生化学	マクロファージのリポタンパク質代謝と動脈硬化症
前田秀一郎	熊本大学医学部　第一生化学	神経難病におけるアミロイド形成の分子機構の解析
牧　　正敏	京都大学 ウイルス研究所	細胞内におけるカルパイン—カルパスタチン系の制御機構とウイルス感染に関する研究
松島　照彦	東京大学医学部　第一内科	食事性高コレステロール血症の発症機序—分子生物学的手法を用いたアポ蛋白Eの生合成制御に関する研究
水野　健作	宮崎医科大学　第二生化学	生理活性ペプチドC端末アミド化酸素の発現とその応用
宮井　一郎	大阪大学医学部　第二内科	HTLV-Ⅰ-associated myelopathy(HAM)の髄液により確立したT細胞株におけるretrovirusとoncogeneの発現について
宮園　浩平	東京大学医学部　第三内科	β型トランスフォーミング成長因子およびその近縁物質の作用機序の生化学的研究
桃井　　隆	国立精神・神経センター 神経研究所	脳神経細胞活性化に関与するレチノイン酸の生合成と情報伝導機構の解析
山田　信博	東京大学医学部　第三内科	糖尿病性神経症の発症におけるアポEの関与
山村　　卓	国立循環器病センター研究所	虚血性心疾患における血清リポ蛋白・アポ蛋白の異常に関する研究 —アポ蛋白Eおよびアポ蛋白A-Ⅰ成分の異常と動脈硬化症への関与について
山本耕一郎	大阪大学 微生物病研究所	コレラ菌およびVibrio vulnificusの細胞溶解性毒素の活性中心に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
山本　行男	(財)東京都臨床医学総合研究所	白血球機能異常の解析と診断への応用：白血球表層糖蛋白質(SGP140)の食作用機能の解析
渡辺　毅	東京大学医学部　第一内科	肺のロイコトリエンD_4受容体の分子構造と情報伝達機構の解明

昭和63年度　第20回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
北村　俊雄	東京大学医学部 第三内科	増殖因子と増殖因子受容体	カリフォルニア大学
小安　重夫	(財)東京都臨床医学 総合研究所	免疫系における細胞間相互作用を担う機能分子の分子生物学的解析	ハーバード大学
立花　章	京都大学医学部 分子腫瘍学	体細胞突然変異の発がんに対する関与	王立癌研究財団
橋本　康弘	(財)東京都臨床医学 総合研究所	細胞質で合成された糖ヌクレオチドをゴルジ小胞体内に運搬する運搬蛋白質の精製およびこの運搬過程に欠損を持つと推定される変異体細胞の解析	マサチューセッツ大学
松浪　伯禎	京都大学医学部 第一医化学	Human gene mapping	ハワードヒュー 医学研究所

平成元年度　第21回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	遺伝的α_2-Plasmin inhibitor欠損の分子的機構
石村　巽	慶應義塾大学医学部　医化学	最近初めて同定されたアルドステロン合成酵素の分子構造と反応機構 —副腎ステロイド代謝異常の基礎研究
稲垣千代子	関西医科大学　薬理学	脳の新しいイオン代謝系“cl ポンプ”の証明
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	体液および血圧調節におけるナトリウム利尿ペプチドの役割に関する研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	外因系血液凝固Ⅶ因子の第1EGF様ドメインに見い出した新しい糖鎖の意義
内野　治人	京都大学医学部　第一内科	Chromosome-mediated gene transferによる アデノシン・デアミナーゼ欠損重症複合免疫不全症の治療法の開発
遠藤　實	東京大学医学部　薬理学	筋小胞体からの生理的Ca放出および悪性高熱における Ca-induced Ca release機構の役割
奥村　康	順天堂大学医学部　免疫学	免疫異常解明のためのリンパ球機能分子発現調節機序の解析
小澤　和恵	京都大学医学部　第二外科	血中ケトン体比測定によるヒト肝移植、肝グラフトの早期不全の予知
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	Tリンパ球へのAIDSウイルス感染機構における Trypsin型プロテアーゼの関与
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	Bovine Retractor Penis(BRP)由来の新しい平滑筋収縮抑制因子(IF)の 構造決定
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	インターロイキン6(IL-6)レセプターとシグナル伝達機構
北　徹	京都大学医学部　老年医学	動脈硬化発症機構およびその進展抑制に関する研究
久野　宗	京都大学医学部　生理学	運動神経のカルシトニン遺伝子関連ペプチドの軸索輸送と放出
黒川　清	東京大学医学部　第一内科	肝細胞膜抗体による細胞障害機序：抗スルファチド抗体による肝細胞 —細胞外マトリックス相互作用の阻害
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	免疫グロブリン糖鎖の機能と病変
島田　和典	熊本大学医学部　第一生化学	哺乳動物細胞の未分化形質維持に寄与する遺伝子群の研究
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	糖鎖遺伝子の解析

研究者名	所属機関	研究テーマ
鈴木　義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の病因と病態に関する分子遺伝学的研究
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	血管攣縮におけるアラキドン酸リポキシゲナーゼ産物の役割
左右田健次	京都大学 化学研究所	セレン代謝と含セレン酵素、グルタチオンペルオキシダーゼへのセレン導入機構
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質を介する新しい細胞内情報伝達機構
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の新しい臨床応用に関する基礎的、臨床的研究
高月　　清	熊本大学医学部　第二内科	発作性夜間血色素尿症における血球膜複合糖質代謝異常の検索およびその臨床応用
竹田　美文	京都大学医学部　微生物学	腸管出血性大腸菌が産生するVero毒素の研究
多田　啓也	東北大学医学部　小児科学	高グリシン血症の病態・病因の解明
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	I-Jの分子構成と遺伝子表現
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	インスリンによる遺伝子発現制御の分子機構
田辺　　忠	国立循環器病センター研究所	脂肪酸シクロオキシゲナーゼの構造と調節に関する研究
谷口　維紹	大阪大学　細胞工学センター	サイトカイン系における、シグナル伝達受容体および遺伝子発現因子による細胞増殖の制御
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	ヒトMn-スーパーオキサイドディスムターゼの心筋障害における病態生化学的意義
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋ホスホフルクトキナーゼ欠損症に対する分子生物学的研究
中西　重忠	京都大学医学部 第二免疫研究施設	神経ペプチドタキキニン受容体の構造と調節に関する分子生物学的研究
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	Protein Kinase Cによる情報伝達の機構
沼　　正作	京都大学医学部　第二医化学	カルシウム拮抗薬受容体と高血圧症に関する分子生物学的研究
早石　　修	(財)大阪バイオサイエンス研究所	睡眠・覚醒の生理的調節機構と睡眠・覚醒障害の病態生理の解析 —特に脳内プロスタグランジンに着目して
藤澤　　仁	旭川医科大学　第一生化学	カルモデュリン依存性プロテインカイネースⅡによる中枢神経機能の調節に関する研究
本庶　　佑	京都大学医学部　第一医化学	免疫グロブリン遺伝子再構成機構の研究
松尾　壽之	国立循環器病センター研究所	Brain Natriuretic Peptide(BNP)の生化学的研究 —特にヒトおよびラットを中心として
三浦　恭定	自治医科大学 血液医学研究部門	造血幹細胞の単離、増殖、保存と血球増殖異常疾患への応用
御子柴克彦	大阪大学 蛋白質研究所	変異動物の利用による哺乳類中枢神経系の発生・分化調節機序の分子機構の解析
水上　茂樹	九州大学医学部　第二生化学	食細胞に特異的なNADPH-O_2^-生成酵素の活性発現機構の研究
三輪　史朗	(財)沖中記念成人病研究所	グルコース-6-リン酸脱水素酵素異常症の遺伝子レベルでの病因解明
村地　　孝	京都大学医学部　臨床検査医学	眼水晶体の老化および白内障におけるカルパインの役割
山村　研一	熊本大学医学部 遺伝医学研究施設	遺伝子導入マウスを用いたアミロイド沈着機構の解析
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	培養骨芽細胞の骨吸収性プロスタグランジンE_2生成のシクロオキシゲナーゼ誘導による調節
淀井　淳司	京都大学医学部　免疫研究施設	ヒトATL由来因子(ATL-derived Factor)遺伝子産物の生物活性と臨床応用
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	ヘモグロビンM症の分子病理学化学—ESR、赤外、共鳴ラマン分光による研究

平成元年度　第21回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
池田　宇一	自治医科大学　循環器内科	高血圧の成因としてのNaK-ATPase遺伝子レベルでの検討
池田　康行	国立循環器病センター	アテローム硬化巣におけるマクロファージ由来リポ蛋白リパーゼの分子生物学的研究
石川　冬木	東京大学医学部　第三内科	ヒト血小板由来血管内皮細胞増殖因子(PD-ECGF) in vivoにおける生理的・病理的機能
井上　雅史	関西医科大学　薬理学	新しいけいれんモデルの作成と解析—興奮性アミノ酸系伝達物質遊離とその調節の機構
上田　夏生	徳島大学医学部　生化学	脳のリポキシゲナーゼの生化学的並びに免疫組織学的研究
大久保博晶	京都大学医学部　免疫研究施設	K^+イオン・チャネル活性を有する新しい膜蛋白(Isk)の構造と機能に関する研究
大久保　実	虎の門病院　内分泌代謝科	マクロファージ傷害家兎における動脈硬化の病理学的検討
大隅　　隆	信州大学医学部　生化学	抗高脂血薬剤によるペルオキシゾーム局在性脂肪酸β酸化系酵素の誘導の分子構造
大田　雅嗣	自治医科大学 血液医学研究部門	造血幹細胞および白血病細胞の増殖・分化における Transforming Growth Factor-β (TGF・β)の生理学的意義とその臨床応用
岡田　全司	大阪大学医学部　第三内科	IL-6による生体内抗腫瘍効果および生体内キラーT細胞誘導機構の解析
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	中枢神経系の発生および修復における塩基性線維芽細胞増殖因子(bFGF)の発現とその調節に関する研究
尾形　逸郎	東京大学医学部　第一内科	線維肝における肝実質細胞由来コラゲンの意義に関する研究
小澤　敬也	東京大学 医科学研究所	造血因子依存性骨髄細胞株への癌遺伝子導入による白血病発症機構の解析
堅田　利明	東京工業大学理学部 生命理学科	新しい薬剤のスクリーニング系を目指した GTP結合蛋白質の作用物質に関する研究
神尾　昌則	京都大学医学部　第一内科	インターロイキン2(IL-2)受容体の構造と機能に関する研究 —第3のIL-2結合蛋白、未知の受容体関連蛋白の検討
神奈木玲児	京都大学医学部　臨床検査医学	糖鎖性の癌抗原に対する抗イディオタイプ抗体の作成と癌ワクチンとしての応用に関する基礎的研究
栗原　裕基	東京大学医学部　第三内科	内皮細胞由来血管収縮ペプチド「エンドセリン」の遺伝子発現調節機構の解明
斎藤　尚亮	神戸大学医学部　薬理学	GABA／ベンゾジアゼピン受容体のDown Regulationにおける Protein Kinase Cの各サブタイプの役割に関する研究
四童士好広	東邦大学医学部　分子生物学	レチノイン酸レセプターの遺伝子工学による大量精製、分子性状と応用
清水　　章	京都大学 遺伝子実験施設	ヒト抗体遺伝子トランスジェニックマウスを用いた免疫グロブリン二重アイソタイプ発現機構の研究
白藤　尚毅	東京大学 医科学研究所	ヒト顆粒球コロニー刺激因子(hG-LSF)による情報伝達の研究(Ⅱ) 分化誘導蛋白の同定について
菅谷　純子	関西医科大学　医化学	正常組織(胃)における内在性PAFの生理機能の解明
杉山幸比古	自治医科大学　呼吸器内科	各種肺疾患における肺胞マクロファージのロイコトリエンB_4産生能の検討
須田　年生	自治医科大学 血液医学研究部門	血液幹細胞の自己複製能に関するin vitro測定系の確立およびそれに関する分子種の解析
髙木省治郎	自治医科大学 血液医学研究部門	ヒトNatural Killer細胞増殖因子(NKGF)の研究
髙橋　孝行	東京大学理学部　生物化学科	小腸粘膜由来アミノペプチダーゼファミリーに関する分子生物学的研究
多久和典子	東京大学医学部　第二生理学	肺小細胞癌の増殖を抑制するペプチドの作用機構の研究
多久和　陽	筑波大学臨床医学系　内科学	血管内皮の産生する新しい生理活性ペプチドエンドセリンの骨作用に関する研究
田中　利男	三重大学医学部　薬理学	ヒト血小板における新しいカルシウム結合蛋白の検索とその生理的役割の解析
辻　　崇一	東京大学医学部　第二生化学	ガングリオシド依存性を示す膜局在型タンパクリン酸化酵素の構造と機能の解析

研究者名	所属機関	研究テーマ
中尾　一和	京都大学医学部　第二内科	ANP受容体単クローン抗体の開発とナトリウム利尿ペプチドファミリー受容体の細胞膜グアニル酸シクラーゼ系の解析
中里　雅光	宮崎医科大学　第三内科	糖尿病関連膵臓アミロイドペプチドdiabetes-associated amyloid peptide(DAP)の構造決定、定量、生理作用、病態生理下特に糖尿病での意義について
中西　真人	大阪大学 細胞工学センター	HVJ(Sendai virus)を使った動物生体内への遺伝情報導入法の開発とそれを応用した家族性高コレステロール血症治療の試み
成宮　　周	京都大学医学部　薬理学	ボツリヌス菌ADPリボシル化酵素遺伝子のクローニングと発現ベクターへの組込み
野田　公俊	千葉大学医学部　第二微生物学	病態細胞内ADP-リボシルトランスフェラーゼによるGTP結合蛋白質・アデニル酸シクラーゼ系の調節異常の研究
畠山　昌則	大阪大学 細胞工学センター	インターロイキン2受容体を介するTリンパ球増殖機構の分子論的解析
服部　俊夫	熊本大学医学部　第二内科	HIV感染に必要なCD4以外の細胞膜蛋白の遺伝子単離
花房　俊昭	大阪大学医学部　第二内科	Ⅰ型糖尿病発症機序の解明―膵β細胞MHC抗原誘導の分子機構とその制御
平山　壽哉	東京大学 医科学研究所	大腸菌耐熱性下痢毒素STの受容体と下痢原性発現
深田　順一	京都大学医学部　第二内科	新しい好中球由来ペプチド(デフェンシン)の内分泌機能調節に関する研究
前田秀一郎	熊本大学医学部　第一生化学	分化における血清プレアルブミンの役割り―遺伝子標的組込みを用いた解析
牧　　正敏	京都大学 ウイルス研究所	細胞増殖とカルパイン カルパスタチン系の遺伝子発現制御
松島　照彦	東京大学医学部　第一内科	アポ蛋白Eの遺伝子構造とDNAレベルにおける生合成制御機構の解析
三森　康世	京都大学医学部　神経内科	アルツハイマー型痴呆患者剖検脳における脳内微小血管の特性について(生化学的検討)
宮坂　京子	(財)東京都老人総合研究所	コレチストキニン放出因子(CCK-releasing-peptide)の小腸からの分離と同定
宮崎　淳一	熊本大学医学部 遺伝医学研究施設	トランスジェニックマウスを用いた肝癌モデルの作成とその解析
宮園　浩平	東京大学医学部　第三内科	β型トランスフォーミング増殖因子(TGF-β)の各種血液疾患の病態との関わり
桃井　　隆	国立精神・神経センター 神経研究所	脳内在性神経細胞分化誘導因子としてのレチノイン酸を介する新たな情報伝達機構の解析
八尾　　寛	京都大学医学部　第二生理学	シナプス終末のカルシウムチャネル活動性の調節機構の解析
山岡　和子	(財)東京都臨床医学総合研究所	腫瘍細胞に対する増殖阻害因子の研究
山崎　伸二	京都大学医学部　微生物学	毒素原性大腸菌が産生する耐熱性エンテロトキシンの構造と活性の相関
山田　　薫	東京大学医学部　第二内科	内因性ジギタリス様物質の循環機能調節における役割並びに病態生理的意義
山田　信博	東京大学医学部　第三内科	リポ蛋白リパーゼを過剰発現するtransgenic mouseの作製
山本耕一郎	大阪大学 微生物病研究所	コレラ菌細胞溶解毒素の活性化と可溶性血球凝集素(S-HA)の役割
山本　行男	(財)東京都臨床医学総合研究所	白血球機能異常の解析と診断への応用―白血球表層糖蛋白質(SGP140)のクローニングと食作用機能との関連について
吉川　和明	(財)東京都精神医学総合研究所	アルツハイマー病脳アミロイド形成機構に関する分子細胞生物学的研究―遺伝子導入によるモデル細胞系の開発
渡辺　恭良	(財)大阪バイオサイエンス研究所	テトラハイドロバイオプテリンによる神経伝達アミン遊離の分子機構

平成元年度　第21回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
朝倉　伸司	自治医科大学 血液医学研究部門	トロンビン―アンチトロンビンⅢ複合体とそれに関与する蛋白質(ビトロネクチン)に関する研究	ウィスコンシン大学
小杉　眞司	京都大学医学部 第二内科	甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体機能および甲状腺細胞内伝達機能の調節に及ぼす糖脂質(特にガングリオシド)の影響について	米国国立衛生研究所
柴崎　芳一	東京大学医学部 第三内科	脂肪細胞の代謝・分化	ハーバード大学
春藤　久人	神戸大学医学部 薬理学	サイクリックAMPによる細胞機能調節の分子生物学的研究	オクラホマ大学
高橋　正純	京都大学医学部 中央検査部	Engineered mutation of the antibody genes of mice	米国・生命科学大学
玉岡　晃	東京大学医学部 脳研究施設	アルツハイマー病脳にアミロイドとして沈着する β蛋白の前駆体の機能、由来、プロセッシングに関する研究	米国・ 神経疾患センター
西村　治男	京都大学医学部 第二内科	糖尿病学―特に糖輸送担体に関する基礎的研究	米国国立衛生研究所
水野　健作	宮崎医科大学 第二生化学	細胞情報伝達における核内蛋白の機能解析	カリフォルニア大学
宮崎　厚	大阪大学医学部 第二内科	自己免疫性内分泌疾患(Ⅰ型糖尿病およびGraves'病)の 発症機構に関する分子生物学的研究	ミドルセックス 医科大学

平成2年度　第22回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
市山　新	浜松医科大学　第一生化学	原発性高蓚酸尿症Ⅰ型におけるセリン：ピルビン酸トランスアミナーゼの異常についての研究
今井　正	自治医科大学　薬理学	ネフロンにおけるカルシウム輸送の細胞機序とホルモン、薬物による制御
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	ナトリウム利尿ペプチドおよびそのレセプターの生理的、病態生理的意義に関する研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	外因系血液凝固Ⅶ因子とⅨ因子の第1EGF様ドメインに見い出した新しい糖鎖(Xyl-Xyl-Glc-Ser残基)の意義
上田　國寛	京都大学医学部　臨床検査医学	情報発現制御におけるモノおよびポリ(ADP-リボシル)化反応の役割
小澤　和惠	京都大学医学部　第二外科	Redox理論に基づく肝臓外科、肝移植における周手術期の代謝的解析と治療法の確立
折茂　肇	東京大学医学部　老年病学	骨粗鬆症の病態におけるサイトカインの役割
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	骨吸収現象におけるCathepsin群の関与とその阻害剤による抑制法の開発
加納　英雄	札幌医科大学　第二生化学	カルモジュリン様構造と亜鉛フィンガーを併せもつジアシルグリセロールキナーゼとそのアイソザイムの遺伝子工学的検討
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	新しい情報伝達物質RNO生合成経路の解明
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	サイトカインレセプターの信号伝達における Plasticity－IL-6信号伝達分子gp130の構造と機能
北　徹	京都大学医学部　老年医学	動脈硬化発症機構および進展抑制に関する研究
久野　宗	京都大学医学部　生理学	後根神経節細胞におけるカルシトニン遺伝子関連ペプチドの合成調節機構
黒川　清	東京大学医学部　第一内科	血中単球へのc-fmsのトランスフェクションとM-CSFによる単球増殖促進効果
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	免疫グロブリンG糖鎖の機能と病変
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	外来性遺伝子導入法を利用した癌形質発現機構の解析
杉崎　徹三	昭和大学医学部　腎臓内科学	マウスGVH腎炎の糸球体沈着免疫複合体の性状に関する研究
杉村　隆	国立がんセンター研究所	加熱食品中の発がん物質PhIPの代謝的特徴とDNA損傷

研究者名	所属機関	研究テーマ
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	シアル酸分子種の発現に関する研究
鈴木　義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の分子病理学的研究
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	ハーダー腺由来細胞成長因子(HGDGF)の細胞分化における作用機構
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質の生理機能と作用機構
高久　史麿	東京大学医学部　第三内科	遺伝子治療法の開発と臨床応用可能性の検討
高月　　清	熊本大学医学部　第二内科	発作性夜間血色素尿症(PNH)における赤血球膜糖脂質発現異常の臨床的意義並びにその分子機構の解析
竹田　美文	京都大学医学部　微生物学	蛋白合成を阻害するVero毒素の構造と活性の相関
武部　　啓	京都大学医学部 放射能基礎医学	発がんに関与している遺伝的要因の分子機構
多田　啓也	東北大学医学部　小児科学	高グリシン血症の病態・病因の解明
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	I-Jの分子構成と遺伝子
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	ピルビン酸キナーゼL遺伝子の転写を抑制する因子
田辺　　忠	国立循環器病センター研究所	脂質代謝調節機構に関する分子生物学的研究
谷口　維紹	大阪大学細胞工学センター	細胞の応答を規定する遺伝子発現調節因子
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	Mn-Superoxide Dismutaseの発現機構とその病態生化学的意義
垂井清一郎	大阪大学医学部　第二内科	筋ホスホフルクトキナーゼ欠損症に対する分子生物学的研究
戸田剛太郎	東京大学医学部　第一内科	劇症肝炎患者血清の中分子量ペプタイド領域に認められる肝再生抑制因子の同定の分離・精製
中西　重忠	京都大学医学部 第二免疫研究施設	神経ペプチド・タキキニン受容体の構造と調節に関する分子生物学的研究
成宮　　周	京都大学医学部　薬理学	プロスタグランジン受容体の構造決定
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	Protein Kinase Cの構造、機能とその病態の研究
沼　　正作	京都大学医学部　第二医化学	カルシウム拮抗薬受容体と高血圧症に関する分子生物学的研究
早石　　修	(財)大阪バイオサイエンス研究所	セレニウムのプロスタグランジンD_2合成酵素阻害作用についての検討と脳内プロスタグランジンD_2合成酵素活性の生理的睡眠調節機構における役割についての検討
本庶　　佑	京都大学医学部　第一医化学	免疫グロブリン遺伝子の組換え認識配列に結合する蛋白質RBP-2の遺伝子構造の解析
松尾　壽之	国立循環器病センター研究所	新しいナトリウム利尿ペプチド、C-type natriuretic peptide(CNP)の生化学的研究
松田　一郎	熊本大学医学部　小児科	アルギニン血症における遺伝子解析と病態との対応
三浦　恭定	自治医科大学 血液医学研究部門	濃縮・単離造血幹細胞の分化に伴う造血因子感受性の変化・造血支持細胞の相互関係と臨床への応用
御子柴克彦	大阪大学 蛋白質研究所	イノシトール3リン酸レセプターによる細胞内Ca^{++}放出の分子機構の解明
森　　正敬	熊本大学医学部 遺伝医学研究施設	先天性高アンモニア血症の遺伝子解明
矢崎　義雄	東京大学医学部　第三内科	負荷に対する心筋細胞の応答機構に関する研究 —心肥大形成と収縮性低下の分子機序の究明
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	骨芽細胞の脂肪酸シクロオキシゲナーゼ誘導機構の研究
淀井　淳司	京都大学 ウイルス研究所	成人T細胞白血病由来因子(ATL-derived factor；ADF)の構造と細胞活性化機構

研究者名	所属機関	研究テーマ
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	ヘモグロビンM症の分子病理学 —ESR、赤外、共鳴ラマン、^{13}C-NMR分光による研究
和田　博	大阪大学医学部　第二薬理学	アストログリア細胞の中枢ヒスタミン神経の標的細胞としての確立とその生理的意義

平成2年度　第22回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
粟田　卓也	自治医科大学　内分泌代謝科	自己免疫性内分泌疾患におけるHLAクラスⅡ抗原の遺伝子解析
池田　康行	国立循環器病センター研究所	アテローム硬化巣のマクロファージ(Mϕ)および内膜平滑筋細胞の泡沫化におけるMϕ由来のリポ蛋白リパーゼの役割
池中　一裕	大阪大学 蛋白質研究所	レトロウイルスベクターを使った遺伝子治療に関する研究 —遺伝性ミエリン形成不全マウス、ジンピーをモデルにして
乾　明夫	神戸大学医学部　第二内科	臨床応用を念頭においたpeptideによる摂食行動制御の試み
井上　雅史	関西医科大学　薬理学	新しいCl$^-$輸送系(Cl$^-$-ポンプ)の阻害に関連した エタクリン酸誘発てんかんモデルの解析
今村　育男	大阪大学医学部　第二薬理学	ヒスチジン脱炭酸酵素とドーパ脱炭酸酵素の遺伝生化学的研究
岩間　令道	大阪大学医学部　第一内科	インスリンレセプター遺伝子発現調節蛋白の解析
内田　俊也	東京大学医学部　第四内科	腎尿細管におけるエンドセリン産生とその作用機構の細胞・分子生物学的研究
大久保博晶	京都大学医学部 第二免疫研究施設	K$^+$イオン・チャネル活性を有する新しい膜蛋白(Isk)の構造と機能に関する研究
大田　雅嗣	自治医科大学 血液医学研究部門	白血病細胞継代移植可ヌードマウスを用いたin vivoにおける白血病細胞の増殖・分化の解析と臨床応用
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	神経系における原癌遺伝子産物p60$^{c\text{-}src}$の機能
尾仲　達史	自治医科大学　第二生理学	情動ストレスの脳分子メカニズム：CRF仮説の実験的検証
貝淵　弘三	神戸大学医学部　第一生化学	細胞内情報伝達系と遺伝子発現の制御機構
片岡　徹	神戸大学医学部　第二生理学	酵母アデニレートシクラーゼとRAS蛋白の相互作用の機構に関する研究
堅田　利明	東京工業大学理学部 生命理学科	ADPリボシル化によるGTP結合蛋白質の機能修飾
加藤　伸郎	京都大学医学部 脳神経研究施設	アラキドン酸代謝物による神経伝達物質放出の調節
門脇　孝	東京大学医学部　第三内科	インスリン抵抗性糖尿病におけるインスリン受容体遺伝子変異の同定
亀谷富由樹	(財)東京都精神医学総合研究所	アルツハイマー病、脳におけるアミロイドベータタンパク前駆体の翻訳後修飾に関する研究
川原　康洋	神戸大学医学部　第一内科	血管平滑筋におけるras p21類似低分子GTP結合蛋白質の役割とその病態
神奈木玲児	京都大学医学部　臨床検査医学	癌胎児性の糖鎖抗原に対する抗原をコードする免疫グロブリン遺伝子の特性に関する基礎的研究
小山　純正	(財)大阪バイオサイエンス研究所	睡眠およびその調節異常の基礎となる神経機構の解明
篠田　久治	九州大学医学部 脳神経研究施設	神経系におけるニューロペプチドの成長因子としての役割について
清水　章	京都大学 遺伝子実験施設	遺伝子導入マウスによる自己免疫性貧血発症機構の解析
清水　本武	(財)東京都臨床医学総合研究所	担癌マウスの免疫抑制機構の解析
杉山幸比古	自治医科大学　呼吸器内科	肺胞マクロファージのアラキドン酸代謝物質(特にLTB$_4$)産生に及ぼす各種サイトカインの影響

研究者名	所属機関	研究テーマ
世古　義規	東京大学医学部　第三内科	ウイルス性心筋炎および拡張型心筋症における細胞障害機構の解明と予防・治療法の開発
田口　隆久	大阪大学基礎工学部 生物工学科	終脳神経細胞からの神経線維伸長を促進する脳由来蛋白因子の解析
土田　成紀	弘前大学医学部　第二生化学	血液運動性の調節因子としてのグルタチオンS—トランスフェラーゼ—エイコサノイド代謝と血管平滑筋guanylate cyclaseの活性調節に関与するグルタチオンS—トランスフェラーゼ分子種の解明
土屋　輝昌	東京大学 医科学研究所	重篤な感染症を繰り返す活性酸素産生系の遺伝子欠損症、慢性肉芽腫症(CGD)の白血球への遺伝子導入による機能修復とその基礎研究への応用
中尾　彰秀	東京大学医学部　第一内科	アルギニン—バソプレッシンV_1受容体の遺伝子クローニングによる蛋白構造の解析とその生理的意義の解明
中里　雅光	宮崎医科大学医学部　第三内科	islet amyloid polypeptideの生理作用および糖代謝異常との関連の解明
中西　真人	大阪大学 細胞工学センター	HVJ(Sendai Virus)を用いた生体への遺伝情報導入法の開発と遺伝的代謝異常疾患治療への応用
橋本　佳明	東京大学医学部　第一内科	分泌・放出機構における蛋白燐酸化酵素の役割
服部　俊夫	熊本大学医学部　第二内科	新しいヒトT細胞サブセット(double negative TCR $\alpha\beta$)のHTLV-1感染症の病態に果たす役割
平井　久丸	東京大学医学部　第三内科	crkがん遺伝子産物と結合するチロシン・キナーゼ蛋白の精製およびその遺伝子の単離
深田　順一	京都大学医学部　第二内科	副腎皮質刺激ホルモン分泌因子(CRH)受容体構造の解析
深水　昭吉	筑波大学　応用生物化学系	ヒト・アンギオテンシン前駆体とその遺伝子の細胞および個体レベルにおける発現制御と病態との関連に関する研究
星田　四朗	大阪大学医学部　第一内科	虚血・再灌流心筋細胞障害の進展における活性酸素ラジカル代謝の意義
松倉　　誠	熊本大学医学部　小児科	アンチセンスによるHIV遺伝子発現制御
松島　照彦	東京大学医学部　第一内科	アポ蛋白Eの遺伝子構造とDNAレベルにおける生合成調節機構の解析
松田　　正	大阪大学医学部 バイオメディカル教育研究センター	IL-6インヒビターによる免疫異常症の制御
養田　清次	東京大学医学部　第三内科	自己抗体の産生機構解明への分子生物学的アプローチ
宮川　　清	東京大学医学部　第三内科	がんの進展におけるがん抑制遺伝子の機能異常の解析
宮本　　薫	国立循環器病センター研究所	血圧調節におけるナトリウム利尿ペプチドファミリーとその受容体に関する研究
向山　政志	京都大学医学部　第二内科	モノクローナル抗体を用いた低分子生理活性ペプチドの超高感度測定法の開発
目加田英輔	久留米大学 分子生命科学研究所	ジフテリア毒素Bフラグメントを用いたタンパク質を細胞外から細胞内に輸送する実験系の開発
桃井　　隆	国立精神・神経センター 神経研究所	神経細胞・筋細胞分化におけるレチノイン酸応答遺伝子の解析
八尾　　寛	京都大学医学部　第二生理学	シナプスにおける伝達物質の放出を制御するカルシウムチャネルサブタイプの同定
谷内　一彦	東北大学医学部　第一薬理学	ポジトロンエミッションCT(PET)によるヒト脳のヒスタミン受容体測定
山口　　徹	徳島大学 酵素科学研究センター	副甲状腺ホルモン(PTH)分解に関与する新しい腎膜プロテアーゼの研究—腎性骨代謝異常解明の基礎
山田　　薫	東京大学医学部　第二内科	内因性ジギタリス様物質によるNaポンプ調節機構と循環器疾患における病態生理的意義
湯尾　　明	国立病院医療センター	サイトカインによる好中球、単球・マクロファージの活性化とその機序
吉本　谷博	徳島大学医学部　生化学	アラキドン酸12-リポキシゲナーゼの分子病態生理学的研究

平成2年度　第22回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
臼井　健	京都大学医学部 第二内科	ホルモン遺伝子の発現調節	オレゴン健康科学大学
小田原雅人	東京大学医学部 第三内科	ヒトインスリン受容体の遺伝子異常およびインスリン抵抗性について	米国国立衛生研究所
落谷　孝広	大阪大学 細胞工学センター	神経の発生途中におけるNILEグリコプロテインの発現制御機構の解析	ラ・ホヤ癌研究所
木島　祥行	大阪大学医学部 第一内科	心筋小胞体におけるCa^{2+}能動輸送および遊離の制御機構に関する研究	ヴァンダービルト大学
久下　理	国立予防衛生研究所	膜小胞を介したタンパク質の細胞内輸送と選別に関する研究	プリンストン大学
竹村　基彦	大阪大学医学部 第二薬理学	細胞内セカンド・メッセンジャーとしてのカルシウム・イオンとサイクリック・ヌクレオチドの相互作用について	米国国立衛生研究所
中釜　斉	東京大学医学部 第三内科	ヒト癌(腎臓癌および肝臓癌)における癌抑制遺伝子の解明とその発癌機構における役割	マサチューセッツ工科大学
西田　昌司	大阪大学医学部 第一内科	心筋障害における冠微小循環血管内皮細胞の役割	ハーバード大学
松永　浩	東京大学医学部 内科	ホルモン応答性イオンチャンネル開閉機構のその解析	ダートマス大学

平成3年度　第23回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	先天性α_2-Plasmin inhibitor欠損症における細胞内輸送障害のメカニズムの研究
石川　桑治	宮崎医科大学　第一生化学	自己抗体の超高感度測定法の開発と自己免疫疾患の病因、病態の解明、診断、発症予防への応用
市山　新	浜松医科大学　第一生化学	蓚酸生成機構に関する研究
今井　正	自治医科大学　薬理学	ネフロンにおけるカルシウム輸送の細胞機序とホルモン薬物による制御
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	ナトリウム利尿ペプチドファミリーと受容体の遺伝子発現調節機構と臨床的意義に関する研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	外因系血液凝固の開始反応機構
内山　卓	京都大学 ウイルス研究所	IL-2受容体の構造と機能に関する研究―特に未知の受容体関連蛋白の解明
大島美恵子	国立病院医療センター	ヒト消化管粘膜の病変における複合糖質糖鎖分子の役割に関する研究
小澤　和恵	京都大学医学部　第二外科	肝移植成績向上のための研究
勝沼　信彦	徳島大学 酵素科学研究センター	AIDSウイルス感染における宿主リンパ球セリン性・プロテアーゼの役割併びに特異阻害剤の開発
河合　忠一	京都大学医学部　第三内科	Nitric Oxide合成酵素の遺伝子解析
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	炎症およびウイルス感染における転写因子NF-IL6の役割
北　徹	京都大学医学部　老年医学	動脈硬化発症機構および進展抑制に関する研究 ―HDLの役割を中心に―
鬼頭　昭三	放送大学教養学部	グルココルチコイドによる海馬神経細胞死の機序に関する分子生物学的研究
久野　宗	京都大学医学部　生理学	運動神経細胞の細胞死に関する研究
児玉　龍彦	東京大学医学部　第三内科	マクロファージ スカベンジャー受容体の構造と機能
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	免疫グロブリン糖鎖の機能と病変
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	細胞増殖・分化を制御する細胞周期関連遺伝子産物と細胞外マトリックス分子テネイシン(tenascin)の分子作用機作と制癌への応用

研究者名	所属機関	研究テーマ
杉崎　徹三	昭和大学医学部　腎臓内科	マウスGVH腎炎の糸球体沈着免疫複合体に関する自己抗体と腎炎増悪因子に関する研究
杉村　　隆	国立がんセンター研究所	食品中の発がん物質PhIPのヒト発がんおよび老化との関連の解析
鈴木　義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の分子病理学的研究
清野　　裕	京都大学医学部　病態栄養部	糖輸送担体遺伝子から見た糖尿病の成因解明
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	先天性代謝異常CTX(脳腱黄色腫)の遺伝子診断
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質を介するシグナル伝達機構
高月　　清	熊本大学医学部　第二内科	溶血性貧血発症機構における細胞膜ガングリオシド発現変化の病態生理学的意義
竹田　美文	京都大学医学部　微生物学	腸管出血性大腸菌の産生するVero毒素の迅速同定法の開発および型別
多田　啓也	東北大学医学部　小児科学	高グリシン血症の病態・病因の解明
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	$CD4^+$T細胞由来の抗体産生抑制因子(IAF)の構造と機能
田中　武彦	大阪大学医学部　栄養学	ピルビン酸キナーゼL遺伝子の転写を制御するシスおよびトランス作用因子
谷口　維紹	大阪大学 細胞工学センター	細胞応答を制御する遺伝子発現調節因子
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	Mn-Superoxide Dismutaseの遺伝子レベルでの発現機構とその病態生化学的意義
富永　眞一	自治医科大学　第二生化学	細胞増殖開始過程で特異的に発現されるST2遺伝子産物の生物学的機能
中西　重忠	京都大学医学部 第二免疫研究施設	メタボトロピック・グルタミン酸受容体の機能と脳・神経系における役割に関する研究
成宮　　周	京都大学医学部　薬理学	プロスタグランジン受容体の構造決定
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	情報伝達におけるProtein Kinase Cの構造と機能に関する研究
沼　　正作	京都大学医学部　第二医化学	脳カルシウムチャンネルに関する分子生物学的、病態的研究
早石　　修	(財)大阪バイオサイエンス研究所	生理的な睡眠―覚醒剤調節機構におけるプロスタグランジンを中心とした神経ネットワークの解明
平井　久丸	東京大学医学部　第三内科	骨髄異形成症候群の発症と進展にかかわる癌関連遺伝子の解析
本庶　　佑	京都大学医学部　第一医化学	インターロイキン2受容体p56のcDNAクローニング
松尾　壽之	国立循環器病センター研究所	ナトリウム利尿ペプチド系におけるリガンド―受容体相互作用に関する研究
三浦　恭定	自治医科大学 血液医学研究部門	濃縮単離した造血幹細胞の特性とその臨床的応用
御子柴克彦	大阪大学 蛋白質研究所	突然変異マウスを用いた脳神経系の発生と分化の分子生物学的研究
宮崎　純一	東京大学医学部 疾患遺伝子制御	インスリン分泌制御におけるグルコーストランスポーターの役割の研究
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	わが国におけるグルコース-6-リン酸脱水素酵素異常症の遺伝子レベルでの病因解明
桃井真里子	自治医科大学　小児科	ミトコンドリア異常症における変異ミトコンドリア遺伝子の分配、発現機構の解析
山村　研一	熊本大学医学部 遺伝医学研究施設	Ⅰ型糖尿病発症における主要組織適合クラスⅠ抗原の役割
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	骨芽細胞脂肪酸シクロオキシゲナーゼのcAMP依存性誘導の機構
吉田　　尚	千葉大学医学部　第二内科	異常インスリンレセプター遺伝子の同定とその発現による糖尿病発症に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
淀井　淳司	京都大学 ウイルス研究所	成人T細胞白血病由来因子(ATL-derived factor ADF)によるRedox制御 —新しい細胞活性化機構による病態の解析とその治療法の検討
米山　良昌	金沢大学医学部　第一生化学	ヘモグロビンM症の分子病理学 —ESR、赤外、共鳴ラマン、^{13}C-NMR分光による研究

平成3年度　第23回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒井　宏司	京都大学医学部　第二内科	ヒトのエンドセリン受容体cDNAおよびゲノムのクローニング
有賀　純	東京大学 医科学研究所	IP_3レセプターの構造と機能 —その組織特異性と発生における役割
池田　宇一	自治医科大学　循環器内科	急性心筋梗塞の発症・進展におけるサイトカインの関与 —インターロイキン6を中心に
乾　明夫	神戸大学医学部　第二内科	神経ペプチド受容体 —特にPPファミリーペプチド受容体の解析
今川　正良	東京大学医学部　第一生化学	トランスジェニックラットを用いたグルタチオン S-トランスフェラーゼ 遺伝子の発現調節機構および病態代謝研究への応用
遠藤　文夫	熊本大学医学部　小児科	ペプチダーゼD(プロリダーゼ)欠損症の分子生物学的研究
大久保博晶	熊本大学医学部 遺伝医学研究施設	K^+イオン・チャネル活性を有する新しい膜蛋白(Isk)の構造と 機能に関する研究
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	Src-family kinaseの活性制御因子として機能する 新しいチロシンキナーゼ(CSK)
小川　智	大阪大学医学部　第一内科	血管内皮細胞の低酸素ストレス応答に関する研究—血管内皮上に低酸素暴露によって誘導されるストレス蛋白(Oxygen regulated proteins, ORPs)の生理学的意義
貝淵　弘三	神戸大学医学部　第一生化学	癌遺伝子産物を介する遺伝子発現の制御機構
影山龍一郎	京都大学医学部 第二免疫研究施設	サブスタンスP前駆体遺伝子プロモーターに作用する転写遺伝子の解析
柏井　三郎	京都大学医学部　第一内科	アデノシン デアミナーゼ欠損重症複合免疫不全症の遺伝子異常の解析
片岡　徹	神戸大学医学部　第二生理学	酵母アデニル酸シクラーゼとRAS蛋白の相互作用の機構に関する研究
加藤　伸郎	京都大学医学部 脳神経研究施設	大脳皮質シナプス可塑性に関する薬理学的研究 —特にアラキドン酸代謝物に注目して
川畑俊一郎	九州大学理学部　生物学科	ビタミンK依存性血液凝固因子のプロセシング
川原　康洋	神戸大学医学部　第一内科	血管作動物質と増殖因子による血管平滑筋細胞の肥大、 増殖機構とその病態
吉川　潮	神戸大学医学部　第二生化学	δ-、ε-およびζ-プロテイン・キナーゼC分子種に関する研究
木下　誠	東京大学医学部　第一内科	動脈硬化症発症におけるコレステロールエステル転送蛋白と アポ蛋白Eの意義
佐伯　行彦	大阪大学医学部　第三内科	Severe Combined Immunodeficiency(SCID)マウスを用いた慢性関節リウマチ(RA)モデルの作製とそのモデルを用いたRAの病因・病態の解析
笹栗　俊之	国立循環器病センター研究所	増殖因子・増殖抑制因子による血管平滑筋細胞の増殖・分化の制御機構—特にその細胞内情報伝達系に関する生物学的・細胞生物学的あるいは分子生物学的研究
高橋　吉孝	徳島大学医学部　生化学	脳下垂体におけるアラキドン酸12—リポキシゲナーゼの生理的役割の検討
滝口　正樹	熊本大学医学部 遺伝医学研究施設	ステロイドレセプター・スーパーファミリーおよび CCAAT/enhancer binding protein(C/EBP)ファミリーに関する研究
瀧原　義宏	大阪大学 微生物病研究所	胚幹細胞を用いた細胞分化の制御機構の分子遺伝学的解析
千葉　滋	東京大学医学部　第三内科	GM-CSFレセプターを介する信号伝達系の解析
豊島　秀男	東京大学医学部　第三内科	造血器悪性腫瘍における癌抑制遺伝子の変異の関与の検討

研究者名	所属機関	研究テーマ
永井　尚生	大阪大学 細胞工学センター	DNA2次元電気泳動法による肝癌の遺伝子解析
永田　浩一	岐阜大学医学部　生化学	ヒト血小板の新規低分子量GTP結合タンパク質ram p25の機能と活性調節機構の解明
中西　真人	大阪大学 細胞工学センター	HVJ(センダイウイルス)を用いた生体への遺伝情報導入法の開発と遺伝的代謝異常疾患治療への応用
西　美幸	(財)癌研究会癌研究所	哺乳類の神経系発生における転写調節因子の役割の解析 —マウスモデルの作成およびそれを用いての機能の解析—
西田　淳二	自治医科大学　分子生物学	IL-5遺伝子の発現を制御する転写因子の精製とクローニング
橋本　康弘	(財)東京都臨床医学総合研究所	GM2合成酵素の精製とその遺伝子のクローニング
橋本　佳明	東京大学医学部　第一内科	受容体作動性カルシウムチャネルの活性化機構に関する研究
林　清二	大阪大学医学部　第三内科	ヒト小細胞肺癌のヌードマウスにおける腫瘤形成能を規定する因子の分子生物学的解析
古川　雄祐	自治医科大学 血液医学研究部門	造血器悪性腫瘍の増殖と分化における網膜芽細胞腫(RB)遺伝子およびCDC2遺伝子の役割
星田　四朗	大阪大学医学部　第一内科	虚血・再灌流心筋細胞障害の進展における活性酸素ラジカル代謝の意義 —血中活性酸素ラジカル測定法の開発とのその応用—
細井　孝之	東京大学医学部　老年病学	破骨細胞の分化と機能に関する研究
堀尾　嘉幸	大阪大学医学部　第二薬理学	ヒスタミンH_1レセプターの分子構造 —新しい抗ヒスタミン薬の創薬—
本田　和男	京都大学医学部　第二外科	PCR法を用いたHLA-DNAタイピングによる肝移植における組織適合性の検討
牧　正敏	京都大学 ウイルス研究所	内在性カルシウムチャンネル活性化因子としてのカルバスタチン新機能領域の同定
松島　照彦	筑波大学臨床医学系	アポ蛋白Eの生合成調節機構の解析 —遺伝子DNA転写因子の同定と精製
松田　文彦	京都大学 遺伝子実験施設	ヒト抗体遺伝子の多型性と免疫異常の連鎖に関する研究
間野　博行	東京大学医学部　第三内科	肝細胞特異的チロシンキナーゼと肝細胞癌の発生機序
三谷　絹子	東京大学医学部　第三内科	In situ Hybridizationによるヒト白血病の染色体構造異常の解析
南　康博	大阪大学 細胞工学センター	サイトカインシステムにおける細胞内情報伝達機構の解析
森井　成人	京都大学医学部　第一薬理学	rho遺伝子産物に特異的なGTPase活性化蛋白質(rho-GAP)の構造決定とこれに対する特異抗体の開発
八尾　寛	京都大学医学部　第一生理学	シナプス前終末のカルシウム電流の増強機序
谷内　一彦	東北大学医学部　第一薬理学	PET(ポジトロン・エミッション・CT)によるヒト脳の神経受容体測定 —新しいポジトロン標識薬剤の開発とその臨床応用
山田　信博	東京大学医学部　第三内科	LCAT欠損症の解析—特に分子遺伝学的異常について
湯尾　明	国立病院医療センター	インターロイキン8による好中球活性化とその機序
渡部紀久子	(財)大阪バイオサイエンス研究所	循環器系疾患におけるプロスタグランジンF合成酵素の役割

平成3年度　第23回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
飯利　太郎	東京工業大学 生命理工学部	細胞分化増殖因子の作用におけるGタンパク質の役割ADPリボシル化によるGタンパク質の機能修飾	カリフォルニア大学
稲垣　直之	大阪大学医学部 第二薬理学	脳内におけるBrain Derived Neurotrophilic Factor遺伝子の発現調節機構の解明	マックスプランク研究所
井上　裕康	国立循環器病 センター研究所	神経性血圧調節に関連した刺激伝達系酵素並びに神経性調節ペプチドホルモンの分子生物学的研究	テキサス大学
今井　康文	東京医科歯科大学 医学部　第一内科	造血Cytokineの産生機構の分子生物学的研究	カリフォルニア大学
金丸　和富	(財)東京都老人 総合研究所	βアミロイド前駆体蛋白のプロセシングにかかわるプロテアーゼの同定―アルツハイマー病におけるβアミロイドの沈着の機序の解析	ボストン大学
小崎　篤志	京都大学医学部 第二内科	インスリン作用における分子生物学的研究	カリフォルニア大学
田賀　哲也	大阪大学 細胞工学センター	真核細胞の増殖制御機構の解析 ―特にDNA腫瘍ウイルス蛋白(E1A)、網膜芽細胞腫遺伝子蛋白(Rb)および細胞周期関連蛋白(CDC2)からのアプローチ	ハーバード大学
高田祥一郎	神戸大学医学部 第三内科	腎臓糸球体内皮細胞およびメサンギウム細胞由来血管作動性物質による水電解質代謝制御に関する研究	ハーバード大学
内藤　嘉之	京都大学医学部 集中治療部	Cellular Mechanism of The Response of Neuroendocrine Organs to Cytokines	米国・DNAX研究所
中村　陽一	徳島大学医学部 第三内科	細胞分子生物学的手法による呼吸器疾患の病態解析	ネブラスカ大学
名取　省一	九州大学医学部 第三内科	Neuroendocrine Physiology in Chromograin B-deficient Mice Established by Homologous Recombination Technology Using Embryonic Stem Cells	ハイデルベルグ大学
深川　雅史	東京大学医学部 第一内科	慢性腎疾患の発症機序に関する研究	ヴァンダービルト大学
福永　恵	大阪大学医学部 第一内科	慢性腎炎進展におけるエイコサノド、ロイコトリエンの役割の検討	ヴァンダービルト大学
宮川　清	東京大学医学部 第三内科	ウィルムス腫瘍遺伝子の正常発生および発癌における生物学的機能の解明	国立研究所・UK
向山　政志	京都大学医学部 第二内科	レニン・アンジオテンシン系による血管機能・循環調節の分子機序の解明とその遺伝子治療への応用に関する研究	スタンフォード大学
横田　直人	宮崎医科大学 第一内科	心臓におけるナトリウム利尿ペプチドの合成、分泌調節機構の解明	オッタワ大学

平成4年度　第24回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青木　延雄	東京医科歯科大学医学部 第一内科	血管内皮細胞thrombomodulinの発現調節機構
稲垣千代子	関西医科大学　薬理学	脳クロライドイオンポンプの分子構築
今井　正	自治医科大学　薬理学	ネフロンにおけるカルシウム輸送の細胞機序とホルモン薬物による制御
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	心室より分泌される心臓ホルモンとしてのBNPの生理的並びに臨床的意義に関する分子生物学的研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	動物毒に含まれる出血性と血栓性プロテアーゼ族の構造―機能相関の解析
内山　卓	京都大学 ウイルス研究所	ATL細胞のin vivo増殖機構の研究
大久保博晶	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	タキキニンペプチド受容体の構造と機能に関する研究
小澤　和恵	京都大学医学部　第二外科	Redox理論の確立と発展 ―肝移植における肝細胞酸素化と肝細胞内ミトコンドリアの酸化過程の研究
勝沼　信彦	徳島文理大学 健康科学研究所	皮膚角質層形成におけるプロテアーゼインヒビターCystain α 燐酸化の意義
神奈木玲児	愛知県がんセンター	細胞接着における糖鎖抗原の役割に関する研究
岸本　忠三	大阪大学 細胞工学センター	インターロイキン6の信号伝達を担う蛋白 gp130に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
北　　徹	京都大学医学部　老年医学	動脈硬化発症機構および進展抑制に関する研究 —LDLことにその構造蛋白アポB-100を中心に
木幡　陽	東京大学 医科学研究所	免疫グロブリンG糖鎖の機能と病変
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	糖鎖遺伝子情報解析に基づく生理活性糖鎖発現と白血病細胞の分化 およびアポトーシス
杉崎　徹三	昭和大学医学部　腎臓内科	マウスchronic graft versus host reaction（GVHR）による実験的ループス腎炎 の発症機序に関する研究
杉村　隆	国立がんセンター研究所	ヒト型一酸化窒素合成酵素遺伝子クローニングと特異抗体作製
鈴木　明身	（財）東京都臨床医学総合研究所	癌胎児性抗原（HD抗原）の発現制御の解析
鈴木　義之	（財）東京都臨床医学総合研究所	遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の分子病理学的研究
清野　裕	京都大学医学部　病態栄養部	糖尿病の成因における糖輸送担体の分子生物学的研究解明
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	疾患モデル動物“CTX”の作製と病態解析
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	低分子量G蛋白質の機能、活性化機構および作用機構
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	発作性夜間血色素尿症における溶血機序の解析
竹田　美文	京都大学医学部　微生物学	グァニレートシクラーゼを活性化する低分子ペプチド下痢原性毒素の レセプターの研究
武部　啓	京都大学医学部 放射能基礎医学	ヒト細胞の遺伝子変異におけるDNA修復機構の役割
多田　啓也	東北大学医学部　小児科学	高グリシン血症の病態・病因の解明
多田　富雄	東京大学医学部　免疫学	$CD4^+$T細胞由来の抗体産生抑制因子（IAF）の構造と機能
谷口　維紹	大阪大学 細胞工学センター	造血系細胞の癌化とその抑制に関与する核内因子
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	Superoxide Dismutaseの病態生化学：不活性化と発現機構
遠山　正彌	大阪大学医学部　第二解剖学	神経伝達の不活性化機序の分子基盤
富永　眞一	自治医科大学　第二生化学	細胞増殖開始過程で特異的に発現される新しい受容体型ST2L cDNAの クローニング
中尾　一和	京都大学医学部　第二内科	新しい血管内皮由来弛緩因子としてのCNPの意義に関する研究 —血管壁ナトリウム利尿ペプチド系の存在—
中西　重忠	京都大学医学部 第二免疫研究施設	グルタミン酸受容体の機能に関する分子生物学的研究
成宮　周	京都大学医学部　薬理学	プロスタグランジン受容体の構造決定
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	Protein Kinase Cによる細胞膜情報伝達機構に関する研究
早石　修	（財）大阪バイオサイエンス研究所	睡眠調節における「セロトニン仮説」の再検討 —プロスタグランジンはセロトニン仮説を説明し得るか？
平井　久丸	東京大学医学部　第三内科	がん抑制遺伝子を用いた白血病の遺伝子治療法の研究
平野　俊夫	大阪大学医学部バイオメディカル 教育研究センター	免疫系、血液系、神経系に共通な膜受容体構成分子を介する シグナル伝達機構の研究
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	多機能性カルモデュリン依存性プロテインキナーゼによる 中枢神経機能の調節
本庶　佑	京都大学医学部　第一医化学	プログラムされた細胞死（programmed cell death）の分子機構の研究
松尾　壽之	国立循環器病センター研究所	C型ナトリウム利尿ペプチド（CNP）におけるリガンド・受容体相互作用の研究
松田　道生	自治医科大学 血液医学研究部門	血栓症の成因と病態—特に血液凝固とその制御機構障害への 分子生物学的アプローチ

研究者名	所属機関	研究テーマ
三浦　恭定	自治医科大学 血液医学研究部門	未分化ヒト造血幹細胞の特性と臨床への応用
御子柴克彦	東京大学 医科学研究所	小脳における高次機能発現の分子機構の解析
三品　昌美	新潟大学 脳研究所	クローン化したNMDA受容体チャネルを用いたNMDA遮断薬の作用機構に関する研究
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	古典型ピルビン酸キナーゼ異常症の病因解明；赤芽球系細胞におけるR型ピルビン酸キナーゼの発現調節機構の検討
山村　研一	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	遺伝子トラップ法による発生関連遺伝子の単離
山村　博平	福井医科大学　第二生化学	非受容体型蛋白質チロシン残基燐酸化酸素(チロシンキナーゼ)p72sykの細胞内情報伝達系における役割およびその生理的機能の研究
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	アラキドン酸12—リポキシゲナーゼの分子病態学的研究
淀井　淳司	京都大学 ウイルス研究所	成人T細胞白血病由来因子(ATL-derived factor;ADF)／ヒトチオレドキシンの生体防御多機能—特に活性酸素による細胞障害に対する防御作用およびその臨床応用の検討
渡辺　毅	東京大学医学部　第一内科	ネフロンの液性因子による機能調節機構の細胞生物学的、分子生物学的検討

平成4年度　第24回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
審良　静男	大阪大学 細胞生体工学センター	IL-6シグナルによる転写因子NF-IL6のリン酸化
阿部　訓也	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	マウスモデルを用いた優性遺伝病発症機構の発生遺伝学的解析
荒井　宏司	京都大学医学部　第二内科	ヒトのエンドセリン受容体遺伝子のクローニングと遺伝子構造および遺伝子発現調節機構の解析
生田　宏一	東京大学医学部 疾患遺伝子制御	増血幹細胞の分化・増殖機構—胎生期造血器官の膜型チロシンキナーゼ遺伝子の解析
池中　一裕	大阪大学 蛋白質研究所	レトロウイルスを用いた組織特異的強制発現による遺伝子治療の検討
乾　明夫	神戸大学医学部　第二内科	多機能型脳室ファイバースコープを用いた新たな視床下部性病態モデル動物作製の試み
井上　雅史	関西医科大学　薬理学	新規モデル“エタクリン酸誘発けいれん重積状態”の解析—神経細胞「クロライドポンプ」の生理的意義の解明
今川　重彦	自治医科大学 血液医学研究部門	ヒトエリスロポエチン遺伝子の発現調節機構の研究
大田　雅嗣	自治医科大学 血液医学研究部門	造血幹細胞の自己複製、増殖、分化の方向を決定する造血環境要員の同定—骨髄再構成にかかわる細胞外マトリックスおよび細胞接着因子の解析
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	Srcファミリーキナーゼの機能とその制御機構
小野　功貴	神戸大学理学部　生物学科	CHO細胞系に発現させたプロテイン・キナーゼC各分子種の生物学的機能に関する研究
貝淵　弘三	神戸大学医学部　第一生化学	ras p21を介する遺伝子発現の制御機構
影山龍一郎	京都大学医学部　免疫研究施設	哺乳類の神経分化に関与する新たな転写制御因子群の解析
片岡　徹	神戸大学医学部　第二生理学	Ras癌遺伝子産物の生理活性におけるファルネシル化の意義
川原　康洋	神戸大学医学部　第一内科	血管平滑筋細胞の収縮、増殖・肥大機構における低分子量GTP結合蛋白質の役割とその病態
吉川　潮	神戸大学 バイオシグナル研究センター	新種プロテイン・キナーゼC分子種に関する研究
木下　誠	東京大学医学部　第一内科	コレステロールエステル転送蛋白の活性部位の検討とその脂質転送機構の解明
倉園　久生	京都大学医学部　微生物学	コレラ菌(Vibrio cholerae)の産生する新しい下痢原因毒素、Zot(toxin for zonula occludens)の精製と解析

研究者名	所属機関	研究テーマ
小松　則夫	自治医科大学 血液医学研究部門	エリスロポエチン刺激により特異的に誘導されるチロシンリン酸化蛋白質の解析
斎藤　尚亮	神戸大学医学部　薬理学	海馬長期増強におけるプロテインキナーゼCサブタイプの役割に関する研究
佐伯　行彦	大阪大学医学部　第三内科	多発性硬化症Multiple Sclerosis(MS)におけるT細胞をターゲットとした特異的免疫療法の開発
堺　　隆一	自治医科大学　分子生物学	腫瘍細胞株におけるcrk結合蛋白質の解析
坂本　和一	(財)大阪バイオサイエンス研究所	慢性痛におけるプロスタグランジンの関与とその作用機序
笹栗　俊之	国立循環器病センター研究所	血管平滑筋細胞および内皮細胞の増殖制御機構 —特にその細胞内情報伝達に関する研究
清水　本武	(財)東京都臨床医学総合研究所	担癌生体のCD4⁺T細胞機能の回復による抗癌作用の増強
下濱　　俊	京都大学医学部　神経内科	アルツハイマー病脳内蓄積物質とイノシトールリン脂質代謝異常
杉本　利嗣	神戸大学医学部　第三内科	骨における細胞間情報伝達および骨芽細胞、破骨細胞の分化機序に関する研究
滝口　正樹	熊本大学医学部　分子遺伝学	ステロイドレセプター・スーパーファミリーに属する転写調節因子の機能分担に関する研究
田中　信之	大阪大学 細胞生体工学センター	サイトカインシグナルを制御する因子の同定
谷口　茂夫	東京大学医学部　第一内科	血小板活性化因子の腎における生理学的、病態生理学的意義に関する細胞生物学的、分子生物学的検討
谷口　淳一	自治医科大学　薬理学	接合尿細管のCa透過性チャネル—Ca代謝における役割
谷口　隆信	福井医科大学　第二生化学	新しい非受容体蛋白質チロシンキナーゼp72sykの細胞内情報伝達における位置およびその生理的機能の解析
千葉　　滋	東京大学医学部　第三内科	GM-CSFおよびIL-3刺激による細胞内信号伝達機構の解析
鍔田　武志	京都大学医学部　第一医化学	抗原レセプターからのシグナルによる成熟B細胞のプログラム死の分子機構の研究
豊島　秀男	東京大学医学部　第三内科	新しい造血細胞特異的チロシンキナーゼ型受容体遺伝子ltkの機能の解析
中里　雅光	宮崎医科大学　第三内科	アルツハイマー病の発症因子としてのgrowth inhibitory factor(GIF)の蛋白化学・分子生物学的研究
中嶋　弘一	大阪大学医学部 バイオメディカル教育研究センター	IL-6による遺伝子転写活性化シグナルの解明
中西　真人	大阪大学 細胞生体工学センター	HVJ(センダイウイルス)を用いた生体への遺伝情報導入法の開発と遺伝的代謝異常疾患治療への応用
橋本　康弘	(財)東京都臨床医学総合研究所	GM1ガングリオシドの機能解析
福井　　清	国立循環器病センター研究所	血圧･体液調節因子の遺伝子構造とその機能発現に関する分子生物学的研究
古市　貞一	東京大学 医科学研究所	イノシトール3リン酸リセプターチャネルの構造・機能相関に関する研究
古川　雄祐	自治医科大学 血液医学研究部門	Transforming growth factor-βによる網膜芽細胞腫(RB)遺伝子産物の脱リン酸化と癌細胞増殖抑制機序の解明
細谷　浩史	(財)東京都臨床医学総合研究所	細胞分裂期におけるダイナミン(微小管化タンパク質)リン酸化の役割について
堀　　利行	京都大学 ウイルス研究所	レドックス調節機構によるT細胞のチロシン燐酸化反応制御
堀井　俊宏	大阪大学 微生物病研究所	人工合成遺伝子による寄生原虫ジヒドロ葉酸還元酵素の単離精製とドラッグデザインによる抗マラリア剤の開発
本田　和男	京都大学医学部　第二外科	HLA-DNAタイピングによる肝移植における組織適合性の検討
牧　　正敏	京都大学 ウイルス研究所	カルパインのカルモジュリン様ドメインとカルパスタチンとのカルシウム依存的相互作用の解析
間野　博行	東京大学医学部　第三内科	新規チロシンキナーゼ、tecの造血細胞における機能の解析

研究者名	所属機関	研究テーマ
三室　淳	自治医科大学 血液医学研究部門	プラスミノゲンアクチベータ レセプターの分離、精製およびcDNAクローニング
森　泰生	京都大学医学部　第一医化学	脳カルシウムチャンネルに関する分子生物学的、病態的研究
森井　成人	京都大学医学部　第一薬理学	細胞接着および細胞骨格形成におけるrho遺伝子産物の機能の解明
八尾　寛	京都大学医学部　第一生理学	シナプス前終末における伝達物質放出可塑性の細胞機序に関する研究
柳瀬　敏彦	九州大学医学部　第三内科	先天性副腎過形成コレステロール側鎖切断酵素(SCC)欠損症のP450scc遺伝子解析と病因の解明
湯尾　明	国立病院医療センター	ヒト単球の活性化における細胞内刺激伝達機構の解析

平成4年度　第24回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
赤城　究	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	血液細胞の分化と癌化の遺伝的制御	オランダ癌研究所
岡本　卓	東京大学医学部 第四内科	増殖因子受容体とG蛋白の共役機構の解明とそれに基づく制癌法の創成	ハーバード大学
川西　健登	京都大学医学部 神経内科	ヒトレトロウイルスの神経疾患における病因的関与についての研究	ミネソタ大学
菊池　章	神戸大学医学部 第一生化学	細胞増殖におけるチロシンキシナーゼの機能と作用機構	カリフォルニア大学
木下　茂美	大阪大学 細胞生体工学センター	自己免疫疾患における$\gamma\delta$T細胞の役割	スタンフォード大学
小林　英司	自治医科大学 大宮治療センター	臓器移植に起因する免疫・代謝の研究 —特に肝移植が誘導する免疫反応の解析	クィーンズランド大学
佐藤　康二	大阪大学医学部 バイオサイエンス教育研究センター	中枢神経におけるアミノ酸神経伝達異常に関する研究 —特にグリシン受容体およびグリシントランスポーターの分子解析	マックスプランク研究所
土田　邦博	京都大学医学部 免疫研究施設	ペプチド性増殖因子であるインヒビター／アクチビンの受容・作用機構の解明	ソーク生物学研究所
唐渡　雅行	名古屋大学医学部 第一内科	P^{53}遺伝子のプロモーターおよびエンハンサーの解析 —クローニングおよび発現機構の解明	ルードヴィッヒ癌研究所
永田　浩一	岐阜大学医学部 生化学	癌遺伝子産物ras p21の細胞内活性調節機構とリン脂質代謝との関連性の解明	クリーブランド臨床財団
長野　豊	京都大学医学部 老年医学	vascular biologyにおける増殖因子の関与 —特にbFGF、TGF-βについて	ニューヨーク大学
中村晃一郎	東京大学医学部 皮膚科	皮膚ケラチノサイトのIL-1α、IL-6産生機構およびその作用機序の分子生物学的研究	ハーバード大学
並河　徹	島根医科大学 臨床検査医学	遺伝子多型性を利用した本態性高血圧および脳卒中遺伝子の検索	仏・ヒト遺伝子多型研究センター
二川　健	徳島大学 酵素科学研究センター	慢性関節リウマチと活性酸素—活性酸素による関節組織マトリックス蛋白質の変性	独・生理化学研究所
長谷川泰弘	国立循環器病センター研究所	興奮性アミノ酸による脳障害の進展に関する基礎的研究	マサチューセッツ大学
福永理己郎	(財)大阪バイオサイエンス研究所	哺乳類サイクリン依存性プロテインキナーゼ群の研究	ソーク生物学研究所
細田　公則	京都大学医学部 第二内科	遺伝子工学的手法を用いたエンドセリンの病態生理的意義の解明	米国・分子遺伝学研究所
前川　久登	東京大学医学部 第一内科	血液内皮細胞と血液凝固、線溶蛋白もしくはvitronectineとのinteraction	ワシントン大学
宮武　伸一	京都大学医学部 脳神経外科	悪性脳腫瘍に対する遺伝子治療 —ウイルス変異株を用いて—	ジョージタウン大学
山上　裕機	和歌山県立医科大学 消化器外科	腫瘍関連抗原の遺伝子移入によるrecombinant vaccinia virusを用いたtumor vaccination	米国・国立癌センター

平成5年度　第25回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
朝倉　伸司	自治医科大学 血液医学研究部門	新しい細胞接着抑制分子の発見と癌転移抑制の解析並びに neuron axonal outgrowth に及ぼす効果の検討
浅野　喜博	東京大学医学部　免疫学	自己反応性TCRトランスジェニックマウスにみられる新しい自己寛容の機構
飯野　正光	東京大学医学部　薬理学	血管壁内 単一平滑筋細胞の共焦点画像解析法による血管トーヌス制御機構の解析
池中　一裕	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	グリオーマ特異的遺伝子発現に基づく悪性グリオーマ選択的治療法の開発
市川　厚	京都大学薬学部　衛生化学	プロスタグランジン受容体の構造と機能
伊藤　和彦	京都大学医学部　輸血部	アデノシンデアミナーゼ欠損重症複合免疫不全症の遺伝子治療の研究
稲垣千代子	関西医科大学　薬理学	中枢神経細胞におけるクロライドイオンポンプの発現
今井　正	自治医科大学　薬理学	ネフロンのカルシウム輸送の細胞機序とカルシウムによるイオン輸送制御
井廻　道夫	自治医科大学　消化器内科	慢性C型肝炎の免疫学的発症機序の研究
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	ナトリウム利尿ペプチドファミリーの臨床的意義に関する分子生物学的研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	動物毒に含まれる血栓性プロテアーゼ族の構造と機能相関の解析
内山　卓	京都大学 ウイルス研究所	ATL細胞のin vivo増殖機構の研究
小澤　和惠	滋賀医科大学	Redox理論のさらなる発展 —肝細胞酸素化と肝細胞内heterogeneityに関する研究
勝沼　信彦	徳島文理大学 健康科学研究所	Cathepsin B による抗原プロセッシングとMHC class Ⅱへの提示機構
神奈木玲児	愛知県がんセンター研究所	細胞接着活性をもつ糖鎖抗原の発現調節に関する研究
岸本　忠三	大阪大学医学部　第三内科	複数のサイトカインに共通の信号伝達蛋白gp130の遺伝子ターゲッティング
北　徹	京都大学医学部　老年医学	正常およびLDL受容体欠損培養肝細胞を用いたアポ蛋白B-100合成・分泌の分子制御機序に関する研究
木戸　博	徳島大学 酵素科学研究センター	インフルエンザウイルスの感染機序の解明と感染を抑制する気道分泌液内の阻害物質の研究
黒川　清	東京大学医学部　第一内科	高血圧ラット由来の培養メサンギウム細胞に関する検討
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	造血系細胞の分化、悪性化におけるcdc2ファミリー遺伝子と細胞外マトリックス糖蛋白テネイシン遺伝子の役割
島田　和幸	自治医科大学　循環器内科	血管内皮表面ヘパリン様糖鎖の生合成機序
杉崎　徹三	昭和大学医学部　腎臓内科	ループス腎炎の発症機序に関する研究 —マウスchronic graft versus host reaction(GVHR)モデル
鈴木　義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の分子病理学的研究
清野　裕	京都大学医学部　病態栄養学	ソマトスタチンによるインスリン分泌抑制機構の分子生物学的解明
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	CTX(脳腱黄色腫)の遺伝子解析と診断
高井　義美	神戸大学医学部　第一生化学	低分子量G蛋白質の生理機能と作用機構
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	発作性夜間血色素尿症の病態と糖鎖発現異常
竹内　利行	群馬大学 内分泌研究所	ガストリンによる胃粘膜肥厚作用と前癌状態 —ガストリン遺伝子導入マウスを用いた研究
竹田　美文	京都大学医学部　微生物学	コレラ菌の新しい下痢原性毒素と考えられる膜蛋白 zonula occludens toxin の精製と性状解明
多田　啓也	東北大学医学部　小児科学	高グリシン血症の病態代謝並びに発症機構の解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
谷口 維紹	大阪大学 細胞生体工学センター	IRF-1、IRF-2による細胞の癌化とその抑制機構
谷口 直之	大阪大学医学部 生化学	Superoxide Dismutaseの不活性化と発現の病態的意義
寺田 雅昭	国立がんセンター研究所	がんにおける遺伝子増幅の意義
永井 良三	東京大学医学部 第三内科	血管平滑筋細胞の増殖と分化に関わる転写因子の解析
中尾 一和	京都大学医学部 第二内科	ヒトのエンドセリン受容体ファミリーの臨床応用に関する分子生物学的研究
中西 重忠	京都大学大学院 医学研究科生体情報科学	グルタミン酸受容体の機能と調節に関する分子生物学的研究
成宮 周	京都大学医学部 薬理学	プロスタグランジン受容体の構造決定
西塚 泰美	神戸大学医学部 第二生化学	細胞内情報伝達のネットワークに関する研究
早石 修	(財)大阪バイオサイエンス研究所	プロスタグランジンD_2による睡眠誘発の作用機構 —作用部位と合成酵素の局在に注目して
平井 久丸	東京大学医学部 第三内科	自家骨髄移植を利用したDual Marker-Retrovirus Mediated Gene Transferによる白血病の遺伝子治療モデルの検討
平野 俊夫	大阪大学医学部 バイオメディカル教育研究センター	免疫異常の分子機構の解明
本庶 佑	京都大学医学部 第一医化学	Bリンパ球におけるプログラム死(アポトーシス)を制御する遺伝子の単離
松尾 壽之	国立循環器病センター研究所	ヒト培養細胞が産生する血管作動性物質の検索
三浦 恭定	自治医科大学 血液学	ヒト造血幹細胞の分化の分子レベルでの変化と造血異常疾患の病態解明
御子柴克彦	東京大学 医科学研究所	イノシトール3リン酸レセプターの構造と機能の解析
三品 昌美	新潟大学 脳研究所	NMDA受容体チャネルの分子的多様性と薬理特性に関する研究
三輪 史朗	(財)冲中記念成人病研究所	赤血球酵素異常による遺伝性溶血性貧血症例における多臓器障害の病因解明
森 正敬	熊本大学医学部 分子遺伝学	先天性高アンモニア血症の遺伝子解析と遺伝子治療の基礎研究
山村 研一	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	哺乳類発生の分子機構
山村 博平	福井医科大学 第二生化学	非受容体型蛋白質チロシン残基燐酸化酵素(チロシンキナーゼ)p72sykの生理的機能および病態における作用
山本 尚三	徳島大学医学部 生化学	アラキドン酸12 リポキシゲナーゼの生理的意義
吉田 尚	千葉大学医学部 第二内科	ヒトインスリン感受性cAMP分解酵素の遺伝子クローニングとその応用
淀井 淳司	京都大学 ウイルス研究所	ストレス反応における成人T細胞白血病由来因子(ATL-Derived Factor; ADF)／ヒトチオレドキシンの発現調節における分子機構

平成5年度 第25回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒井 宏司	京都大学医学部 第二内科	エンドセリン受容体の病態生理的意義に関する分子生物学的研究—ヒトエンドセリン受容体の遺伝子発現調節機構の解析と新しいサブタイプのクローニング
伊藤 孝司	(財)東京都臨床医学総合研究所	遺伝子工学による多機能性糖蛋白質欠損症の治療に関する基礎的研究
伊藤 裕	京都大学医学部 第二内科	血管壁ナトリウム利尿ペプチド系とレニン・アンジオテンシン系の相互作用の臨床的意義と遺伝子治療への応用に関する研究
稲津 哲也	福井医科大学 第二生化学	非受容体型蛋白質チロシン残基燐酸化酵素p72sykの関連遺伝子群の同定

研究者名	所属機関	研究テーマ
乾　明夫	神戸大学医学部　第二内科	過食・肥満を伴う新しいトランスジェニックモデル動物の作製
今川　重彦	自治医科大学　血液学	エリスロポエチン遺伝子の発現調節におけるGATA因子の負の制御機構
岩城　明子	九州大学 遺伝情報実験施設	神経変性疾患の封入体形成における α B-クリスタリンの役割
内田　信一	東京医科歯科大学医学部 第二内科	中枢神経系に豊富に発現するクロライドチャネル(CIC-3)の病態への 関与について
大坂　寿雅	(財)大阪バイオサイエンス研究所	睡眠の神経機構におけるプロスタグランジンとノルアドレナリン
大田　雅嗣	自治医科大学 血液医学研究部門	骨髄間質系細胞：造血幹細胞情報伝達における機能糖鎖の役割
岡田　雅人	大阪大学 蛋白質研究所	Srcファミリーキナーゼの発生、分化、がん化における役割と その機能調節
小川　智	大阪大学医学部　第一内科	中枢神経系の虚血ストレス応答の解明 —グリア細胞由来oxygen ragulated protein の精製クローニングを通じて
小野　功貴	神戸大学理学部　生物部	新規蛋白質リン酸化酵素の構造と機能に関する研究
貝淵　弘三	神戸大学医学部　第一生化学	Ras-MAPキナーゼ・カスケードを介する遺伝子発現の制御機構
影山龍一郎	京都大学大学院　医学研究科	哺乳類の神経分化に関与するHES転写制御因子群の解析
片岡　徹	神戸大学医学部　第二生理学	ras癌遺伝子産物の生理活性におけるファルネシル化の意義
加藤　伸郎	京都大学医学部 認知行動脳科学	細胞内カルシウム代謝とシナプス伝達効率調整
神奈木真理	熊本大学医学部　感染防御学	ヒトT細胞白血病細胞のCTL認識抗原の検索
吉川　潮	神戸大学 バイオシグナル 研究センター	プロテインキナーゼC δ 分子種に関する研究
小松　則夫	自治医科大学 血液医学研究部門	エリスロポエチン細胞内情報伝達機構：エリスロポエチンによるエリスロポエチン受容体のチロシンリン酸化現象の意義およびそのメカニズムの解析
斎藤　尚亮	神戸大学医学部　薬理学	プロテインキナーゼC分子種によるグルタミン酸トランスポーターの 制御についての研究
佐々木　光	東京大学医学部　第三内科	ヒトGM-CSF受容体を介した情報伝達に関与する チロシンキナーゼの純化、同定および生理的意義、疾患との関連の検討
笹栗　俊之	国立循環器病センター研究所	血管平滑筋・内皮細胞の増殖制御における情報伝達機構 —プロテインキナーゼCの機能を中心に
下澤　伸行	岐阜大学医学部　小児科	遺伝性ペルオキシソーム欠損症の病態解明に関する研究
下濱　俊	京都大学医学部　神経内科	アルツハイマー病脳内蓄積物質とイノシトールリン脂質代謝異常
関　常司	東京大学医学部　第一内科	腎近位尿細管基底側膜のクロライドチャンネルの生理的意義についての 解析
高橋　幸成	京都大学 遺伝子実験施設	胸腺無形成マウス(ヌードマウス)の原因遺伝子の単離と解析
滝口　正樹	熊本大学医学部　分子遺伝学	転写調節因子群の協調による肝臓選択的転写の規定機構
中嶋　弘一	大阪大学医学部 バイオメディカル 教育研究センター	IL-6シグナル伝達機構の解明—新たなシグナル伝達路により 活性化される転写因子の同定と活性化機序の解明
中西　真人	大阪大学 細胞生体工学センター	HVJ(センダイウイルス)を用いた生体への遺伝情報導入法の開発と 遺伝的代謝異常疾患治療への応用
橋本　康弘	(財)東京都臨床医学総合研究所	コレラトキシンBサブユニット遺伝子を導入した哺乳動物細胞の 細胞生物学的研究；GM1ガングリオシドの機能の解明
花園　豊	東京大学医学部　第三内科	GM-CSFのチロシンキナーゼを介する細胞内情報伝達機構
林　清二	大阪大学医学部　第三内科	サイトカインおよびその受容体遺伝子導入による間質性肺炎モデル動物の作製
福井　清	国立循環器病センター研究所	新しい血圧・体液調節系因子に関する分子生物学的研究 —レニン結合蛋白質とD-アミノ酸酸化酵素の構造と機能

研究者名	所属機関	研究テーマ
古川 雄祐	自治医科大学 血液医学研究部門	血液細胞の分化悪性化におけるcdc2ファミリー細胞周期調節遺伝子の役割
堀 利行	京都大学 ウイルス研究所	T細胞におけるシスチン代謝の分子機構
堀井 俊宏	大阪大学 微生物病研究所	人工合成遺伝子による寄生原虫ジヒドロ葉酸還元酵素の単離精製とドラッグデザインによる抗マラリア剤の開発
本田善一郎	東京大学医学部 物療内科	G蛋白質によって活性化されるチロシンキナーゼの同定
牧 正敏	京都大学 ウイルス研究所	カルパインのカルパスタチン認識機構
松島 照彦	筑波大学 臨床医学系内科学	リポ蛋白(a)代謝の分子生物学的研究 —カニクイザルを用いたLp(a)合成、分泌と異化の解析
三浦 修	東京医科歯科大学 第一内科	エリスロポエチンレセプターからの蛋白質チロシンリン酸化を介した細胞内刺激伝達機構の解析
水野 健作	九州大学理学部 生物学科	肝細胞増殖因子(HGF)の活性化機構の解析
三谷 絹子	東京大学医学部 第三内科	t(3;21)転座による慢性骨髄性白血病急性転化機構の解析
宮脇 敦史	東京大学 医科学研究所	イノシトールリン脂質代謝による細胞内カルシウム動態調節機構の解析
森 寿	新潟大学 脳研究所	シナプス可塑性の制御機構
森井 成人	京都大学医学部 第二薬理学	rho遺伝子産物を介する細胞接着・細胞骨格形成・細胞増殖の制御機構の解明
山崎 力	東京大学医学部 第三内科	血行力学的負荷に応答する心筋特異的な情報伝達系の解析 —心肥大形成におけるリン酸化酵素カスケードの役割
弓場 俊輔	大阪大学 細胞生体工学センター	ジーンターゲッティング法によって作成したA群色素性乾皮症モデルマウスに対する遺伝子治療実験

平成5年度 第25回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
荒木 敏之	大阪大学医学部 第二解剖学	神経系における部位特異的発生段階特異的な遺伝子発現の制御機構の解明	ワシントン大学
井上 元	京都大学医学部 第二内科	Insulin signal transduction and genetic defects leading to the development of Type2 diabetes	ジョスリン糖尿病センター
今高 寛晃	京都大学 ウイルス研究所	神経細胞における遺伝子発現の翻訳段階での調節	マックギル大学
改正 恒康	大阪大学医学部 バイオメディカル教育研究センター	骨髄内Bリンパ球発生、分化に関与する骨髄微小環境因子の解明	ケルン大学
川口 義彦	大阪大学医学部 老年病医学	Ⅰ型糖尿病発症遺伝子に関する分子遺伝学的研究	オックスフォード大学
楠原 正俊	国立がんセンター 研究所	血管平滑筋の分化・増殖機構 —血管作動性物質とその細胞内刺激伝達機構の解明	エモリー大学
佐倉 宏	東京大学医学部 第三内科	電気生理学および分子生物学的手法を用いた膵臓ランゲルハンス島β細胞からのインスリン分泌機構に関する研究	オックスフォード大学
笹井 芳樹	京都大学医学部 免疫研究所施設	脊推動物(哺乳類および両生類)の初期神経発生を制御する因子の分子生物学・発生工学的研究	カリフォルニア大学
杉本 耕一	東京大学医学部 第三内科	細胞増殖刺激による染色体構造の変化の制御	ジュネーブ大学
高橋 淳	京都大学 ウイルス研究所	無細胞系を用いた細胞死(apoptosis)の機序に関する研究	ジョンズ ホプキンス大学
高橋 吉孝	徳島大学医学部 生化学	ヒト副腎皮質におけるステロイド水酸化酵素としてのチトクロームP-450遺伝子の発現調節機構の解明	ヴァンダービルト大学
谷口 隆信	福井医科大学 第二生化学	Wilms腫瘍遺伝子WT1の発現調節	オタゴ大学
千葉 滋	東京大学医学部 第三内科	造血および白血病化におけるホメオボックス遺伝子DI x -1の役割の解析	エール大学

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
鄭　文玉（てい　ふんぎょく）	大阪大学医学部 生化学	癌細胞の薬剤耐性におけるグルタチオンの役割について	コーネル大学
遠山　洋一	東京慈恵会医科大学 第二外科	肝移植および小腸移植に関する研究	ピッツバーク大学
豊島　秀男	東京大学医学部 第三内科	細胞増殖の停止および開始に関与する細胞周期の制御因子のG1サイクリンを中心とした解析	米国・ソーク研究所
中村　郁夫	東京大学医学部 第三内科	genetic therapy of chronic hepadnavirus infection in the woadchuck model	ジョージタウン大学
野入　英世	東京大学医学部 第一内科	急性尿細管壊死発症時における接着因子の関与とRGD配列(-Arg-Gly-Asp)による治療	ニューヨーク州立大学
藤田　英明	九州大学薬学部 生理化学	細胞内蛋白質輸送の基礎研究を通じて先天性代謝異常(リソゾーム酸素異常症)の分子機構を解明する	ジョンズ ホプキンス大学
堀内　久徳	神戸大学医学部 第一生化学	細胞内小胞輸送の制御機構の解明	ヨーロッパ分子生物学研究所
盛田　俊介	東京大学医学部 第三内科	エンドセリン遺伝子をターゲットとした遺伝子治療についての検討	ハーバード大学
森田　昌雄	京都大学医学部 小児科	好酸球の分化や活性化における情報伝達機構の解析	リール・パストゥール研究所
湯川　和典	大阪大学 細胞生体工学センター	学習と記憶の分子メカニズムの解明	コロンビア大学

平成6度　第26回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
浅野　喜博	東京大学医学部　免疫学	免疫調節細胞による免疫応答制御の分子機構
池中　一裕	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	グリオーマ特異的遺伝子発現に基づく悪性グリオーマ選択的治療法の開発
磯部　光章	信州大学医学部　第一内科	抗接着分子抗体による免疫寛容誘導の分子機構の解明
稲垣千代子	関西医科大学　薬理学	クロライドイオンポンプの活性化機構
今井　正	自治医科大学　薬理学	ネフロンのカルシウム輸送の細胞機序とカルシウムによる情報伝達系を介する輸送制御
井廻　道夫	自治医科大学　肝臓病態	C型肝炎ウイルス特異的細胞障害性T細胞株の樹立とその解析
井村　裕夫	京都大学医学部　第二内科	心臓血管ホルモンの臨床的意義に関する分子生物学的研究
岩永　貞昭	九州大学理学部　生物学科	外因系血液凝固の開始反応機構の研究 —Ⅶ因子と組織因子の分子間相互作用部位の解析
上田　國寛	京都大学 化学研究所	アルツハイマー病患者の遺伝子解析 —アミロイドβ蛋白前駆体遺伝子とアポリポ蛋白E遺伝子
内山　卓	京都大学 ウイルス研究所	HTLV-I感染細胞の造腫瘍性を決定する因子の同定
片岡　徹	神戸大学医学部　第二生理学	Ras癌遺伝子産物の新しいエフェクターの検索と結合認識機構の解析
勝沼　信彦	徳島文理大学 健康科学研究所	外来抗原プロセッシングにおけるカテプシンBの役割とInvariant chainによるMHC class IIへの抗原提示の調節
神奈木玲児	愛知県がんセンター研究所	糖鎖とセレクチンを介した細胞接着の調節機構に関する研究
岸本　忠三	大阪大学医学部　第三内科	サイトカイン共通信号伝達鎖gp130と細胞内信号伝達分子群の相互作用
北　徹	京都大学医学部　老年医学	家族性高コレステロール血症モデル動物のWHHLウサギ肝細胞におけるアポβ分泌制御についての研究
鬼頭　昭三	放送大学　教養学部	ステロイドホルモンと神経細胞死 — in vitro実験的研究
倉智　嘉久	大阪大学医学部　第二薬理学	NOによる中枢神経細胞内向き整流カリウムチャネルの抑制性修飾の分子機構と生理的役割の解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
児玉　龍彦	東京大学医学部　第三内科	スカベンジャー受容体欠損マウスの解析
小室　一成	東京大学医学部　第三内科	心筋特異的ホメオボックス遺伝子(Csx)のターゲット遺伝子の探索および転写能に関する解析
斎藤　政樹	自治医科大学 血液医学研究部門	白血病細胞の分化を誘導し分化方向決定に重要な糖鎖遺伝子のクローニングとその発現調節機序
清水　孝雄	東京大学医学部　第二生化学	血小板活性化因子による細胞応答に関する研究
杉崎　徹三	昭和大学医学部　腎臓内科	IgGサブクラスと免疫複合体腎炎 —膜性腎病、ループス腎炎を中心として
鈴木　義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	遺伝性β-ガラクトシダーゼ欠損症の分子病理学的研究
清野　進	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	膵β細胞で発現する糖尿病発症遺伝子に関する研究
清野　裕	京都大学医学部　病態栄養部	糖尿病におけるインスリン分泌機構の異常解明に関する研究
脊山　洋右	東京大学医学部　栄養学	脳腱黄色腫症のRFLPによる遺伝子診断法の確立
高井　義美	大阪大学医学部　分子生理化学	Rho低分子量G蛋白質による細胞骨格の制御機構とその病態
高月　清	熊本大学医学部　第二内科	発作性夜間血色素尿症の血管内溶血発作の分子機構
谷口　維紹	大阪大学 細胞生体工学センター	細胞の癌化と死を制御する転写因子IRF-1 の機能解析
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	スーパーオキシドディスムターゼの変異と筋萎縮性側索硬化症
寺田　雅昭	国立がんセンター研究所	経胎盤遺伝子導入法によるトランスジェニックマウスの作製
永井　良三	東京大学医学部　第三内科	血管平滑筋特異的遺伝子発現の分子機構
中尾　一和	京都大学医学部　第二内科	エイコサノイド受容体の臨床的意義に関する分子生物学的研究
中西　重忠	京都大学大学院医学研究科 生体情報科学	高次脳機能におけるグルタミン酸受容体の役割に関する研究
成宮　周	京都大学医学部　薬理学	プロスタノイド受容体による生体調節
西塚　泰美	神戸大学医学部　第二生化学	プロテイン・キナーゼC(PKC)を介する細胞内情報伝達のネットワークとその病態に関する研究
林　典夫	東北大学医学部　第二医化学	赤血球系細胞の分化における転写因子およびヘム生合成系の役割に関する研究—GATA-2因子の標的解明とNF-E2因子の作用機構解析
平井　久丸	東京大学医学部　第三内科	白血病に対する遺伝子治療法の開発
平野　俊夫	大阪大学医学部 バイオメディカル教育研究センター	Bリンパ球増殖分化機構とその異常に関する研究
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	多機能性カルシウム／カルモデュリン依存性プロテインキナーゼによる中枢神経機能の制御
本庶　佑	京都大学医学部　第一医化学	CD40刺激によって発現誘導されるBリンパ球のプログラム細胞死（アポトーシス）を制御する遺伝子の単離
松尾　壽之	国立循環器病センター研究所	新しい循環調節因子の血管系細胞に対する作用とその調節機構
松村　人志	(財)大阪バイオサイエンス研究所	プロスタグランジンD_2による睡眠促進 —その作用部位での分子機構を探る
三浦　恭定	自治医科大学　血液学	ヒト血球産生調節と造血異常疾患の病態の分子生物学的解析
御子柴克彦	東京大学 医科学研究所	イノシトール3リン酸レセプターの構造・機能相関と細胞内Ca^{2+}動員機構の解析
三品　昌美	東京大学医学部　薬理学	中枢シナプス可塑性の分子機構に関する研究
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	赤血球酵素異常症の病因解明と治療法開発の基礎的検討

研究者名	所属機関	研究テーマ
桃井真理子	自治医科大学　小児科	小児神経疾患における不安定DNA配列異常増幅の直接検出法と遺伝子診断法の確立
森　正敬	熊本大学医学部　分子遺伝学	先天性高アンモニア血症の遺伝子治療の基礎研究
山内　卓	徳島大学薬学部　生化学	脳特異的遺伝子産物の機能調節とその異常
山村　研一	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	巨大結腸症の発症機構
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	アラキドン酸12-リポキシゲナーゼの生理的役割の解明
吉川　和明	大阪大学 蛋白質研究所	遺伝子導入細胞モデルによるアルツハイマー病の病態解析
淀井　淳司	京都大学 ウイルス研究所	酸化ストレスによる成人T細胞白血病由来因子(ATL-derived factor; ADF)／ヒトチオレドキシンの発現誘導と核内移行に関する分子機構の解析

平成6年度　第26回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
浅岡　良則	神戸大学バイオシグナル 研究センター	ホスホリパーゼA_2の受容体を介する活性調節機構と その細胞内情報伝達に果たす役割の研究
生山祥一郎	九州大学医学部　第三内科	甲状腺組織におけるカルシウム受容体のクローニングと 発現調節に関する研究
伊藤　裕	京都大学医学部　第二内科	新しい内皮由来血管弛緩因子としてのCNPの臨床的意義に関する 発生工学的・分子生物学的研究と遺伝子治療への応用
稲津　哲也	福井医科大学　第二生化学	非受容体型蛋白質チロシン残基燐酸化酵素$p72^{syk}$に会合する 新規蛋白質の同定並びにその遺伝子ターゲッティング
今井　圓裕	大阪大学医学部　栄養学	進行性腎障害に対する遺伝子治療法の開発 —糸球体細胞外基質代謝異常の制御
今川　重彦	自治医科大学　血液学	Human GATA-2転写因子によるヒトエリスロポエチン遺伝子発現の 負の調節機構
岩本　亮	久留米大学 分子生命科学研究所	膜結合型細胞増殖因子の活性発現におけるDRAP27/CD9の 機能についての解析
上田　夏生	徳島大学医学部　生化学	カンナビノイド受容体内因性リガンドのアナンダミドの リポキシナーゼによる過酸化
大津　欣也	大阪大学医学部　第一内科	筋小胞体カルシウム遊離チャネル調節物質の単離、同定
小川　佳宏	京都大学医学部　第二内科	心臓ホルモンとしてのBNPの生理的・病態生理的意義に関する 分子生物学的および発生学的研究
貝淵　弘三	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	Ras類似G蛋白質Rap1とR-Rasを介するシグナル伝達機構
影山龍一郎	京都大学大学院医学研究科 生体情報科学	神経分化を制御するヘリックス・ループ・ヘリックス型転写因子群の 構造・機能解析
梶本　佳孝	大阪大学医学部　第一内科	インスリン様成長因子Ⅰ(IGF-Ⅰ)遺伝子の成長ホルモン応答性発現を生む細胞内情報伝達メカニズムの解析—cisおよびtrans-acting因子の解析と下垂体機能正常小人症患者におけるその異常の検索—
神奈木真理	熊本大学医学部　感染防御学	サプレッサーT細胞によるAIDSウイルス増殖抑制機構の解明
北川　元生	東京大学医学部　免疫学	遺伝子欠失マウスから見い出したインターフェロン遺伝子の発現を 制御する新しい転写因子の構造と機能
吉川　潮	神戸大学 バイオシグナル 研究センター	プロテインキナーゼC関連蛋白質リン酸化酵素Rac kinase に関する研究
栗原由紀子	東京大学医学部　第三内科	エンドセリン-1遺伝子欠損マウスの病態解析への応用
小池　和彦	東京大学医学部　第一内科	トランスジェニックマウスを用いたC型肝炎ウイルスによる 肝発癌・肝炎発症機構の解明
小松　則夫	自治医科大学 血液医学研究部門	エリスロポエチン細胞内情報伝達に関与する分子の同定および その機能解析—JAK2キナーゼと自律性増殖
斎藤　尚亮	神戸大学 バイオシグナル 研究センター	GABAトランスポーターのサブタイプ別機能とリン酸化による制御機構に解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
笹栗 俊之	国立循環器病センター研究所	血管内皮細胞由来因子による平滑筋細胞の細胞周期と分化の制御機構 —特に環状ヌクレオチド産生因子の役割の検討
佐藤 伸介	(財)大阪バイオサイエンス研究所	プロスタグランジンD_2の睡眠促進機序について—前脳基底部プロスタグランジンD_2感受性睡眠誘発領域における神経伝達物質とプロスタグランジンD_2との相互関係について
佐邊 壽孝	京都大学 ウイルス研究所	細胞基質間接着非依存性増殖と蛋白質チロシンリン酸化
下濱 俊	京都大学医学部 神経内科	アルツハイマー病とイノシトールリン脂質代謝異常
白瀧 博通	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	Rab 3A低分子量G蛋白質によるシナプス機能の制御機構
鈴木 誠	自治医科大学 薬理学	2種の発現分子、カリウムチャネルに対する薬剤作用の検討
関 常司	東京大学医学部 第一内科	慢性腎不全の進行における腎近位尿細管機能調節の意義
滝口 正樹	熊本大学医学部 分子遺伝学	転写調節因子群の協調による肝臓選択的転写の制御機構
辻 明彦	徳島大学工学部 生物工学科	α_2-マクログロブリンをキャリアーとするリソゾーム病に対する 新酵素補充療法の開発
中里 雅光	宮崎医科大学 第三内科	生体防御におけるdefensinの生合成・情報伝達・病態生理学的意義の解析
中嶋 弘一	大阪大学医学部 バイオメディカル 教育研究センター	新たな転写因子群(STATファミリー)の活性化機構と サイトカインシグナル伝達における役割の解明
中島 弘	大阪大学医学部 第二内科	膵特異的に発現するレトロウイルスのクローニングによる I型糖尿病発症メカニズムの分析
中西 真人	大阪大学 微生物病研究所	センダイウイルスを用いた代謝異常疾患の遺伝子治療のための 基礎技術の開発
仲野 徹	京都大学医学部 医化学	アポトーシスに関与する遺伝子PD-1の遺伝子破壊マウスを 用いた機能解析
名田 茂之	大阪大学 蛋白質研究所	トランスジェニックマウスによるSrcファミリーおよび Cskの中枢神経系での機能解析
奈良 清光	(財)東京都臨床医学総合研究所	癌化に伴うGD3合成酵素活性化のメカニズムの解明
西本 憲弘	大阪大学医学部 第三内科	IL-6シグナル伝達阻害による多発性骨髄腫治療法の開発
花園 豊	東京大学医学部 第三内科	GM-CSFの細胞内情報伝達機構
原 満良	関西医科大学 薬理学	化学的てんかんモデルの作製—痙攣準備性獲得の分子機構の解明
福井 清	国立循環器病センター研究所	高血圧の成因に関連する血圧・体液調節系の新しい因子に関する研究 —レニン結合蛋白質とD-アミノ酸酸化酵素の構造と機能
古川 雄祐	自治医科大学 血液医学研究部門	血液細胞の分子に伴うアポトーシス分子機構の解明 —細胞周期調節因子cdc2の関与について
三浦 修	東京医科歯科大学医学部 第一内科	JAK2キナーゼを介したエリスロポエチンレセプターからの 細胞内情報伝達機構の解析
三谷 絹子	東京大学医学部 第三内科	慢性骨髄性白血病急性転化の原因であるAML1/EVI-1キメラ型転写因子の ターゲット遺伝子の同定
向山 政志	京都大学医学部 第二内科	アンジオテンシンII受容体サブタイプ(AT_1, AT_2受容体)の生理的並びに 臨床的意義に関する分子生物学的研究
森 寿	東京大学医学部 第二薬理学	標的遺伝子組換えによる小脳NMDA受容体チャネルの生理機能解析
森井 成人	京都大学医学部 第二薬理学	rho遺伝子産物の標的分子と情報伝達経路の解明
山田祐一郎	京都大学医学部 病態栄養部	ソマトスタチンによる腫瘍増殖抑制機構の解明

平成6年度 第26回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
赤澤　智宏	東京医科歯科大学大学院医学研究科	神経回路形成のターゲット分子の解析	ソーク生物学研究所
阿部　高明	東北大学医学部病態液性調節学	脳および腎臓におけるイオン感受性受容体の構造決定並びに解析	ハーバード大学
岡　昌宏	神戸大学医学部皮膚科	色素細胞の分化・増殖・癌化におけるプロテインキナーゼC分子種の役割	ウィスター研究所
緒方　篤	大阪大学医学部第三内科	多発性骨髄腫細胞におけるインターロイキン6(IL-6)の細胞内シグナル伝達の解析	ハーバード大学
梶尾　裕	東京大学医学部第三内科	プロインスリンの生合成およびプロインスリンからインスリンへの転換についての生化学的研究	ジョスリン糖尿病センター
岸本　一郎	京都大学医学部検査部	膜型および可溶型グアニル酸シクラーゼとその細胞内シグナル伝達機構に関する分子生物的研究	テキサス大学
後藤田貴也	東京大学医学部第三内科	虚血性心疾患の原因遺伝子に関する研究—特にインスリン抵抗性発現遺伝子を中心として	ロンドン臨床科学センター
小松　弥郷	京都大学医学部検査部	骨形成、骨代謝調節因子としての血管作動物質の意義および骨粗鬆症の治療への応用に関する研究	マサチューセッツ総合病院
近藤　久雄	京都大学医学部衛生学	萎縮筋における活性酸素代謝と筋衛星細胞の増殖に関する研究	王立癌研究財団
近藤　靖子	京都大学医学部眼科学	多発性硬化症の視神経病変に関する原因、機序および治療法の究明	クリーヴランド臨床財団研究所
鈴木　利哉	埼玉医科大学第二生化学	脳腫瘍に対する遺伝子治療法の開発	米国・人類遺伝子治療研究所
高橋　将文	自治医科大学循環器内科	動脈硬化の発症、進展におけるサイトカインの作用—血球細胞と血管内皮の相互作用の解析	ワシントン大学
田中　静吾	京都大学化学研究所	アルツハイマー病におけるアミロイド沈着機構に関する研究	カリフォルニア大学
塚本　和久	東京大学医学部第一内科	動脈硬化、代謝疾患に対する遺伝子治療の基礎的研究	ペンシルヴァニア大学
鶴岡　秀一	自治医科大学薬理学	遺伝性高カルシウム尿症ラットにおける腎カルシウム排泄機序の解析	ロチェスター大学
永根　基雄	国立がんセンター中央病院　脳神経外科	悪性脳腫瘍(glioma)における染色体10番の異常および9p上のMTS1遺伝子(p16をコードする)の欠損による腫瘍形成、悪性化への関与	米国・Ludwig癌研究所
古川　貴久	京都大学医学部医化学	網膜の系を用いた神経細胞の分化の解析	ハーバード大学
松田　正	大阪大学医学部バイオメディカル教育研究センター	免疫系、造血系におけるサイトカインシグナル伝達系の解明	聖ユダ小児研究病院
山崎　力	東京大学医学部第三内科	心筋組織におけるレニンアンジオテンシンシステム(RAS)の分子生物学的研究	ガイジンガー診療所

平成7年度 第27回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
浅野　喜博	東京大学医学部　免疫学	免疫調節細胞による免疫応答制御の分子機構
五十嵐一衛	千葉大学薬学部　臨床化学	細胞増殖因子ポリアミンの機能解明と医療への応用
伊藤　信行	京都大学薬学部　遺伝子薬品学	インスリン受容体ファミリーに属する新しい受容体(IRR)の生理的役割の解明
稲垣千代子	関西医科大学　薬理学	クロライドイオンポンプの活性制御機構
乾　賢一	京都大学医学部　薬剤部	腎尿細管におけるナトリウム利尿ペプチドの作用機構と活性制御
井廻　道夫	自治医科大学　肝臓病態	C型肝炎ウイルスの細胞障害性T細胞による認識からのエスケープの機序
井本　敬二	岡崎国立共同研究機構生理学研究所	脳神経系カルシウム情報伝達の分子機構に関する研究
上田　國寛	京都大学 化学研究所	アルツハイマー病の発症機転の分子遺伝学的解析—アミロイドβ／A4蛋白前駆体とアポリポ蛋白Eの相互作用

研究者名	所属機関	研究テーマ
牛首　文隆	京都大学医学部　薬理学	受容体欠損マウスを用いたプロスタノイドの生理機能の解明
内山　卓	京都大学 ウイルス研究所	HTLV—I感染細胞の造腫瘍性決定分子の同定と解析
衛藤　義勝	東京慈恵会医科大学　小児科学	リピドーシスの遺伝子治療に関する基礎的研究
遠藤　實	埼玉医科大学　薬理学	骨格筋および心筋の興奮収縮関連におけるカルシウム放出チャネルの作動機構
大海　忍	東京大学 医科学研究所	Fas抗原を介したアポトーシスの制御機構に関する研究
大熊　芳明	大阪大学 細胞生体工学センター	基本転写因子TFIIEとTFIIHによるRNAポリメラーゼⅡの効率的な転写完結への制御的役割の研究
大田　雅嗣	北海道大学医学部　癌研究施設	骨髄間質細胞膜糖鎖構造が制御する造血幹細胞増殖・分化機構の解明
小澤　和恵	滋賀医科大学	Redox理論のさらなる発展—特に適応領域の拡大とその基礎的研究
寒川　賢治	国立循環器病センター研究所	アドレノメデュリンによる新しい循環調節機構に関する研究
神奈木真理	東京医科歯科大学医学部 免疫治療学	サプレッサーT細胞によるAIDSウイルス増殖抑制機構の解明
神奈木玲児	愛知がんセンター研究所	アンチセンスcDNAを用いた細胞接着糖鎖の発現モジュレーション
鬼頭　昭三	放送大学　教養学部	Neuron survivalと情報伝達系クロストーク —steroid hormonesを中心として
清水　孝雄	東京大学医学部　第二生化学	標的遺伝子組み換え法による血小板活性化因子の生理作用の解明
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	免疫細胞サブセットに限定発現される糖鎖の機能解析
清野　進	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	膵β細胞で発現するイオンチャネルの分子生物学、分子遺伝学的研究
清野　裕	京都大学医学部　病態栄養部	糖尿病における膵β細胞イオンチャネル系の機能並びにその調節機構の異常の解明に関する研究
多久和　陽	東京大学医学部 脈管病態生理学	低分子量G蛋白質rhoを介した新しい血管平滑筋トーヌス調節機構の解明
多田　富雄	東京理科大学 生命科学研究所	TCRトランスジェニックマウスにおける自己寛容(セルフトレランス)の成立機構
鍔田　武志	京都大学大学院医学研究科 分子生物学	Bリンパ球アポトーシスの制御機構の研究
永井　良三	群馬大学医学部　第二内科	血管平滑筋細胞の増殖と動脈硬化発症の分子制御機構
中尾　一和	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	血管作動性因子および受容体の生理的・臨床的意義に関する分子生物学的研究
中澤　淳	山口大学医学部　第二生化学	神経分化におけるアデニル酸キナーゼアイソザイムの生理的役割と本酵素異常症の病因解明
中西　義信	金沢大学薬学部　生物薬品化学	アポトーシス制御を利用したウイルス性疾患の予防・治療法開発をめざした基礎的研究
名和田　新	九州大学医学部　第三内科	デヒドロエピアンドロステロン(DHEA)レセプター遺伝子のクローニングとジーンターゲッティング
平野　俊夫	大阪大学医学部 バイオメディカル教育研究センター	免疫系細胞の増殖・分化・死のシグナル伝達機構
福井　清	徳島大学 酵素科学研究センター	循環調節系の新しい因子の機能と情報伝達に関する分子生物学的研究
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	脳の働きを制御するカルシウム／カルモデュリン依存性多機能性プロテインキナーゼ
松沢　佑次	大阪大学医学部　第二内科	肥満症発症の分子機構—特に病態に関与する内臓脂肪の蓄積について
松村　人志	(財)大阪バイオサイエンス研究所	睡眠と覚醒の調節に関するプロスタグランジンと一酸化窒素(NO)の役割
三品　昌美	東京大学医学部　薬理学	中枢シナプス可塑性の分子機構に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
宮園　浩平	(財)癌研究会癌研究所	TGF-βスーパーファミリーのレセプターによるシグナル伝達機構
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	赤血球酵素異常による遺伝性溶血性貧血の診断、病因解明並びに新しい治療法の開発
森　　正敏	熊本大学医学部　分子遺伝学	シトルリン-NOサイクル遺伝子の発現調節と病態
八尾　　寛	東北大学医学部 病態生体情報学	内因性オピオイドによる伝達物質放出抑制の分子機構に関する研究
山泉　　克	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	新しく見つかった遺伝性光線過敏症“UV^S syndrome”の病態解析と遺伝子クローニング
山内　　卓	徳島大学薬学部　生化学	脳特異的遺伝子産物の機能調節とその異常
山村　研一	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	YACトランスジェニックマウスの原因遺伝子単離への応用
山村　博平	神戸大学医学部　第一生化学	チロシンリン酸化による細胞増殖・分化および細胞死の制御機構の解析
吉川　和明	大阪大学 蛋白質研究所	成熟神経細胞への遺伝子導入によるアルツハイマー病の病態解析
吉村　昭彦	久留米大学 分子生命科学研究所	サイトカインによる遺伝子発現調節の分子機序
渡邉　建彦	東北大学医学部　第一薬理学	ヒスタミン代謝酵素の遺伝子に関する研究：ヒト・L-ヒスチジン脱炭酸酵素遺伝子の発現調節とヒト・ヒスタミンN-メチル基転移酵素遺伝子のクローニング
渡部　　肇	弘前大学医学部　第三内科	エンドトキシンやサイトカインによるラット視床下部・下垂体・副腎系の調節機構に関する研究

平成7年度　第27回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
一條　秀憲	(財)癌研究会癌研究所	TGF-βスーパーファミリー受容体の構造および機能解析
伊藤　　裕	京都大学医学部　第二内科	新しいペプチド性血管内皮由来弛緩因子CNPの血管形成・分化における臨床的意義の解明と遺伝子治療への応用
伊藤　裕二	北陸病院　循環器科	総頚動脈・動脈硬化病変の発症・進展に係わる遺伝子並びにホルモン環境と代謝異常との関連性
稲垣　暢也	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	インスリンの開口放出メカニズムの解明
今井　圓裕	大阪大学医学部　第一内科	進行性糸球体障害に対する遺伝子治療の開発
上田　夏生	徳島大学医学部　生化学	カンナビノイド受容体内因性アゴニストのアナンダミドの代謝酵素に関する研究
岡本　吉将	京都大学医学部　病態栄養部	電位依存性カルシウムチャネル活性化による膵β細胞障害機構の解明
小川　誠司	東京大学医学部　第三内科	染色体9p21領域に存在する新規癌抑制遺伝子の同定とクローニング
小川　佳宏	京都大学医学部　第二内科	肥満遺伝子(ob遺伝子)の生理的・病態生理的意義に関する研究
影山龍一郎	京都大学医学部　生体情報科学	ヘリックス・ループ・ヘリックス型転写因子による哺乳類の神経分化制御機構
梶　　博史	神戸大学医学部　第三内科	副甲状腺ホルモン(PTH)の骨形成促進作用の機序および骨細胞系におけるPTHとエストロゲンの相互作用に関する研究
菊池　　章	広島大学医学部　第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質Rasを介する新しいシグナル伝達機構とその病態
北村　和雄	宮崎医科大学　第一内科	新しい降圧ペプチド“adrenomedullin(AM)”と“proadrenomedullin N-terminal 20 amino acid(PAMP)”のアイソペプチドの検索
吉川　　潮	神戸大学 バイオシグナル 研究センター	PHドメインを有するセリン／スレオニンプロテインキナーゼ(RACプロテインキナーゼ)に関する研究
小松　則夫	自治医科大学 血液医学研究部門	トロンボポエチン細胞内シグナル伝達機構の解析

研究者名	所属機関	研究テーマ
斎藤　雄二	京都大学医学部　第二薬理学	rho蛋白質依存性の細胞内シグナル伝達機構の解析
佐藤　伸介	(財)大阪バイオサイエンス研究所	プロスタグランジンD_2の睡眠促進機序について—前脳基底部プロスタグランジンD_2感受性睡眠誘発領域における神経伝達物質とプロスタグランジンD_2との相互関係について
佐藤隆一郎	大阪大学薬学部　生物薬品化学	コレステロール代謝を調節する新規転写因子SREBPの機能解析
下濱　俊	京都大学医学部　神経内科	アルツハイマー病におけるCa^{2+}非依存性novelプロテインキナーゼC異常
白瀧　博通	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	神経伝達物質の放出反応におけるRab3A低分子量G蛋白質の役割と作用機構
鈴木　利治	東京大学薬学部　薬品製造工学	アルツハイマー病アミロイド前駆体タンパク質の細胞内代謝系に関する研究
瀬戸口純子	(財)京都パストゥール研究所	糖尿病患者におけるIFN-α産生能低下と易感染性
瀧　伸介	東京大学医学部　免疫学	転写因子欠損ミュータントマウスを用いた感染防御機構の研究
滝口　正樹	熊本大学医学部　分子遺伝学	オルニチンサイクル酵素遺伝子の肝臓選択的転写および 2次的グルココルチコイド応答機構に関する研究
田中　智之	東京大学医学部　輸血部	血液細胞の分化・増殖における転写因子AML1／PEBP2αBの機能解析
中川　修	京都大学医学部　第二内科	プロスタサイクリン受容体の遺伝子発現調節の分子機構と ヒト疾患におけるプロスタサイクリンの臨床的意義に関する研究
中嶋　弘一	大阪大学医学部 バイオメディカル 教育研究センター	STAT転写因子群の活性化機序、作用機序および役割の解明
仲野　徹	京都大学医学部　医化学	アポトーシスに関与するPD-1遺伝子産物の機能解析
中村　和史	京都大学 ウイルス研究所	生体内還元因子ADF/ヒトチオレドキシン誘導機構をモデルとした 酸化ストレスの細胞内シグナル伝達機構についての解析
藤井　順逸	大阪大学医学部　生化学	活性酸素消去機構の破綻による神経疾患発症機構の解明
古市　貞一	東京大学 医科学研究所	IP_3受容体の構造機能と遺伝子発現に関する研究
古川　雄祐	自治医科大学 血液医学研究部門	インターフェロンによる白血病細胞増殖抑制における転写因子E2Fの 役割の解明
細田　公則	京都大学大学院 人間・環境学研究科	分子生物学的・発生工学的手法によるエンドセリンの病態生理的意義の解明
堀　利行	京都大学 ウイルス研究所	インターフェロンによって誘導される細胞膜抗原の同定と その構造、機能の解析
本田　浩章	自治医科大学　分子生物学	血液細胞の情報伝達機構における新規チロシン脱リン酸化酵素HPTPηの 機能の解析
的崎　尚	神戸大学医学部　第二内科	消化器癌におけるチロシンホスファターゼの異常に関する研究
三浦　修	東京医科歯科大学医学部 第一内科	エリスロポエチン受容体からのJAK2キナーゼを介した 細胞内シグナル伝達機構
南　康博	神戸大学医学部　第一生化学	細胞増殖・分化および発生における非受容体型チロシンキナーゼの機能解析
牟田　達史	九州大学理学部　生物学科	真菌感受性セリンプロテアーゼ前駆体(Factor G)のβ-glucan結合領域の 同定と真菌検出試薬の作製
森　寿	東京大学医学部　第二薬理学	NMDA受容体チャネル機能制御の生理的意義
森尾　友宏	東京医科歯科大学医学部 小児科	IL-4レセプターと結合しIL-4レセプターを介したシグナル伝達に 関与する遺伝子のクローニング
森下　竜一	大阪大学医学部　老年病医学	血管平滑筋細胞増殖におけるapolipoprotein(a)の役割の分子遺伝学的研究 —生体への遺伝子導入法を用いた動脈硬化発症の機序解明
山形　方人	岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所	神経軸索除去に伴う物質代謝の研究
山田祐一郎	京都大学医学部　病態栄養部	ペプチドホルモンによるインスリン分泌調節の分子機構

平成7年度 第27回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
阿部　純一	東京大学医学部 第一内科	バルーン血管拡張術後の内膜肥厚発症の分子機構の解明 および遺伝子治療法の開発	ワシントン大学
飯塚　拡応	東海大学医学部 免疫学	In vivoでのNatural Killer Cellの分化、標的細胞の認識機構 ハイブリッドレジスタンスの分子レベルでの解析	ワシントン大学
石丸　聡	東京大学大学院 理学系研究科 生物化学専攻	細胞内情報伝達系におけるcrkがん遺伝子産物(Crk)および Crk結合因子の機能の解析	ロックフェラー大学
伊藤　信之	大阪大学医学部 第二内科	fibroblast growth factorによる血管新生と その細胞内情報伝達機構に関する研究	米国・Ludwig 癌研究所
神谷　敦	大阪大学医学部 第四内科	冠動脈疾患の発症前予測に関する分子遺伝学的研究	メルボルン大学
久米　努	東京大学 分子細胞 生物学研究所	Cre-loxP systemを用いた骨形成因子(BMP)-4の conditional gene targeting	バンダビルト大学
車谷　隆宏	大阪大学医学部 精神医学	アルツハイマー病におけるtransmembraneおよびintracellular情報 伝達系変化と同病病理所見分布・進行との関係の解明	カロリンスカ研究所
堺　隆一	自治医科大学 分子生物学	チロシンキナーゼ基質Casの生物学的機能の解析	マウントサイナイ 病院
櫻井　武	筑波大学基礎医学系	腸管壁在神経細胞の発生過程におけるエンドセリンB受容体の 情報伝達系の役割に関する発生工学的研究	テキサス大学
田上　哲也	京都大学医学部 第二内科	甲状腺ホルモン作用機構に関する研究	ノースウエスタン 大学
塚本　達雄	公立和田山病院	腎疾患の発症およびその進展に関与する因子を 分子生物学的手法を用いて解析—腎疾患の治療	ハーバード大学
富永　真琴	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	プリン受容体イオンチャネルの構造機能協関と 病態生理学的意義に関する研究	カリフォルニア大学
花園　豊	東京大学医学部 第三内科	アデノ随伴ウイルスを用いる遺伝子治療法の開発	米国国立衛生研究所
早川磨紀男	摂南大学薬学部 生化学	腫瘍壊死因子(TNF)によって活性化されるc-Jun NH_2-terminal kinase(JNK)を中心としたキナーゼカスケードの役割の解明	カリフォルニア大学
深澤　厚子	国立予防衛生研究所	インターフェロン共通配列結合蛋白質(ICSBP)の ノックアウトマウスの解析に関する研究	米国国立衛生研究所
藤堂　具紀	東京大学医学部 脳神経外科	脳腫瘍細胞を用いた遺伝子治療およびウイルス療法の開発研究	ジョージタウン大学
古家　敬三	京都大学医学部 第二外科	細胞内レドックス制御に関わる薬物による免疫制御および 抗腫瘍効果の検討	米国・食品医薬品庁
丸山　光生	京都大学 ウイルス研究所	B細胞における体細胞突然変異の制御機構に関与する変異導入遺伝 子の同定と遺伝子欠損マウスを用いたその機能解析に関する研究	ケルン大学
三浦りゅう	東京工業大学 生命理工学部	細胞外マトリックスにおけるプロテオグリカン・ グリコサミノグリカンの動態と腫瘍を中心とした疾病との関連	ラ・ホヤ癌研究所
山田隆太郎	埼玉医科大学 第二生化学	成長因子TGF-β感受性腫瘍細胞の増殖におけるTGF-β受容体 の機能および役割の分子生物学的手法による解明	ウプサラ大学
山本　健	九州大学 生体防御医学研究所	核内レセプターによる転写制御機構の解析	フランス科学院

平成8年度 第28回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
青山　俊文	信州大学医学部　生化学	長鎖脂肪酸代謝異常症の解析と治療法の開発
赤水　尚史	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	組換えTSH受容体自己抗体を用いたバセドウ病における 甲状腺機能異常発症の解明
浅野　喜博	愛媛大学医学部　細菌学	免疫調節細胞による免疫応答制御の分子機構
五十嵐一衛	千葉大学薬学部　臨床化学	細胞増殖因子ポリアミンの機能解明と医療への応用
石田　均	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	糖尿病における膵β細胞感受性K^+チャネルとsulfonylurea receptorの 機能協関の異常 —細胞内ブドウ糖代謝機構の障害との関連
伊藤　信行	京都大学薬学部　遺伝子薬品学	FGFファミリーに属する新しい細胞増殖因子の生理的意義の解明

研究者名	所属機関	研究テーマ
稲垣千代子	関西医科大学　薬理学	クロライドイオンポンプの遺伝子解析
乾　賢一	京都大学医学部　薬剤部	小腸および腎尿細管における薬物トランスポータの構造・機能に関する研究
井廻　道夫	自治医科大学　肝臓病態学	C型肝炎ウイルス特異的細胞障害性T細胞の細胞障害機序
上田　國寛	京都大学 化学研究所	アルツハイマー病の発症機転―特にAβアミロイドの神経毒性作用の解明
牛首　文隆	京都大学医学部　薬理学	受容体欠損マウスを用いたプロスタノイドの生理機能の解明
衛藤　義勝	東京慈恵会医科大学　小児科学	リピドーシスの遺伝子治療
大海　忍	東京大学 医科学研究所	Fas抗原介在アポトーシスに対するペプチド性遮断剤の分子設計
大久保博晶	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	TEAドメインを有する新たなTEF-1転写因子ファミリー蛋白の構造と機能
大熊　芳明	大阪大学 細胞生体工学センター	基本転写因子TFIIEとTFIIHによるRNAポリメラーゼⅡの 効率的な転写完結への制御的役割の研究
荻原　俊男	大阪大学医学部　老年病医学	循環ホルモンとしての肝細胞増殖因子(HGF) ―動脈硬化の指標としての検討
加納　英雄	札幌医科大学　第二生化学	ジアシルグリセロール(DG)とホスファチジン酸(PA)の細胞内代謝調節分子機構―新規にクローン化した表面膜結合性35-kDaホスファチジン酸ホスファターゼ(PAP)とデルタ型ジアシルグリセロールキナーゼ(DGKδ)の分子生物学
寒川　賢治	国立循環器病センター研究所	アドレノメデュリンとPAMPによる新しい循環調節機構に関する研究
神奈木真理	東京医科歯科大学医学部 免疫治療学	サプレッサーT細胞によるAIDSウイルス増殖抑制機構の解明
神奈木玲児	愛知がんセンター研究所	細胞接着糖鎖を合成する糖転移酵素遺伝子の発現誘導機構の研究
菊池　章	広島大学医学部　第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質Rasの新しいシグナル伝達機構とその病態
木戸　博	徳島大学 酵素科学研究センター	インフルエンザウイルスの感染を抑制する 気道粘膜局在型新生体防御物質の同定とその臨床応用
鬼頭　昭三	放送大学　教養学部	ステロイドホルモンとneuron survivalに関する分子生物学的研究
倉智　嘉久	大阪大学医学部　第二薬理学	グリア細胞の内向き整流カリウムチャネルK_{AB}-2(Kir 4.1)の分布と 機能に関する研究
小島　至	群馬大学 生体調節研究所	膵β細胞の分化誘導機構の解明
児玉　龍彦	東京大学 先端科学技術 研究センター	ステロール応答転写調節蛋白質(SREBP)の代謝調節機構の解明
小安　重夫	慶応義塾大学医学部　微生物学	T細胞受容体シグナルの感受性を決定する因子に関する研究
清水　孝雄	東京大学医学部　第二生化学	アラキドン酸特異的ホスホリパーゼA_2欠損マウスの作製と解析
鈴木　明身	(財)東京都臨床医学総合研究所	癌関連抗原としてのN-グリコリルノイラミン酸
鈴木　利治	東京大学薬学部　神経生物物理学	新規変異APPを発現している培養細胞系を用いた 新しいβ-アミロイド生成抑制物質スクリーニング系の開発と実用化
清野　進	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	膵β細胞ATP感受性K^+チャネル異常による糖代謝異常の分子生物学的研究
多田　富雄	東京理科大学 生命科学研究所	TCRトランスジェニックマウスにおける自己寛容(セルフトレランス)の 成立機構
鍔田　武志	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	細胞周期制御分子KiplによるBリンパ球アポトーシス誘導機構の研究
中尾　一和	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	ナトリウム利尿ペプチドファミリー遺伝子欠損マウスの開発 ―生理的並びに臨床的意義の検討
中西　義信	金沢大学薬学部　生物薬品化学	アポトーシス細胞の排除機構の研究
仲野　徹	大阪大学 微生物病研究所	破骨細胞・骨芽細胞の発生・分化機構の研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
二宮　善文	岡山大学医学部　分子医化学	基底膜のマトリックス分子構成に関する研究
花房　俊昭	大阪大学医学部　第二内科	レトロウイルスの膵β細胞特異的発現に基づくⅠ型糖尿病発症の分子機構とその制御
平野　俊夫	大阪大学医学部　腫瘍病理学	IL-6ファミリーによる細胞の増殖・分化・死のシグナル伝達機構
福井　　清	徳島大学 酵素科学研究センター	中枢神経系における新しい調節因子D-アミノ酸とその酸化酵素の機能に関する分子生物学的研究
藤澤　　仁	旭川医科大学　第一生化学	脳の働きを抑制するカルシウム／カルモデュリン依存症多機能性プロテインキナーゼ
堀内　正公	熊本大学医学部　第二生化学	酸化低比重リポタンパク質(酸化LDL)によるマクロファージ増殖機構の解析 —細胞内情報伝達におけるリゾリン脂質の役割について—
本間　研一	北海道大学医学部　第一生理学	光による松果体ホルモン(メラトニン)の分泌調節と生体防御機構に及ぼす効果：in vivoおよびin vitro研究
宮園　浩平	(財)癌研究会癌研究所	ショウジョウバエのセリン-スレオニンキナーゼ型レセプターを用いたシグナル伝達機構の研究
村勢　敏郎	虎の門病院　内科・内分泌代謝科	高トリグリセライド-低HDL-コレステロール症候群の病態、成因並びに臨床的意義に関する研究
森　　正敏	熊本大学医学部　分子遺伝学	シトルリン-NOサイクル遺伝子の発現調節と病態
森山　芳則	広島大学　理学研究科 遺伝子科学	松果体におけるグルタミン酸作動性原理によるメラトニンの分泌制御機構
八尾　　寛	東北大学医学部 病態生体情報学	新しいアドレナリン性受容体の細胞内情報伝達機序に関する研究
山内　　卓	徳島大学薬学部　生化学	カルモデュリン依存性プロテインキナーゼⅡ遺伝子の脳特異的発現
山田　信博	東京大学医学部　第三内科	ホルモン感受性リパーゼの生理的意義に関する発生工学的研究
山村　博平	神戸大学医学部　第一生化学	神経組織に分布する非受容体型チロシンキナーゼSykの生理作用について
吉川　和明	大阪大学 蛋白質研究所	組換えアデノウイルス導入動物を用いた神経変性疾患の病態解析
吉村　昭彦	久留米大学 分子生命科学研究所	STAT5標的遺伝子の検索と生理機能の解析
渡邉　建彦	東北大学医学部　第一薬理学	ヒスタミン代謝酵素の遺伝子に関する研究—ヒト・L-ヒスチジン脱炭酸酵素遺伝子の発現調節とヒト・ヒスタミンN-メチル基転移酵素遺伝子のクローニング
渡部　　肇	弘前大学医学部　第三内科	サイトカインによるラット視床下部・下垂体・副腎系の調節機構に関する研究

平成8年度　第28回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
荒木　栄一	熊本大学医学部　代謝内科	インスリン受容体の基質IRS-1(insulin receptor substrate-1)遺伝子の発現調節機構の解析と遺伝子変異の病的意義の検討
一條　秀憲	(財)癌研究会癌研究所	アポトーシスを誘導する新規MAPKKK、ASK1の構造および機能解析
市田　公美	東京慈恵会医科大学　第二内科	ヒト尿細管のUrate transporterの単離および解析
伊藤　和幸	(財)大阪府立成人病センター研究所	癌細胞の浸潤におけるアクトミオシン系の関与
伊藤　　裕	京都大学医学部　第二内科	ナトリウム利尿ペプチド／cGMP系の血管リモデリングおよび血管新生における臨床的意義に関する分子生物学的検討と遺伝子治療への応用
稲垣　暢也	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	ABCトランスポーターによるイオンチャネルの制御機構
上田　夏生	徳島大学医学部　生化学	内因性マリファナ様物質アナンダミドの加水分解酵素に関する研究
江角　泰治	京都大学大学院医学研究科 臨床器官病態学	G蛋白共役受容体およびサイトカイン受容体を介したMAPキナーゼカスケードとJAK-STAT経路のクロストークについてのヒト血小板を用いた検討

研究者名	所属機関	研究テーマ
大坪　素秋	久留米大学 分子生命科学研究所	サイクリン依存症キナーゼの標的分子の同定と機能解析
岡垣　壮	群馬大学医学部　薬理学	平滑筋細胞内のミオシン線維の構造と機能の調節
小川　佳宏	京都大学医学部　第二内科	肥満遺伝子産物(レプチン)受容体(Ob-R)の生理的・病態生理的意義に関する分子生物学的研究
菅野　仁	(財)冲中記念成人病研究所	赤血球型ピルビン酸キナーゼ(PK)遺伝子導入によるPK異常症根治療法の開発
北村　和雄	宮崎医科大学医学部　第一内科	新規降圧ペプチドの探索
小松　則夫	自治医科大学 血液医学研究部門	エリスロポエチンの赤血球分化シグナルの解析
斎藤　尚亮	神戸大学 バイオシグナル研究センター	てんかん発症機序におけるGABAトランスポーターサブタイプの役割に関する研究
斎藤　雄二	京都大学大学院医学研究科 神経細胞薬理学	rho p21を介する細胞内シグナル伝達機構の解析
斎藤　能彦	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	心室リモデリングの分子機構における心筋細胞・非心筋細胞クロストークの解明
佐藤　英介	大阪市立大学医学部 第一生化学	一酸化窒素による癌細胞エネルギー代謝制御とアポトーシス
下濱　俊	京都大学医学部　神経内科	アルツハイマー病におけるイノシトールモノホスファターゼ異常
瀬戸口純子	(財)ルイ・パストゥール医学研究センター	C型肝炎ウイルスの糖尿病性細血管障害増悪機序についての免疫学的解析
田中　一馬	大阪大学医学部　分子生理化学	Rho低分子量G蛋白質の活性制御機構と作用機構
中井　淳一	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所	カルシウム放出チャネル(リアノジン受容体)の構造と機能の研究
中川　修	京都大学医学部　第二内科	プロスタサイクリンの受容体・細胞内情報伝達の分子機構と循環器疾患における臨床的意義の研究
中里　雅光	宮崎医科大学　第三内科	新たな水・電解質代謝調節ホルモンguanylinとuroguanylinの機能解析、細胞内情報伝達機構並びに臨床的意義に関する細胞生理学・分子生物学的研究
中島　茂	大阪大学医学部　第二内科	膜脂質を介するアポトーシスシグナルの分子機構
中島　弘	大阪大学医学部　第二内科	自家骨髄移植法を用いた体細胞遺伝子治療によるⅠ型糖尿病治療法の開発
中村　和史	京都大学 ウイルス研究所	AIDS病態形成における酸化ストレスの役割の検討：Tリンパ球における酸化ストレスによるHIVレセプター分子CD4の発現制御
中村　俊一	神戸大学医学部　第二生化学	哺乳類ホスホリパーゼDの構造並びに活性調節機構の解析
野々山恵章	東京医科歯科大学医学部　小児科	Wiskott-Aldrich症候群責任遺伝子WASPの機能解析
服部　尚樹	関西医科大学　薬理学	内分泌系と免疫系のクロストーク：成長ホルモン(GH)の免疫系における生理的役割およびその細胞内情報伝達機構について
古市　貞一	東京大学 医科学研究所	IP_3受容体の構造、機能、発現に関する研究
的崎　尚	神戸大学医学部　第二内科	SH2ドメインをもつチロシンホスファターゼの機能に関する研究
南　康博	神戸大学医学部　第一生化学	発生に関わる蛋白質キナーゼの機能解析
牟田　達史	九州大学理学部　生物学科	細菌内毒素感受性セリンプロテアーゼ前駆体(FactorC)のリポ多糖(LPS)による活性化機構の解明
籾山　俊彦	長崎大学医学部　第二生理学	中枢ニューロンにおけるプロスタグランジンE受容体EP_3サブタイプの機能
森　寿	東京大学医学部　第二薬理学	終脳特異的遺伝子ノックアウト法を用いた神経回路形成とシナプス可塑性の分子機構解析
森尾　友宏	東京医科歯科大学医学部　小児科	CD40と会合する新しい細胞膜貫通タンパクp23分子(p23)の遺伝子クローニングとその免疫グロブリンクラススイッチングにおける役割の検討
矢冨　裕	山梨医科大学 臨床検査医学	骨髄巨核球分化に伴うスフィンゴシン-1-リン酸代謝の変化

研究者名	所属機関	研究テーマ
山内　淳	大阪大学医学部　第一内科	慢性腎疾患進行機序の解明―浸透圧ストレスによる糸球体障害の検討
山崎　力	東京大学 保健管理センター	伸展および液性因子が引き起こす心筋肥大・リモデリングの発生機序の解析
山田祐一郎	京都大学医学部　病態栄養部	cAMPを介するインスリン遺伝子発現の分子機構
横溝　岳彦	東京大学医学部　第二生化学	ロイコトリエンの新しい代謝経路に関する研究

平成8年度　第28回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
安達　直人	山口大学医学部 脳神経外科学	脳腫瘍の遺伝子治療 ―HSV-TK遺伝子による臨床治験と 癌抑制遺伝子を用いた基礎研究	チューリッヒ大学
五十嵐淳介	大阪大学医学部 第一内科	心筋細胞のストレス応答機構における活性酸素代謝系蛋白質の 機能解析	ハーバード大学
戎井　理	京都大学大学院医学研 究科　臨床病態医学	レプチン(ob遺伝子産物)の視床下部作用に関する メカニズムの解明	ベーカー医学研究所
大月　哲也	自治医科大学 血液学	遺伝子治療に関する研究	米国国立衛生研究所
大本　芳範	山口大学医学部 脳神経外科	アデノウイルスベクターを用いた外来遺伝子脳内移入時の 脳免疫応答	オックスフォード 大学
岡部泰二郎	九州大学医学部 第三内科	核内レセプターコ・リプレッサーN-CoRノックアウトマウスの 作製とその機能解析	カリフォルニア大学
草野　秀一	国立予防衛生研究所 ウイルス第一部	ヒトサイトメガロウイルスの潜伏および活性化に関わる 宿主因子の探索およびその分子機構の解明	スタンフォード大学
小池　達也	大阪市立大学医学部 整形外科	副甲状腺ホルモンおよび副甲状腺ホルモン関連ペプチドの 骨軟骨組織における役割	マサチューセッツ・ ジェネラル病院
佐登　宣仁	関西医科大学 麻酔科	Fcγ受容体の機能およびその細胞内情報伝達機構の解析	ペンシルヴァニア 大学
嶋田　昌子	虎の門病院 内分泌代謝科	肥満、高脂血症、インスリン抵抗性を司る遺伝子の クローニングおよび遺伝子産物による病態の改善に関する研究	ベス イスラエル 病院
高倉　康	福井医科大学 麻酔・蘇生学	敗血症性ショックと一酸化窒素	テキサス大学
竹林　浩一	京都大学大学院医学研 究科　生体情報科学	哺乳類の受精卵の着床に関わる接着分子の同定および機能解析	ラ・ホヤ癌研究所
田中　嘉孝	九州大学薬学部 生理化学	2つのマンノース-6-リン酸受容体遺伝子破壊マウスを用いた リソゾーム酸素局在化機構の解析	ゲッチンゲン大学
妻木　範行	大阪大学医学部 整形外科学	軟骨細胞外マトリックスの代謝制御機構の解明と 軟骨疾患モデル動物の作製	米国国立衛生研究所
中村　公俊	熊本大学医学部 小児科	グルココルチコイド受容体に結合するカルシウム結合蛋白 カルレティキュリンによる遺伝子発現の調節機構	アルバータ大学
西谷　授	京都大学医学部 医化学	B細胞膜表面受容体のbtkを介するシグナル伝達の解析	カリフォルニア大学
林　秀敏	名古屋市立大学薬学部 衛生化学	腫瘍と細胞内情報伝達機構における生化学的・ 分子細胞生物学的研究	カナダ・小児病病院 研究所
松永　洋一	徳島文理大学 健康科学研究所	正常プリオンタンパク(PrP)と異常プリオンタンパク(PrP^{SC}) の立体構造変化を識別できる特異抗体作成	カリフォルニア大学
水口　裕之	大阪大学 微生物病研究所	代謝性疾患に対する遺伝子治療に関する研究	ワシントン大学
八木澤　隆	東京女子医科大学 肝臓病総合医療センター	特殊病態(尿路感染、嚢胞腎、腎移植、腎不全)における 尿路結石の成因解明とその評価、治療に関する研究	コロラド大学
山口　徹	服部病院　内科	副甲状腺および腎臓におけるカルシウムイオン受容体と その情報伝達系の構造機能連関の分子生物学的解析	ハーバード大学
湯尻　俊昭	山口大学医学部 第三内科学	細胞の分化増殖における細胞内シグナル伝達経路の解明	国立ユダヤ免疫学 呼吸器病学センター

平成9年度 第29回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
浅野 喜博	愛媛大学医学部 細菌学	感染における免疫応答制御の分子機構
五十嵐一衛	千葉大学薬学部 臨床化学	細胞増殖因子ポリアミンの機能解明と医療への応用
伊藤 信行	京都大学大学院薬学研究科 遺伝子薬品学	FGFファミリーに属する新しいシグナル分子の探索とその生理的意義の解明
稲垣 暢也	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	スルホニール尿素剤の作用機構の同定
乾 賢一	京都大学医学部 薬剤部	薬物代謝酵素の遺伝子解析に基づく薬物動態変動機構の解明
今井 正	自治医科大学 薬理学	腎髄質機能とそのホルモン・薬物による制御機構
井廻 道夫	自治医科大学 肝臓病態学	C型肝炎ウイルス変異の細胞障害性T細胞の増殖および認識に及ぼす影響
上田 國寛	京都大学 化学研究所	アルツハイマー病の発症の分子機構 —特に新しいアミロイド成分NACに関する研究
衛藤 義勝	東京慈恵会医科大学 小児科学	リピドーシスの遺伝子治療に関する研究
貝淵 弘三	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	低分子量G蛋白質カスケードによる細胞の癌化機構
片岡 徹	神戸大学医学部 第二生理学	Ras蛋白質翻訳後脂質修飾基の受容体の解明
勝沼 信彦	徳島文理大学 健康科学研究所	Vitamin B_6助酵素型によるプロセッシング・プロテアーゼ Cathepsin B阻害とその免疫学的意義
門脇 孝	東京大学医学部 第三内科	Mitochondrial glycerol-3 phosphate dehydrogenase遺伝子欠損マウスを用いたグルコース代謝および膵β細胞におけるグルコース応答性インスリン分泌機構の解析
寒川 賢治	国立循環器病センター研究所	アドレノメデュリンとPAMPによる新しい循環調節機構に関する研究
神奈木真理	東京医科歯科大学医学部 免疫治療学	サプレッサーT細胞によるAIDSウイルス増殖抑制機構の解明
菊池 章	広島大学医学部 第一生化学	低分子量GTP結合蛋白質Rasの標的蛋白質の多様性とその機能
北 徹	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	MCP-1受容体を介する細胞遊走機構の解析
木戸 博	徳島大学 分子酵素学研究センター	アレルギー炎症に伴ってキマーゼが形成する新規生理活性物質、 エンドセリン(1-31)の発見とその生理機能解析
鬼頭 昭三	昭和女子大学 女性文化研究所	ステロイドホルモンとneuron survivalに関する分子生物学的研究
倉智 嘉久	大阪大学医学部 第二薬理学	グリア細胞内向き整流カリウムチャネルK_{AB}-2(Kir4.1)の分布と 機能に関する研究
小島 至	群馬大学 生体調節研究所	膵β細胞の分化誘導機構の解明
小安 重夫	慶応義塾大学医学部 微生物学	T細胞受容体シグナルを伝達するアミノ酸配列モチーフITAMに関する 研究
七里 元亮	熊本大学医学部 代謝内科	インスリン抵抗性発症機序の分子生物学的解析
清水 孝雄	東京大学医学部 第二生化学	アラキドン酸特異的ホスホリパーゼA2欠損マウスの表現形の解析
杉崎 徹三	昭和大学医学部 腎臓内科	膜性腎症におけるIgG4サブクラスの意義に関する研究
鈴木 義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	β-ガラクトシドーシスの病態解析と分子治療
清野 進	千葉大学医学部 高次機能制御研究センター	ATP感受性K^+チャネルの生体機能における役割 —ノックアウトマウスによる解析
脊山 洋右	東京大学大学院医学系研究科 代謝生理化学	脳腱黄色腫症(CTX)の小脳における神経細胞死のメカニズム
高井 義美	大阪大学医学部 分子生理化学	細胞内シグナル伝達における時間的・空間的制御機構
武田 雅俊	大阪大学医学部 精神医学	プレセニリン-1遺伝子変異によるアルツハイマー病発症機構に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
竹田　美文	国立国際医療センター研究所	腸管出血性大腸菌(いわゆる病原性大腸菌O157)感染に伴う溶血性尿毒症症候群の発症機構に関する研究
多田　富雄	東京理科大学 生命科学研究所	TCRトランスジェニックマウスにおける自己寛容(セルフトレランス)の成立機構
谷口　維紹	東京大学大学院医学系研究科 免疫学	癌抑制転写因子IRF-1とp53の協調作用
谷口　直之	大阪大学医学部　生化学	糖鎖のリモデリングによる細胞増殖制御機構と病態
千葉　勉	京都大学大学院医学研究科 消化器病態学	胃内分泌細胞癌の発症機序・進展・転移におけるガストリンの役割についての研究
鍔田　武志	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	抗原レセプターを介するBリンパ球アポトーシスの分子機構の研究
中西　重忠	京都大学大学院医学研究科 生体情報科学	神経伝達の分子機構に関する研究
仲野　徹	大阪大学 微生物病研究所	赤血球の発生・分化機構に関する分子生物学的解析
中村　重信	広島大学医学部　第三内科	アルツハイマー病脳老人斑に存在する異常アセチルコリンエステラーゼによるβアミロイド蛋白の凝集
花房　俊昭	大阪大学医学部　第二内科	膵β細胞分化誘導因子ベータセルリンによる分化シグナル伝達機構の解明と再生促進作用に基づく糖尿病治療の開発
堀内　正公	熊本大学医学部　第二生化学	酸化低比重リポタンパク質(酸化LDL)によるマクロファージ増殖機構の解析—細胞内情報伝達経路に関する研究
本庶　佑	京都大学大学院医学研究科 分子生体統御学	免疫グロブリンクラススイッチの分子機構
松倉　茂	宮崎医科大学　第三内科	新たな水・電解質代謝調節ホルモン　グアニリンファミリーとその受容体遺伝子の発現制御機構とノックアウトマウスによる機能解析
御子柴克彦	東京大学 医科学研究所	哺乳類の大脳・小脳の層構築内の神経細胞の配置を決定する分子メカニズムの解明
宮園　浩平	(財)癌研究会癌研究所	TGF-βレセプターによるシグナル伝達機構と発癌機構の研究
森　正敬	熊本大学医学部　分子遺伝学	アルギナーゼアイソザイムによるNO合成の調節
八尾　寛	東北大学医学部 病態生体情報学	C-キナーゼによる伝達物質開口放出の長期増強のメカニズムの研究
山内　卓	徳島大学薬学部　生化学	カルモデュリン依存性プロテインキナーゼⅡ遺伝子の脳特異的発現
山村　博平	神戸大学医学部　第一生化学	脳神経系の発生・分化に関与する新規Sykファミリーチロンシンキナーゼの同定
山本　尚三	徳島大学医学部　生化学	脂肪酸シクロオキシゲナーゼの2つのアイソザイムの転写調節機構の研究
吉川　和明	大阪大学 蛋白質研究所	アルツハイマー病アミロイド蛋白質前駆体による神経変性の分子機構
吉村　昭彦	久留米大学 分子生命科学研究所	CISファミリー遺伝子の構造と機能の解析
淀井　淳司	京都大学 ウイルス研究所	動脈硬化病変の形成における細胞内レドックスとレドックス制御蛋白チオレドキンの研究
渡邉　建彦	東北大学医学部　第一薬理学	ヒスタミン合成・分解酵素遺伝子に関する研究—ヒスチジン脱炭酸酵素遺伝子の発現調節とノックアウトマウスを用いたヒスタミンの作用の解析

平成9年度　第29回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
石崎　敏理	京都大学大学院医学研究科 神経細胞薬理学	低分子量G蛋白質Rho標的蛋白質の細胞内および生体機能の解析
一條　秀憲	(財)癌研究会癌研究所	アポトーシスシグナル伝達経路におけるASK1の機能解析
市田　公美	東京慈恵会医科大学　第二内科	ヒト尿細管のUrate/anion exchangerの単離および解析

研究者名	所属機関	研究テーマ
一瀬　宏	藤田保健衛生大学 総合医科学研究所	テトラヒドロビオプテリンによる中長期的レベルでの カテコールアミン生合成調節機構の研究
伊藤　和幸	大阪府立成人病センター研究所	腫瘍細胞の浸潤における低分子量G蛋白質Rhoを介する アクトミオシン系の活性化の制御
伊藤　裕	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	新しい心血管系特異的ホメオボックス遺伝子Gaxの 血管平滑筋増殖分化制御における意義に関する分子医学的検討
井上　裕康	国立循環器病センター研究所	抗炎症性ステロイド剤による誘導型シクロオキシゲナーゼ発現抑制機構の 解析
上田　夏生	徳島大学医学部　生化学	アナンダミド加水分解酵素の酵素学的および分子生物学的研究
江口　直美	京都大学大学院医学研究科 高次脳形態学	プロスタグランジンD合成酵素遺伝子欠損マウスを用いた 痛覚伝達機構の解明
大久保　実	虎の門病院　内分泌代謝科	日本人糖原病Ⅲ型患者の分子遺伝学的研究
大坪　素秋	久留米大学 分子生命科学研究所	サイクリン依存性キナーゼの標的分子の同定と機能解析
小川　佳宏	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	新しい生体内情報伝達物質としての肥満遺伝子産物(レプチン)の 分子医学的研究
奥村　利勝	旭川医科大学　第三内科	Helicobacter pylori感染胃粘膜における胃潰瘍形成メカニズムの分子生物学的、分子生理学的解析—Helicobacter pylori感染胃粘膜のcholecystikinin(CCK)typeA受容体遺伝子発現調節—
川上　秀史	広島大学医学部　第三内科	グルタミン酸輸送蛋白の調節因子に関する研究
川畑俊一郎	九州大学理学部　生物学	血液凝固因子前駆体プロスロンビンの黄色ブドウ球菌タンパク質 (スタフィロコアグラーゼ)による非酵素的活性化の分子機構
菅野　仁	(財)沖中記念成人病研究所	赤血球型におけるピルビン酸キナーゼ遺伝子発現機構の解明
後藤田貴也	東京大学医学部　第三内科	Spontaneously Hypertensive Rats(SHR)におけるインスリン抵抗性発現の 原因遺伝子のクローニング
斎藤　能彦	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	冠攣縮性狭心症の遺伝子的危険因子としての 内皮型NO合成酵素遺伝子異常の分子機能解析
坂本　博	神戸大学理学部　生物学科	プロテインキナーゼCによるElav類似蛋白質のリン酸化の 生理学的意義に関する研究
笹井　芳樹	京都大学大学院医学研究科 生体情報科学	神経誘導因子Chordinによる神経分化制御の分子機序
佐藤　英介	大阪市立大学医学部 第一生化学	H.pyloriの活性酸素代謝特性と遺伝子変異機構の分子論的解析
佐藤　勝重	東京医科歯科大学医学部 第二生理学	内因性光学シグナル計測法による脳皮質活動にともなう 脳代謝のマッピング
塩島　一朗	東京大学医学部　第三内科	ヒト心筋特異的ホメオボックス遺伝子CSXの単離と解析
瀬戸口純子	(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター	インターフェロン-α活性化NK細胞還元療法(IFNANK療法)の 癌患者における臨床的検討
内匠　透	神戸大学医学部　第二解剖学	生物時計の分子機構の解明
田代　啓	京都大学 遺伝子実験施設	SDF-1タンパク質の量的質的多様性とAIDS発症時期の多様性
田中　一馬	大阪大学医学部　分子生理化学	Rho低分子量G蛋白質の作用機構
津田　和志	和歌山県立医科大学 循環器内科	細胞膜を介する情報伝達機構とCa代謝からみた高血圧の病態生理と 治療に関する研究
轟　奈津子	山口大学医学部　第一生理学	スフィンゴ脂質情報伝達系による新規の血管緊張調節機構と その破綻に関する分子細胞生物学的研究
中島　弘	大阪大学医学部 分子制御内科学	若年発症成人型糖尿病MODYの原因遺伝子として確認された転写因子hepatocyte nuclear factor-1α(HNF-1α)の異常が膵島におけるインスリン分泌に与える影響の解明
永田　浩一	岐阜大学医学部　分子病態学	低分子量G蛋白質Cdc42／Racの標的蛋白質MLKキナーゼの機能解析 —MAPキナーゼとCa^{2+}シグナルへの関連
中村　俊一	神戸大学医学部　第二生化学	哺乳類ホスホリパーゼDの活性調節機構の解析
錦見　俊雄	国立循環器病センター研究所	アドレノメデュリンの循環器疾患における病態生理的意義の解明と 診断および治療への応用

研究者名	所属機関	研究テーマ
野々山恵章	東京医科歯科大学医学部 小児科	ヒト免疫異常症におけるCD40／CD40リガンド分子の役割
長谷川浩二	京都大学大学院医学研究科 循環病態学	心筋細胞分化におけるtranscriptional co-activator p300の役割 ―p300により心筋特異的転写調節機構の解明
林　日出喜	徳島大学分子酵素学研究センター	新しいGLUT4 translocation assay系を用いたインスリンシグナル伝達の分子メカニズムの解明とその病態の解明
尾藤　晴彦	京都大学大学院医学研究科 神経細胞薬理学	海馬神経細胞におけるシグナル依存性形態化の分子メカニズム
平岩　　望	愛知がんセンター研究所	細胞接着分子セレクチンの糖鎖リガンド合成の転写調節機構
的崎　　尚	神戸大学医学部　第二内科	チロシンホスファターゼSHP-2の結合基質蛋白質SHPS-1の生理機能に関する研究
南　　康博	神戸大学医学部　第一生化学	発生に関わる新規蛋白質キナーゼの機能解析
籾山　明子	長崎大学医学部　第二生理学	脊髄NMDA受容体の侵害受容機構における役割
安波　道郎	熊本大学医学部 遺伝発生医学研究施設	神経特異的転写因子NDRFの機能発現についての研究
矢冨　　裕	山梨医科大学　臨床検査医学	血小板輸血副作用におけるスフィンゴシン-1-リン酸の関与に関する研究
山田祐一郎	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	膵β細胞内カルシウム濃度によるインスリン遺伝子発現調節の分子機構
結城　信泰	獨協医科大学　神経内科	自己免疫性神経疾患の発症における「神経と病原体の分子相同性」仮説の確立
横田　義史	京都大学大学院医学研究科 分子遺伝学	ノックアウトマウスを用いた分化抑制因子Id2の機能解析
横溝　岳彦	東京大学医学部　生化学	ロイコトリエンB_4の生体内における意義の解明
若森　　実	岡崎国立共同研究機構生理学研究所	テンカン発作に関与するP型カルシウムチャンネルの基礎的研究

平成9年度　第29回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
赤木　良隆	大阪大学医学部 第一内科	進行性腎障害に対する新たな遺伝子治療法の開発	エーランゲン・ ニュールンベルグ大学
家原　典之	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	糖尿病性腎症および細動脈硬化の病態に関与するⅣ型コラーゲンの遺伝子転写制御機構および病態で誘導される新たな転写因子の機能解析	米国国立衛生研究所
石井　　睦	北海道大学医学部 癌研究施設	ガングリオシドGM3合成酵素（シアル酸転移酵素1；SAT1）遺伝子の発現制御並びに各組織・器官に特異的な発現特異性の分子機構の研究	ジョンズ ホプキンス大学
稲生　　靖	国立がんセンター中央病院 脳神経外科	悪性神経膠腫における第19染色体に位置する癌抑制遺伝子の解析	ハーバード大学
植木浩二郎	東京大学医学部 第三内科	インスリンの細胞内シグナル伝達およびインスリン抵抗性の分子機構の解明	ハーバード大学
江本　正志	北里大学理学部 生体防御学	インターロイキン-4産生性$CD4^+NK1^+$T細胞の免疫応答調節機構に関する研究	マックスプランク 感染生物学研究所
大谷　誠司	京都大学大学院医学研究科 循環病態学	動脈硬化層の遊走血管平滑筋におけるインテグリンの関与と相互作用	米国国立衛生研究所
梶　　博史	淀川キリスト教病院	副甲状腺腫瘍の発生、進展におけるret癌遺伝子の役割とそのリガンドに関する研究	マックギル大学
酒井　規雄	神戸大学　バイオシグナル研究センター	抗うつ薬の新しい標的蛋白質としてのcyclic AMP-response element -binding protein（CREB）の分子薬理学的研究	エール大学
坂根　郁夫	札幌医科大学 第二生化学	細胞増殖・分化・癌化における脂質性セカンドメッセンジャー産生酵素の役割―ジアシルグリセロールとホスファチジン酸の合成・代謝酵素の生理機能の解析を中心に	エックレス人類遺伝学研究所
佐々木浩一	大阪大学医学部 第三内科	転写因子core binding factorの標的遺伝子のクローニング	ハーバード大学
清水　一也	大阪大学医学部 分子生理化学	アクチビンの細胞内シグナル伝達機構の解明	ケンブリッジ大学

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
白神豪太郎	京都大学医学部 手術部	遺伝子変異動物を用いた、心血管系の発達並びに再構築におけるアンギオテンシン受容体の役割の研究	ハーバード大学
高屋　和彦	京都市身体障害者リハビリテーションセンター	副腎皮質刺激ホルモン放出因子(CRF)およびurocortinの生理作用および臨床応用	ソーク生物学研究所
武谷　浩之	三重大学医学部 分子病態学	遺伝子変異導入マウスを用いたヘパラン硫酸プロテオグリカンの機能調節機構の解明	マサチューセッツ工科大学
頭金　正博	国立公衆衛生院 衛生薬学部	転写調節因子ノックアウトマウスを用いた薬物代謝酵素の誘導機構に関する研究	米国国立癌研究所
中川　修	熊本大学医学部 循環器内科学	心筋の特異的構造に存在する新規分子の同定と心疾患における意義の解明	ハーバード大学
古山　和道	東北大学大学院医学系研究科　医学生物化学	赤血球系分化におけるヘム生合成系の諸酵素遺伝子の発現制御機構に関する研究	ロックフェラー大学
堀江公仁子	(財)癌研究会癌研究所	α_1アドレナリン受容体サブタイプの脱感作機構の解析	カリフォルニア大学
松川　昭博	熊本大学医学部 第一病理学	炎症反応とそれに関与するサイトカインの研究	ミシガン大学
松下　幸司	兵庫医科大学 第五内科	マウス局所脳虚血モデルを用いて、虚血ストレスに対する細胞応答	ハーバード大学
松田　知栄	通商産業省工業技術院 生命工学工業技術研究所	三好型筋ジストロフィー原因遺伝子の分子遺伝学的・分子生物学的研究	ハーバード大学
村瀬　真一	慶応義塾大学医学部 解剖学	中枢ニューロンに発現する新規インテグリンの遺伝子クローニングと発現様式の解析	イリノイ大学
森　樹郎	東京大学医学部 眼科学	網膜の発生・維持におけるレチノイドの機能	ルイ・パストゥール大学
山越　智	国立感染症研究所	免疫応答におけるサイトカイン調節転写因子ICSBPの役割についての研究	米国国立衛生研究所

平成10年度　第30回研究助成金

研究者名	所属機関	研究テーマ
赤水　尚史	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	パセドウ病モデル動物の開発とその内分泌学的および免疫学的機能解析
伊藤　信行	京都大学大学院薬学研究科 遺伝子薬品学	FGFファミリーに属する新しいシグナル分子の探索とその生理的意義の解明
稲垣　暢也	秋田大学医学部　第一生理学	脳におけるATP感受性カリウムチャネルの役割
乾　賢一	京都大学医学部　薬剤部	腎障害時における薬物トランスポータの変動に関する研究
上田　國寛	京都大学　化学研究所	脳虚血におけるポリ(ADP-リボース)合成酵素の役割
内山　卓	京都大学大学院医学研究科 血液病態学	OX40とgp34のシグナル伝達機構とその病態への関与
衛藤　義勝	東京慈恵会医科大学 小児科／DNA医学研究所	リソゾーム病の遺伝子治療に関する研究
貝淵　弘三	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	低分子量G蛋白質ファミリーによる細胞の癌化機構
垣塚　彰	(財)大阪バイオサイエンス研究所	神経変性を引き起こす細胞死シグナルの解析
片岡　徹	神戸大学医学部　第二生理学	Ras蛋白質翻訳後脂質修飾基の受容体の解明
勝沼　信彦	徳島文理大学　健康科学研究所	Lysosome Cathepsin群による抗原プロセッシングと抗体産生クラス・スイッチの関係
寒川　賢治	国立循環器病センター研究所	アドレノメデュリンとPAMPによる新しい循環調節機構に関する研究
菊池　章	広島大学医学部　第一生化学	Wntシグナル伝達機構によるβ-cateninの分解と細胞機能制御
北　徹	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	新規酸化LDL受容体LOX-1の病態生理学的意義に関する研究

研究者名	所属機関	研究テーマ
木戸　博	徳島大学 分子酵素学研究センター	分子シャペロン蛋白質の新機能・シャペロン型NDPキナーゼ活性の発見と、蛋白分解酵素の基質認識における役割
倉智　嘉久	大阪大学大学院医学系研究科 情報伝達医学系情報薬理学	G蛋白制御カリウムチャネルの分子多様性とシナプス神経伝達
小島　至	群馬大学 生体調節研究所	膵内分泌細胞の分化誘導機構の解明
小安　重夫	慶応義塾大学医学部　微生物学	T細胞受容体シグナルを伝達するアミノ酸配列モチーフITAMに関する研究
斎藤　尚亮	神戸大学 バイオシグナル研究センター	可視化によるPKCの活性化およびターゲッティング機構の解析
笹井　芳樹	京都大学 再生医科学研究所	試験管内における神経分化制御とその再生医学的応用
佐邊　壽孝	(財)大阪バイオサイエンス研究所	上皮細胞における細胞接着を介する細胞生存性維持機構の解析
清水　孝雄	東京大学大学院医学系研究科 細胞情報学	アラキドン酸特異的ホスホリパーゼA2の解析
杉崎　徹三	昭和大学医学部　腎臓内科	特発性半月体形成性腎炎関連自己抗体「MPO-ANCA」と病変
鈴木　義之	(財)東京都臨床医学総合研究所	β-ガラクトシドーシスの病態解析と分子治療
清野　進	千葉大学大学院医学研究科 分子機能制御学	ATPセンサーによるインスリン分泌の分子制御とその異常
清野　裕	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	膵β細胞ATP感受性K^+ (K_{ATP})チャネルとsulfonylurea receptorの機能協関の解析—新たなK_{ATP}チャネル閉鎖薬の開発に向けて
脊山　洋右	東京大学大学院医学系研究科 代謝生理化学	ハーダー腺脂質によるアンドロジェン受容体のモニタリング
高井　義美	大阪大学大学院医学系研究科 生体制御医学分子生理化学	神経伝達物質の放出と記憶形成のメカニズム
竹田　美文	国立国際医療センター研究所	ベロ毒素の新しい生物活性：サイトカインの発現誘導
谷口　維紹	東京大学大学院医学系研究科 免疫学	転写抑制因子の欠損による炎症性皮膚疾患発症機序の解析
谷口　直之	大阪大学大学院医学系研究科 生体制御医学生化学	アスパラギン結合型糖鎖による増殖因子受容体の機能の制御と病態における意義
千葉　勉	京都大学大学院医学研究科 消化器病態学	胃カルチノイド腫瘍発症におけるガストリンとmeninの役割についての研究
鍔田　武志	東京医科歯科大学難治疾患研究所	Bリンパ球活性化における共刺激の分子機構
中田　裕康	東京都神経科学総合研究所	新規プリン受容体の構造と機能の解析
中西　重忠	京都大学大学院医学研究科 生体情報科学	神経伝達の分子機構に関する研究
畠　清彦	自治医科大学 血液医学研究部門	新しいアポトーシス誘導系を用いた新規抗腫瘍療法の開発—内皮細胞とインターロイキン8の系について
藤澤　仁	旭川医科大学　第一生化学	脳の働きを制御するカルシウム／カルモデュリン依存性多機能性プロテインキナーゼ
堀内　正公	熊本大学医学部　第二生化学	酸化低比重リポタンパク質(酸化LDL)によるマクロファージ増殖機構の解析—細胞内情報伝達経路に関する研究
本庶　佑	京都大学大学院医学研究科 医化学	免疫グロブリンクラススイッチ—クラス特異的組換えの分子機構解明と組替えの制御
御子柴克彦	東京大学 医科学研究所	大脳および小脳内の神経細胞の位置決定に関わる分子メカニズムの解明
宮園　浩平	(財)癌研究会癌研究所	アデノウイルスベクターを用いたSmad分子の遺伝子導入と機能解析
三輪　史朗	(財)冲中記念成人病研究所	解糖系酵素遺伝子の赤血球特異的発現調節に関する研究
山内　卓	徳島大学薬学部　生化学	カルモデュリン依存性プロテインキナーゼⅡ遺伝子の脳特異的発現
山村　博平	神戸大学医学部　第一生化学	ストレス刺激における蛋白質チロシン残基リン酸化酵素SyKの役割

研究者名	所属機関	研究テーマ
山本 一彦	東京大学医学部 アレルギーリウマチ内科	全身性自己免疫疾患の臓器病変を形成するT細胞の標的抗原の解析
山本 尚三	徳島大学医学部 生化学	脂肪酸シクロオキシゲナーゼの2つのアイソザイムの転写調節機構の研究
吉川 和明	大阪大学 蛋白質研究所	ニューロン分裂抑制因子Necdinによる脳発達制御とその病態
吉村 昭彦	久留米大学 分子生命科学研究所	CISファミリー遺伝子の構造と機能の解析
淀井 淳司	京都大学 ウイルス研究所	レドックス制御による新しいアレルギー予防治療に関する研究
渡邉 建彦	東北大学大学院医学系研究科 薬理学	ヒスチジン脱炭酸酵素遺伝子ノックアウト・マウスを用いた ヒスタミンの生理作用の解析

平成10年度 第30回研究奨励金

研究者名	所属機関	研究テーマ
阿部 高明	東北大学医学部 生体情報学分野	2つの単離された甲状腺ホルモントランスポーターの機能と 病態への関与の解明
荒井 秀典	京都大学大学院医学研究科 臨床生体統御医学	MCP-1受容体を介するインテグリンの活性化および 細胞遊走における情報伝達機構の解析
荒井 宏司	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	Fas-ligandを用いた癌に対する遺伝子治療の研究
石川 義弘	横浜市立大学医学部 第二内科学	心臓β-アドレナリン受容体シグナルの分子メカニズム
一條 秀憲	東京医科歯科大学歯学部 第二歯科理工学	神経細胞死におけるASK1の役割
市田 公美	東京慈恵会医科大学 第二内科	ヒト尿細管のUrate/anion exchangerの単離および解析
一瀬 宏	藤田保健衛生大学 総合医科学研究所	ジストニア発症機構の分子生物学的解析
伊藤 和幸	大阪府立成人病センター研究所	低分子量G蛋白質Rho/Rho-Kinase/actomyosin系を介する 腫瘍細胞の運動の制御
井上 元	京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学	糖輸送活性化におけるインスリン感受性決定因子に関する分子医学的研究
植木 哲雄	東京大学医学部 泌尿器科学	アンドロゲン代謝と前立腺癌のホルモン不応化についての研究
上道 知之	大阪府立成人病センター	トリプレット・リピート病に対する キメラDNA/RNAオリゴヌクレオチドを用いた遺伝子治療の試み
大久保 実	虎の門病院 内分泌代謝科	糖尿病Ⅲ型の分子機構に関する研究
大坪 素秋	久留米大学 分子生命科学研究所	サイクリン依存性キナーゼの標的分子の同定と機能解析
小川 渉	神戸大学医学部 第二内科	atypical PKCの細胞内基質の同定とインスリン依存性糖輸送における 意義の検討
梶本 佳孝	大阪大学大学院医学系研究科 情報伝達医学	糖尿病に伴う膵β細胞障害に対するHGFを用いた特異的治療法の開発
金森 審子	愛知がんセンター研究所 病理学第二部	シアル酸の修飾による糖鎖を介した細胞接着活性の調節機構の 分子生物学的研究
川畑俊一郎	九州大学理学部 生物学科	血球細胞膜に存在するリポ多糖(LPS)リセプターの構造と機能解析
北川 一夫	大阪大学医学部 第一内科	脳虚血、再潅流障害の分子機構の究明 —微小循環障害と神経細胞の選択的脆弱性の観点から
京 哲	金沢大学医学部 産婦人科	テロメレース活性の臨床応用に関する基礎的研究
久保 允人	東京理科大学 生命科学研究所	Th2細胞の機能分化を制御する分子メカニズム
後藤 信哉	東海大学医学部 第一内科	血流下でvon Willebrand factor依存性の機序により惹起される血小板血栓 の形成過程に白血球系の炎症性細胞が関与する機序の検討

研究者名	所属機関	研究テーマ
後藤　知己	熊本大学医学部　分子遺伝学	アルギナーゼアイソフォームによるNO合成の調節
佐々木卓也	大阪大学大学院医学系研究科 生体制御医学分子生理化学	RhoとRab低分子量G蛋白質による細胞の接着・運動の制御機構
佐藤　英介	大阪市立大学医学部 第一生化学	H.pyloriの活性酸素産生制御による遺伝子変異防御
澤田　秀幸	京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学臨床神経学	エストロゲンによるドーパミンニューロン死抑制作用に関する研究
島野　仁	東京大学医学部 代謝栄養病態学	リポジェニック酵素の発現制御：SREBP1による支配
白瀧　博通	大阪大学大学院医学系研究科 生体制御医学分子生理化学	新しい神経伝達物質放出の制御因子Tomosynの機能と作用機構
内匠　透	神戸大学医学部　第二解剖学	生物時計の分子機構の解明
竹中　優	大阪大学医学部　第一内科	腎発現遺伝子情報データベースを用いた進行性腎障害に関わる 遺伝子群の同定および解析
田代　啓	京都大学 遺伝子実験施設	SDF1遺伝子の多型とHIV抵抗性
照井　康仁	自治医科大学　血液学	白血病細胞由来新規アポトーシス誘導因子内皮細胞型の インターロイキン8の作用機序の解析
中山　俊憲	千葉大学大学院医学研究科 発生医学	アレルギー発症を制御するヘルパーT細胞の機能分化に関する研究
錦見　俊雄	国立循環器病センター研究所	高血圧と心臓血管病におけるアドレノメデュリンの病態生理的意義の 解明と臨床応用―遺伝子診断も含めて
長谷川浩二	京都大学医学部　第三内科	代償性心肥大より心不全への移行における心筋エンドセリン-1の 転写調節機構
原　賢太	神戸大学 バイオシグナル 研究センター	細胞増殖制御因子としてのアミノ酸によるラパマイシン標的蛋白mTORの 活性制御機構の解明
東山　繁樹	大阪大学大学院医学研究科 生体制御医学生化学	肝細胞癌進展にみられるHB-EGFの生存/増殖因子活性の分子スイッチ
尾藤　晴彦	京都大学大学院医学研究科 神経・細胞薬理学	シナプス後膜における情報伝達複合体の解析
藤井　穂高	東京大学大学院医学系研究科 免疫学	インターロイキン2受容体γc鎖からのリンパ球増殖・分化の シグナル伝達機構の解析
本田　浩章	東京大学医学部　第三内科	新たなph[1]陽性白血病マウスの作製とその解析
三谷　絹子	東京大学医学部　第三内科	発生工学的手法を用いたヒト白血病モデルマウスの作成
満田　憲昭	大阪大学医学部　老年病医学	新しいタイプのアルツハイマー病モデルマウスの作成 ―ヒト型Inducible Nitric Oxide Synthase(iNOS)マウスの作成と評価
南　康博	神戸大学医学部　第一生化学	マウス発生に関わる新規蛋白質キナーゼの機能解析
村上　雅朗	京都大学医学部　第二内科	免疫制御因子としての肥満遺伝子産物因子(レプチン)
森尾　友宏	東京医科歯科大学医学部 小児科	マスト細胞の活性化とそれを調節する分子機構に関する研究
山田祐一郎	京都大学大学院医学研究科 病態代謝栄養学	膵β細胞に作用するTGFβスーパーファミリーの同定
結城　伸泰	獨協医科大学　神経内科	Campylobacter jejuni腸炎後ギラン・バレー症候群のモデル動物の 開発とその治療
横溝　岳彦	東京大学大学院医学系研究科 生化学・分子生物学	ロイコトリエンB_4の生体内における意義の解明

平成10年度　第30回海外留学補助金

研究者名	所属機関	研究テーマ	留学先
石井　一弘	筑波大学臨床医学系 神経内科	アルツハイマー病におけるアミロイドβ前駆体蛋白質と プレセニリン1蛋白質の相互作用	ハイデルベルグ 大学
石戸　聡	神戸大学医学部 微生物学	カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスK1癌遺伝子の機能解析	ハーバード大学
大島　康雄	九州大学医学部 第一内科	リコンビナントトキシンの代謝を応用したインターロイキン4および 13に対するレセプター発現の基礎的解析および臨床応用への検討	米国国立衛生研究所
大森真理子	(財)ルイ・パストゥール 医学研究センター	脳神経におけるドパミン代謝の記憶、行動に対する役割に 関する研究	遺伝学分子細胞 生物学研究所
岡　佳恵	久留米大学医学部 小児科学	体温調節中枢機構における神経内分泌代謝	ハーバード大学
岡　孝和	九州大学医学部 精神身体医学	感染に伴う早期警告信号としての中枢性痛覚過敏の発現機序	ハーバード大学
金岡　禧秀	科学技術振興事業団 戦略的基礎研究推進事業	プロスタグランジンD合成酵素と肥満細胞の活性化・分化	ハーバード大学
金藤　秀明	大阪大学医学部 第一内科	酸化ストレスによる膵β細胞障害の分子機構	ハーバード大学
川内　康弘	筑波大学臨床医学系 皮膚科	臓器(皮膚)特異的発現を示すトランスジェニックマウスおよびジーンターゲッ ティングマウスを用いた表皮角化細胞の分化・増殖に関与する分子の解析	ベイラー医科大学
粂　昭苑	科学技術振興事業団ERATO・ 御子柴細胞制御プロジェクト	膵臓の発生分化の基本的メカニズムの解明および Ⅰ型糖尿病の発症原因を明らかにすることを目的とした研究	ハーバード大学
郡司　俊秋	東京大学医学部 消化器内科	C型肝炎ウイルス(HCV)由来RNA依存性RNAポリメラーゼに 関する研究―酵素活性の解析とその阻害剤の開発	米国国立衛生研究所
佐々木　豊	京都大学医学部 第二内科	血液造血幹細胞の系統分化機構の解明および増殖の抑制について	ルンド大学
佐野　裕之	熊本大学医学部 第二生化学	インスリン反応性小胞輸送に関わる分子のクローニングと機能解析	ダーツマス大学
高橋　智聡	京都大学大学院医学 研究科　分子腫瘍学	細胞内シグナル伝達経路と細胞周期の機能的関連の解析	ハーバード大学
田中　伸幸	東北大学大学院医学研究科 生体防御学免疫学	Th1/Th2特異的遺伝子による免疫制御機構に関する研究	エール大学
西頭　英起	(財)癌研究会癌研究所	低分子量G蛋白質を介したMAPキナーゼ活性化機構の解明	ロンドン大学
樊（ふぁん）　建強（ちぇんちゃん）	(財)東京都臨床医学 総合研究所	新しいリソゾーム病の分子治療法の開発	ジョンズ ホプキンス 大学
藤本　康弘	京都大学医学部 移植免疫医学	小腸移植における拒絶早期診断法および寛容誘導法の開発	チューリッヒ大学
穂積　勝人	東海大学医学部 生体防御機構系免疫学部門	胸腺内T細胞分化の分化機構の解析	王立がん研究所
堀　昌平	東京大学大学院薬学系研究科 発生細胞化学	調節性T細胞による自己免疫寛容の確立メカニズムの解明	グルベンキアン 科学研究所
前田　喜一	自治医科大学 循環器内科	アデノ随伴ウイルス(AAV)ベクターを用いた NO合成酵素遺伝子導入による肺高血圧症の遺伝子治療	ハーバード大学
増田　浩明	国立精神神経センター 神経研究所	新しい老化モデルマウスklothoにおいて欠損しているklotho遺伝子 産物の機能およびヒトklotho遺伝子多型	テキサス大学
松浦　徹	北海道大学医学部 神経内科	未同定、遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子クローニング	ベイラー医科大学
松吉　徳久	京都大学医学部 形成外科学	天疱瘡の発症機構の解明	ペンシルバニア大学
村上　努	東京医科歯科大学医学部 微生物学	ウイルスの侵入過程におけるHIV-1Gagマトリックス(MA)蛋白質と エンベロープ蛋白質(gp41 cytoplasmic tail)の役割の解明	米国国立健康研究所
村田　哲	自治医科大学 皮膚科	アトピー性皮膚炎、皮膚乾燥症の発症基盤としての表皮脂質 バリアー異常の原因と角質細胞構造蛋白との関係	カリフォルニア大学
山形　哲也	東京大学医学部 第三内科	T細胞分化におけるGATAファミリー転写因子の役割	ルイ・パストゥール 大学

資　料

論文集『病態代謝』の刊行

第1回(昭和44年)から第7回(昭和50年)までの間に研究助成金の交付を受けた研究者の中から、代表者を23名選び、それまでの研究成果を論文にまとめ、論文集『病態代謝Ⅰ』を昭和51年7月に刊行。また、第8回(昭和51年)から第13回(昭和56年)までの間に研究助成金の交付の研究者の中から20名を選び、論文集『病態代謝Ⅱ』を昭和57年12月に刊行し、第14回(昭和57年)から第20回(昭和63年)までの研究助成金および研究奨励金の交付の研究者の中から21名の代表者を選び、論文集『病態代謝Ⅲ』を平成元年11月に刊行、いずれも好評を博しました。

(著者の所属機関は、発刊時)

病態代謝Ⅰ (昭和51年7月) *Contents*

糖尿病

1. 糖尿病患者における血中インスリン動態の特徴とその臨床的意義
   東京大学医学部第一内科 小坂 樹徳
2. 糖尿病および肥満症における脂質代謝異常
   京都大学医学部医化学 沼 正作

赤血球

3. 赤血球機能異常とその代償
   —異常ヘモグロビン症および酵素異常症をめぐって—
   大阪大学医学部第三内科 林 昭
   山村 雄一
4. 赤血球酵素異常による遺伝性溶血性貧血に関する研究
   山口大学医学部第三内科 三輪 史朗
5. ヒト赤血球のメトヘモグロビン還元の酵素学的研究
   —とくに遺伝性メトヘモグロビン血症に関連して—
   金沢大学医療技術短期大学部衛生技術学科 竹下 正純
   金沢大学医学部生化学 米山 良昌
6. ヘム生合成の調節とその異常
   東北大学医学部医化学 菊地 吾郎
7. 血液細胞の分化とその調節機構
   自治医科大学第一内科 高久 史麿
8. 血栓形成における血小板の糖エネルギー代謝
   広島大学原爆放射能医学研究所内科 藏本 淳

酵 素

9. Prostaglandin の生化学 —とくにその合成酵素について—
   京都大学医学部医化学 山本 尚三
   早石 修
10. アルカリフォスファターゼ・アイソエンザイムについて
    東京大学医学部第一内科 織田 敏次
    鈴木 宏
    飯野 四郎
    三木 一正
    東京薬科大学薬剤学 杉浦 衛
    平野 和行

酵　素

11. アミラーゼの基礎と臨床
国立がんセンター研究所生化学部　竹内　利行
杉村　隆

免　疫

12. 免疫グロブリンの新しい機能からみた炎症細胞の局所動員機構について
熊本大学医学部第一病理学　林　秀男
松村　克己

13. 原発性免疫不全症　—自験57症例の検討を通じて—
京都大学医学部第一内科　加納　正
内野　治人

ビタミン

14. ビタミンAの栄養生化学的研究
—とくに retinol-binding protein の代謝とビタミンAの生理作用について—
東京大学医学部保健学科保健栄養学　武藤　泰敏

15. ビタミンB_{12}の吸収と消化管内B_{12}結合蛋白の意義
千葉大学医学部第一内科　奥田　邦雄

16. ビタミンB_6欠乏とB_6酵素の動態
徳島大学医学部酵素研究所酵素化学　勝沼　信彦

17. Diphenylhydantoin服用の葉酸代謝に対する影響
東北大学医学部小児科　荒川　雅男

代謝異常

18. 先天性代謝異常の出生前診断
大阪市立大学医学部小児科　多田　啓也

19. Gaucher病の出生前診断
日本大学医学部小児科　北川　照男
大和田　操
崎山　武志

その他

20. 新しい含硫糖脂質　—セミノリピド—
東京大学医学部生化学　山川　民夫
飯田　静夫
石塚　稲夫
上野　邦弘
鈴木　明身
大和　邦雄

21. モノアミンの下垂体ホルモン分泌調節における役割
神戸大学医学部第三内科　井村　裕夫
加藤　譲

22. 重金属曝露に対する生体反応に関する研究
東京大学医学部衛生学　和田　攻
小野　哲
長橋　捷
山口　喜久

23. 細胞増殖におけるポリアミンの機能
大阪大学微生物病研究所細菌血清学部　竹田　美文

病態代謝 II（昭和57年12月） *Contents*

血　液

1. 線維素溶解系の遺伝的異常
自治医科大学血液医学研究部門兼内科　青木　延雄

2. 血液凝固系の再構成とそのカスケード機構
—内因系凝固の開始反応を中心に—
九州大学理学部生物学科　岩永　貞昭

3. 無アルブミン血症ラットの研究
—その分子生物学とその癌研究との関わり合い—
国立がんセンター研究所　杉村　隆

4. 血液細胞の分化・増殖における糖脂質の役割とその病態生理学的意義
東京大学医学部第三内科　高久　史麿

酵　素

5. ウシ松果体とマウス悪性肥満細胞腫のトリプトファン水酸化酵素の性質と活性化
浜松医科大学第一生化学　市山　新
長谷川宏幸
柳沢真利子

6. 遺伝子損傷の修復とポリ(ADP-リボース)の役割
京都大学医学部医化学　上田　國寛
早石　修

7. 膜結合γ-glutamyltranspeptidase(γ-GTP)の合成と分解および血清・胆汁への遊出機構
徳島大学医学部酵素化学　勝沼　信彦

8. 糖尿病性ケトアシドーシスにおける赤血球解糖系、とくに2、3-DPGの減少機構に関する研究
大阪大学医学部第二内科　垂井清一郎
河野　典夫
桑島　正道
清水　孝郎

9. 細胞内プロテアーゼと新しく発見したその制御因子に関する研究
京都大学医学部病態学　村地　孝

免　疫

10. 顆粒球の新しいセリンプロテアーゼ(medullasin)と生体防御
自治医科大学第二生化学　青木　洋祐

11. 顆粒白血球の食作用時の代謝変化と殺菌
九州大学医学部第二生化学　竹重公一朗
水上　茂樹

免　疫

12. T細胞抗原レセプターの分子構成
東京大学医学部免疫学　多田　富雄

13. 免疫グロブリン・アミロイドーシス
熊本大学医学部第二内科　高月　清

14. ヒトBリンパ球の分化とその調節
大阪大学医学部第三内科　三木　善次
岸本　忠三

15. リンパ球の活性化を増幅するプロテアーゼと生体防御
熊本大学医学部免疫医学研究施設病理部門　吉永　秀
大河原　進
中山　茂樹
後藤久美子

代　謝

16. Opioid Peptidesの下垂体ホルモン分泌調節における役割について
京都大学医学部第二内科　井村　裕夫
加藤　譲
中井　義勝
松下　則雄
木下富美子
片上　秀喜
島津　章
広戸　誠治

17. 複合糖質の化学構造と代謝異常の研究
神戸大学医学部第一生化学　木幡　陽

18. 糖尿病における膵ソマトスタチンの変動とその分泌機構に関する研究
富山医科薬科大学　熊谷　朗
千葉大学医学部第二内科　牧野　英一
金塚　東
尾世川正明
松島　保久

19. 脂肪酸生合成調節とその病態における意義
東京大学医学部第一生化学　脊山　洋右
山川　民夫

20. ホルモンの受容機構とその病態に関する研究
神戸大学医学部第二生化学　西塚　泰美

病態代謝Ⅲ（平成元年11月） *Contents*

血　液

1. 前白血病状態における造血異常に関する病態代謝論的研究
京都大学医学部第一内科　内野　治人
吉田彌太郎

2. 赤血球酵素異常による遺伝性溶血性貧血の異常酵素の構造解析
冲中記念成人病研究所　三輪　史朗

酵　素

3. ATP合成酵素遺伝子の発現制御
自治医科大学第一生化学　香川　靖雄
太田　成男

4. リソゾーム経由の蛋白分解機序とその調節
徳島大学酵素科学研究センター酵素化学　勝沼　信彦
順天堂大学医学部生化学　木南　英紀

5. 生体膜の情報受容と伝達機構の生理と病態
—プロテイン・キナーゼCの研究—
神戸大学医学部第二生化学　西塚　泰美

免　疫

6. Fcεレセプター Ⅱの構造と機能
大阪大学細胞工学センター　菊谷　仁
岸本　忠三

7. 高親和性インターロイキン2レセプターの形成機構
京都大学医学部医化学　齋藤　雄二
本庶　佑

8. ATLの病態代謝学的研究
熊本大学医学部第二内科　高月　清

9. T細胞レセプター発現の制御機構
東京大学医学部免疫学　多田　富雄
古谷　誠

代　謝

10. 新しいオピオイドペプチド、leumorphinの存在と作用について
京都大学医学部第二内科　井村　裕夫
中尾　一和
須田　光明
坂本　誠
伊藤　裕
山田　敬行
東京慈恵会医科大学第二内科　東條　克能
島根医科大学第一内科　加藤　譲

代　謝

11. 骨格筋小胞体の Ca-induced Ca release 機構と悪性高熱
東京大学医学部薬理学　遠藤　實

12. がんの予防
—その背景となる分子機構と現実的提案—
国立がんセンター　杉村　隆

13. 糖脂質発現の遺伝生化学的解析
㈶東京都臨床医学総合研究所生体膜研究部門　鈴木　明身

14. イノシトールリン脂質代謝を介する細胞内情報伝達機構とその病態
—低分子量GTP結合蛋白質を中心にして—
神戸大学医学部第一生化学　高井　義美
菊池　章

15. 細胞内小器官の膜輸送機構の障害に基づく遺伝疾患の病態に関する生化学的研究
東北大学医学部小児科　多田　啓也

16. 慢性活動性肝障害における肝細胞表面領域に対する抗体とその標的抗原
—スルファチド
東京大学医学部第一内科　戸田剛太郎
池田　有成
岡　博

17. 神経伝達物質受容体およびイオンチャンネルの構造と機能
京都大学医学部医化学・分子遺伝学　沼　正作

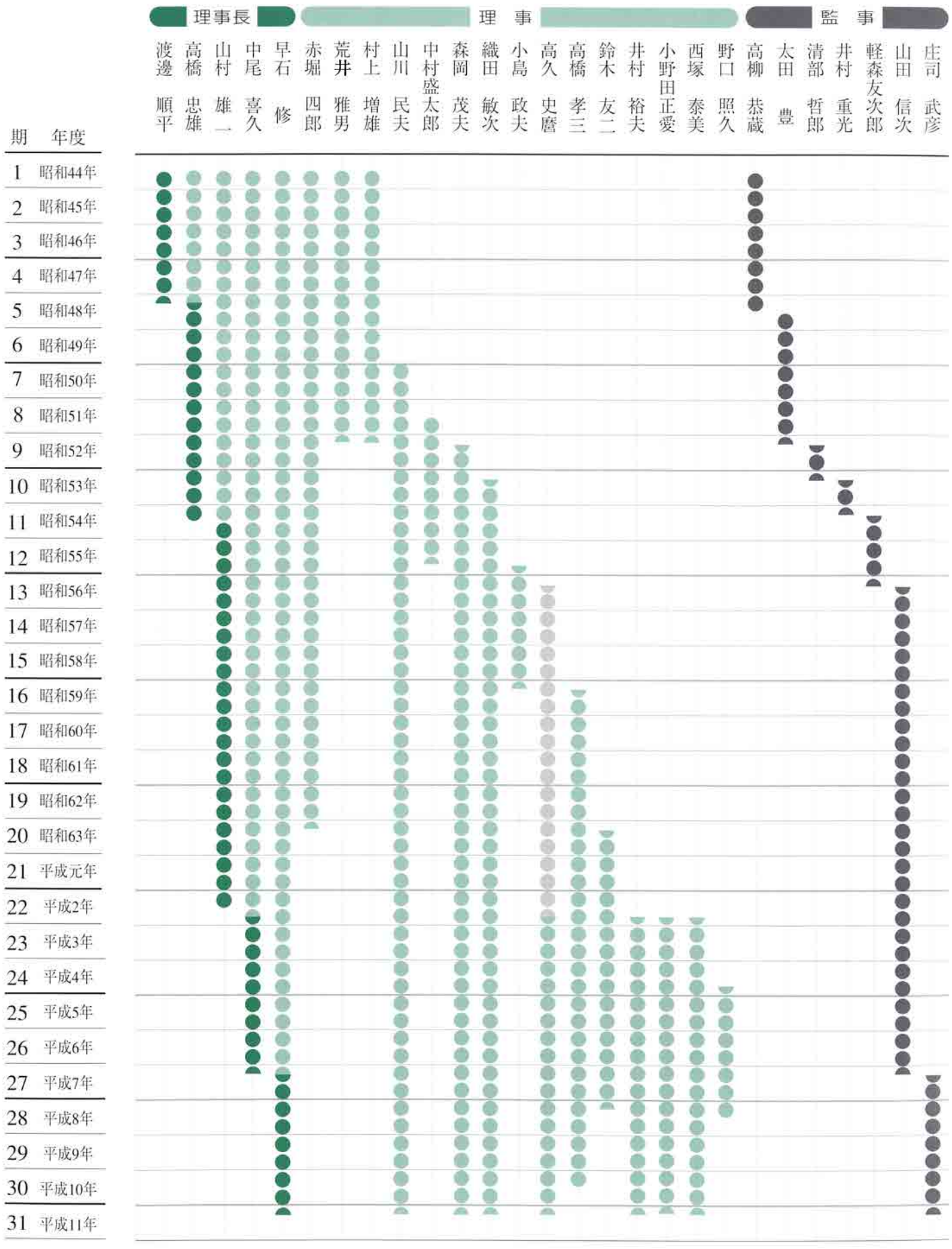
18. 中枢神経系におけるプロスタグランジンの代謝と機能
大阪医科大学　早石　修

19. ナトリウム利尿ホルモン・ファミリー
—ANPとBNP—
国立循環器病センター研究所　松尾　壽之

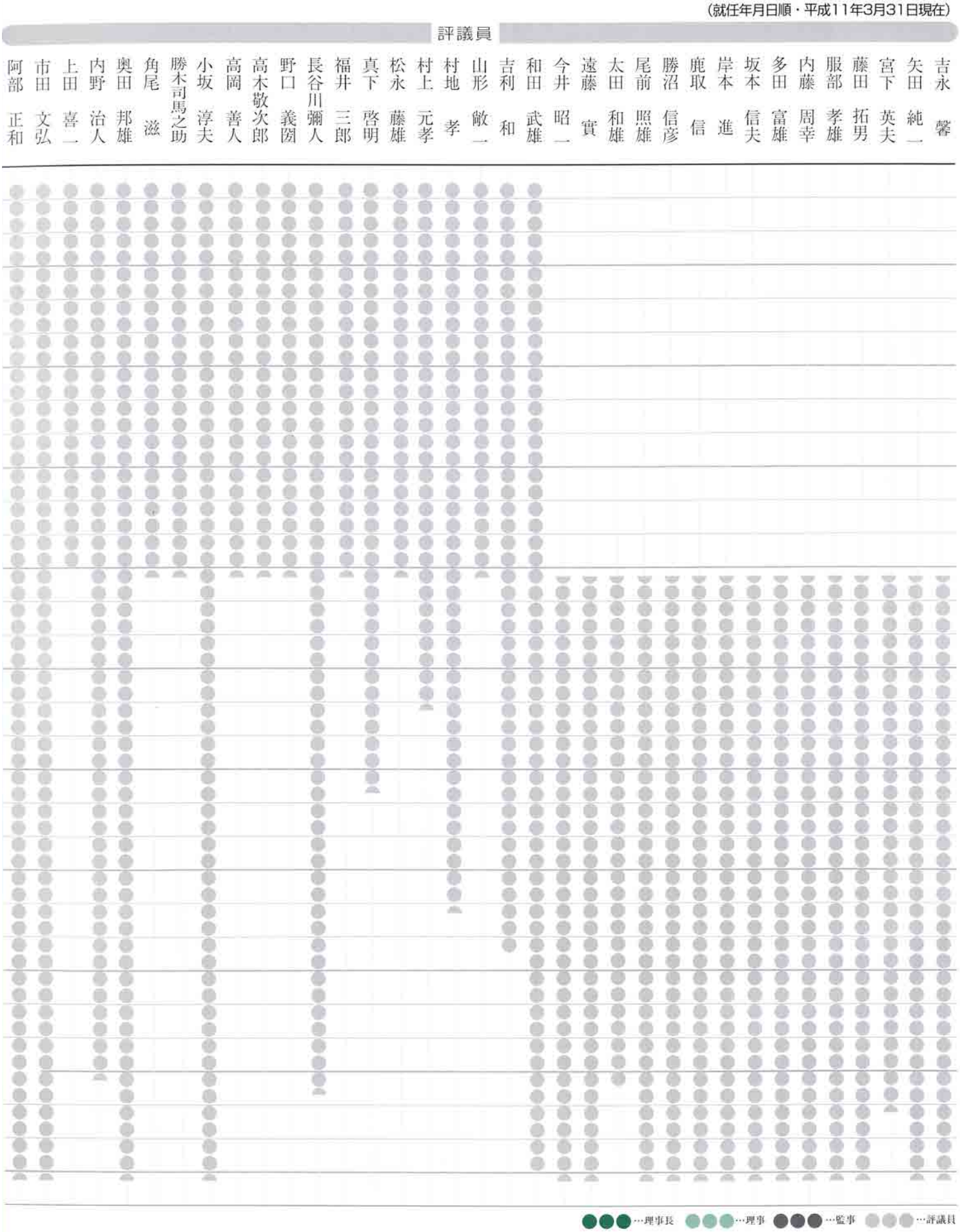
20. 内分泌臓器におけるカルパインとカルパスタチンの役割
京都大学医学部臨床検査医学　村地　孝

21. 脳内ヒスタミン神経系の分布と役割
大阪大学医学部第二薬理学　和田　博

歴代役員および評議員

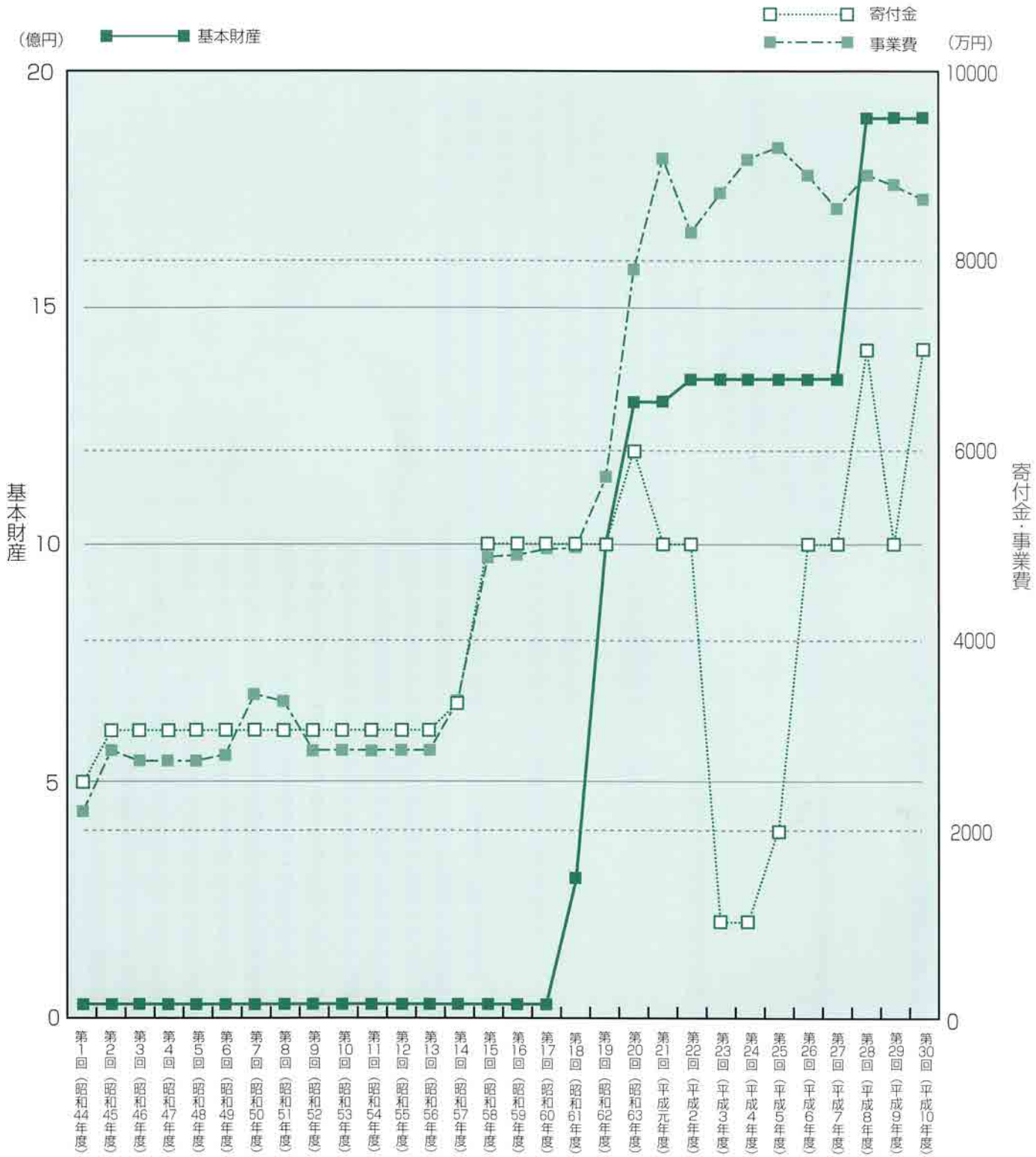

理事長
理事
監事
渡邊 順平
高橋 忠雄
山村 雄一
中尾 喜久
早石 修
赤堀 四郎
荒井 雅男
村上 増雄
山川 民夫
中村盛太郎
森岡 茂夫
織田 敏次
小島 政夫
高久 史麿
高橋 孝三
鈴木 友二
井村 裕夫
小野田正愛
西塚 泰美
野口 照久
高柳 恭蔵
太田 豊
清部 哲郎
井村 重光
軽森友次郎
山田 信次
庄司 武彦
期 年度
1 昭和44年
2 昭和45年
3 昭和46年
4 昭和47年
5 昭和48年
6 昭和49年
7 昭和50年
8 昭和51年
9 昭和52年
10 昭和53年
11 昭和54年
12 昭和55年
13 昭和56年
14 昭和57年
15 昭和58年
16 昭和59年
17 昭和60年
18 昭和61年
19 昭和62年
20 昭和63年
21 平成元年
22 平成2年
23 平成3年
24 平成4年
25 平成5年
26 平成6年
27 平成7年
28 平成8年
29 平成9年
30 平成10年
31 平成11年

（就任年月日順・平成11年3月31日現在）



…理事長　…理事　…監事　…評議員

基本財産・寄付金・事業費の推移表



発刊に寄せて

専務理事　小野田 正愛

本財団は昨年設立30周年を迎えました。その記念事業の一環として、今日までの財団の歩みを記録にまとめることが理事会で決定され、その後関係各位のご協力により鋭意編集作業を進めておりましたところ、このたび「30年のあゆみ」として完成・刊行の運びとなりました。

昭和44年の設立以来30年間の研究助成対象者は2,300名、交付金額は総額14億円に及びます。これらにより本財団は少なからず我が国国民の保健と医療の発展並びに治療薬剤の進歩に貢献してきたものと自負いたしております。

これらの実績を上げることができましたのも、設立当初から事業基盤の確立にご尽力いただきました前理事長・早石修先生はじめ関係諸先生方の並々ならぬご支援ご指導の賜と改めて厚く御礼を申し上げます。

間もなく幕を開ける21世紀、人類がこの地球上に平和な繁栄の歴史を刻み続けることができるか、我々は生命科学に携わる立場からその鍵の一つを握っていると言っても過言ではありません。本財団の事業が我が国医学・薬学の先進的研究にいささかなりとも寄与し、ひいては人類の平和に貢献できるとするならばこれに勝る喜びはありません。

30周年を機に改めて財団事業の使命に思いを致し、加えて関係各位の今後一層のご支援をお願いいたしまして発刊のご挨拶といたします。

病態代謝研究会　30年のあゆみ

2000年7月25日発行

発　行　　財団法人 病態代謝研究会
茨城県つくば市御幸が丘21番地

制　作　　第一メディカル株式会社
東京都中央区日本橋茅場町三丁目4番2号

印　刷　　株式会社 誠文堂

Yamanouchi Foundation for Research on Metabolic Disorders

財団法人 病態代謝研究会